

高槻市
子育て支援に関するアンケート
調査結果報告書

令和6年3月
高 槻 市

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	3
2 調査対象	3
3 調査期間	3
4 調査方法	3
5 回収状況	3
6 調査結果の表示方法	4
7 区域の考え方	4
8 その他	4

II 調査結果

1 共通項目（就学前児童・小学生）	7
（1）居住地域について	7
（2）児童や家庭の状況について	8
（3）保護者の就労状況について	13
（4）高槻市で子育てをすることについて	37
2 就学前児童	43
（1）平日における定期的な幼稚園・保育所・認定こども園などの利用状況について	43
（2）地域子育て支援拠点事業の利用状況について	55
（3）土曜日と日曜日・祝日や長期休暇中における定期的な幼稚園・保育所・認定こども園などの利用希望について	62
（4）児童の傷病時の対応について	67
（5）幼稚園・保育所・認定こども園などの不定期的な利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	72
（6）小学生の放課後の過ごし方について	78
（7）育児休業について	82

3 小学生.....	91
(1) 平日の放課後の過ごしている場所	91
(2) 平日の学童保育の利用状況について	94
(3) 夏休み・冬休み等の長期休暇期間中の放課後の過ごしている場所	97
(4) 土曜日の学童保育の利用状況について	99
(5) 日曜日・祝日の学童保育の利用状況について	104

Ⅲ 自由意見

1 就学前児童	117
2 小学生	129

Ⅳ 調査票

○調査票様式（就学前児童・小学生）	141
-------------------------	-----

I 調査の概要

1 調査の目的

次期「高槻市子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和7（2025）～11（2029）年度）策定のための基礎資料とするため、教育・保育・子育て支援に関するサービスの利用状況やニーズを把握するため調査を実施したものです。

2 調査対象

就学前児童：高槻市居住の就学前児童の保護者

小学生：高槻市居住の小学生（公立1年生～6年生）の保護者

3 調査期間

就学前児童：令和5年11月17日から令和5年12月4日

小学生：令和5年10月20日から令和5年11月6日

4 調査方法

調査は高槻市簡易電子申請システムを活用したWEB調査で行う。

就学前児童：住民基本台帳より無作為抽出した対象者に「WEB調査案内」を郵送し、市システムで回答データを回収する。

小学生：市内の全公立小学校の小学1～6年の学年ごとに任意の1クラスに対し「WEB調査案内」を配布し、市システムで回答データを回収する。

5 回収状況

（1）就学前児童

クラス年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
配布数	1,436	1,074	947	1,051	1,249	1,243	7,000
回答数	852	592	532	575	698	679	3,928
回答率	59.3%	55.1%	56.1%	54.7%	55.8%	54.6%	56.1%

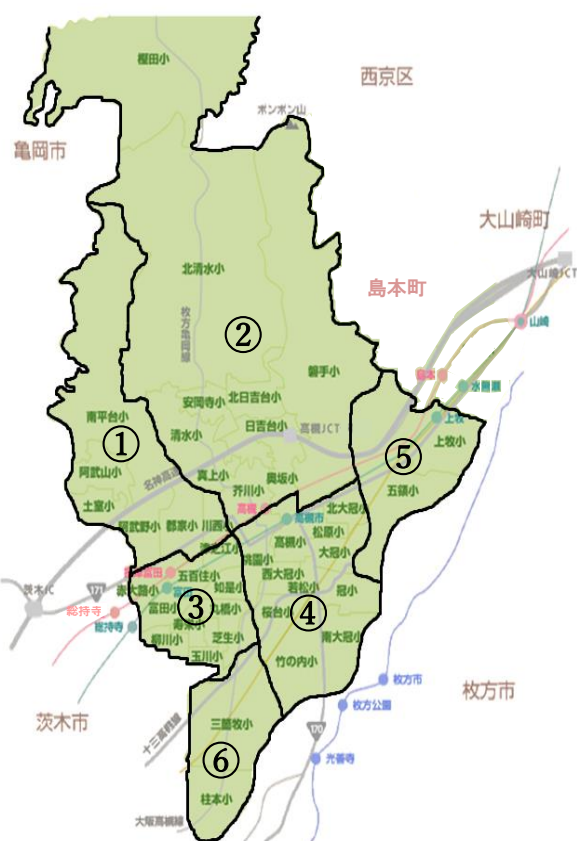
（2）小学生

学年	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	合計
配布数	1,129	1,197	1,210	1,192	1,189	1,204	7,121
回答数	661	704	657	671	591	620	3,904
回答率	58.5%	58.8%	54.3%	56.3%	49.7%	51.5%	54.8%

6 調査結果の表示方法

- (1) 回答は各質問の有効回答者総数（N=Number of case）を基数とした百分率（％）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 複数回答の設問の場合、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) クロス集計の場合、クロス集計のキー項目では「無回答」は表示していないため、各キー項目の合計と「合計」（有効回答者総数）とは一致していません。
- (4) 年齢は令和5年4月1日現在で、学年は令和5年度で表記しています。
（0歳については、令和5年4月以降9月末までの生まれの児童を含む）
- (5) 時刻は24時間制で表示しています。

7 区域の考え方



高槻市域を大きく、JRを境に南北と、芥川を境に東西に分け、さらに五領・上牧地域と三箇牧・柱本地域を独立した地域として6区域とし、区域割には小学校区での境界をもって設定しました。

① JR以北・芥川以西区域

（第二中学校区の一部(川西小学校区、郡家小学校区)、川西中学校区の一部(川西小学校区)、阿武野中学校区、阿武山中学校区)

② JR以北・芥川以東区域

（第二中学校区の一部(芥川小学校区、真上小学校区)、川西中学校区の一部(芥川小学校区)、第九中学校区、第八中学校区、芝谷中学校区)

③ JR以南・芥川以西区域

（川西中学校区の一部(津之江小学校区)、第四中学校区、如是中学校区、第三中学校区、柳川中学校区)

④ JR以南・芥川以東区域

（第一中学校区、第六中学校区、冠中学校区、第十中学校区、城南中学校区)

⑤ 五領・上牧区域(五領中学校区)

⑥ 三箇牧・柱本区域(第七中学校区)

8 その他

本書は、令和6年3月現在の法令に基づき作成しています。改元後の年月日については、新元号に読み替えてください。

Ⅱ 調査結果

Ⅰ 共通項目（就学前児童・小学生）

※令和5年度実施調査は「今回調査」、平成30年度調査は「前回調査」と表示しています。
 ※平成30年度は小学校高学年の調査は行っていないため、経年比較はありません。

I 共通項目（就学前児童・小学生）

（1）居住地域について

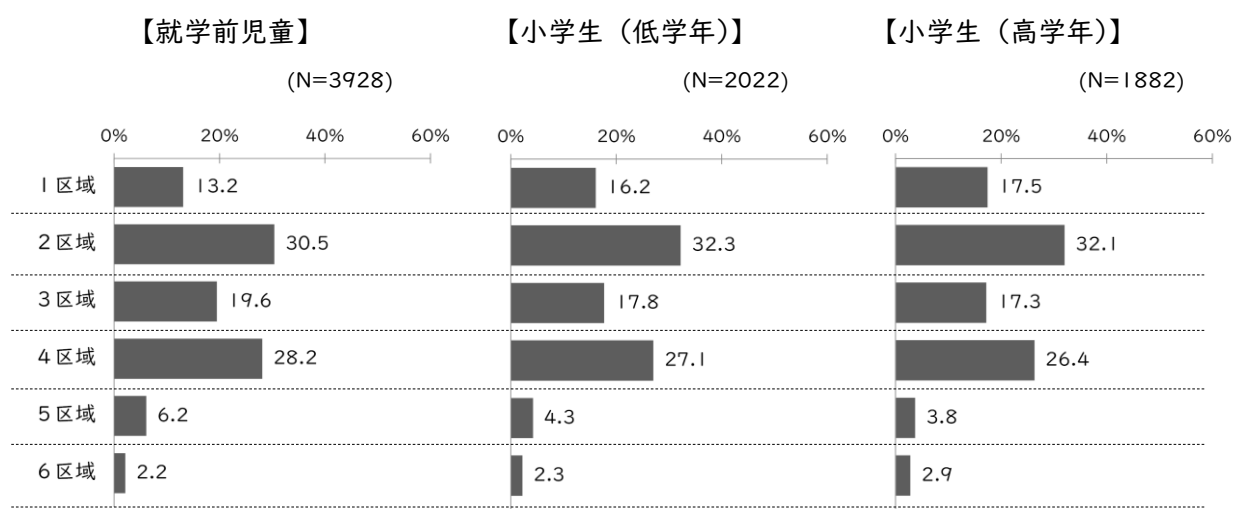
問1 お住まいの地域の小学校区名を選択してください。（グラフは小学校区を区域に変換）

【居住地（区域）】

就学前児童では、「2区域」（30.5%）、「4区域」（28.2%）、「3区域」（19.6%）となっています。

小学生（低学年）では、「2区域」（32.3%）、「4区域」（27.1%）、「3区域」（17.8%）となっています。

小学生（高学年）では、「2区域」（32.1%）、「4区域」（26.4%）、「1区域」（17.5%）となっています。



(2) 児童や家庭の状況について

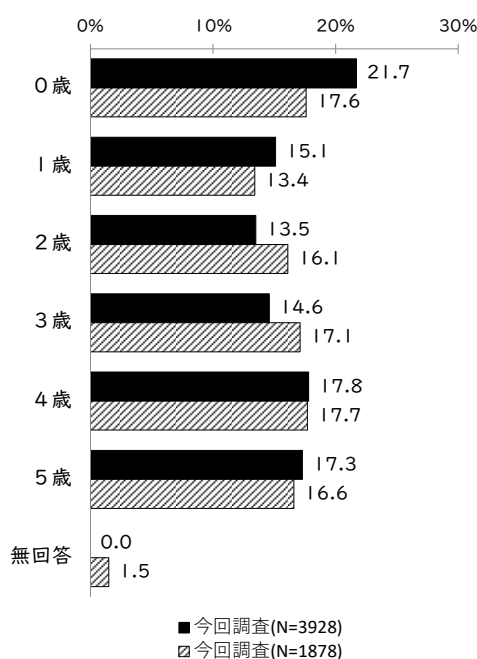
問 2 宛名のお子さんの生年月日に当てはまるものをお答えください。

【児童の年齢・学年】

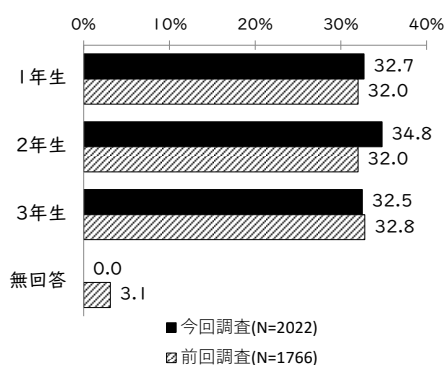
就学前児童では、「0歳」(21.7%)の割合が最も高く、「4歳」(17.8%)、「5歳」(17.3%)となっています。

小学生(低学年)では、「2年生」(34.8%)、小学生(高学年)では、「4年生」(35.7%)の割合が最も高くなっています。

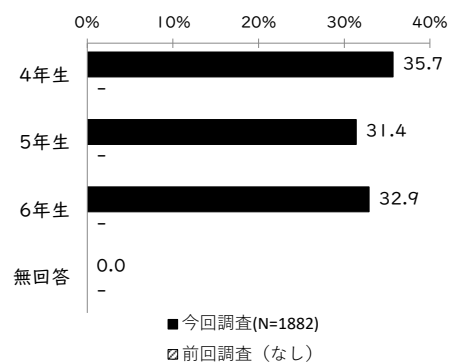
【就学前児童】



【小学生(低学年)】



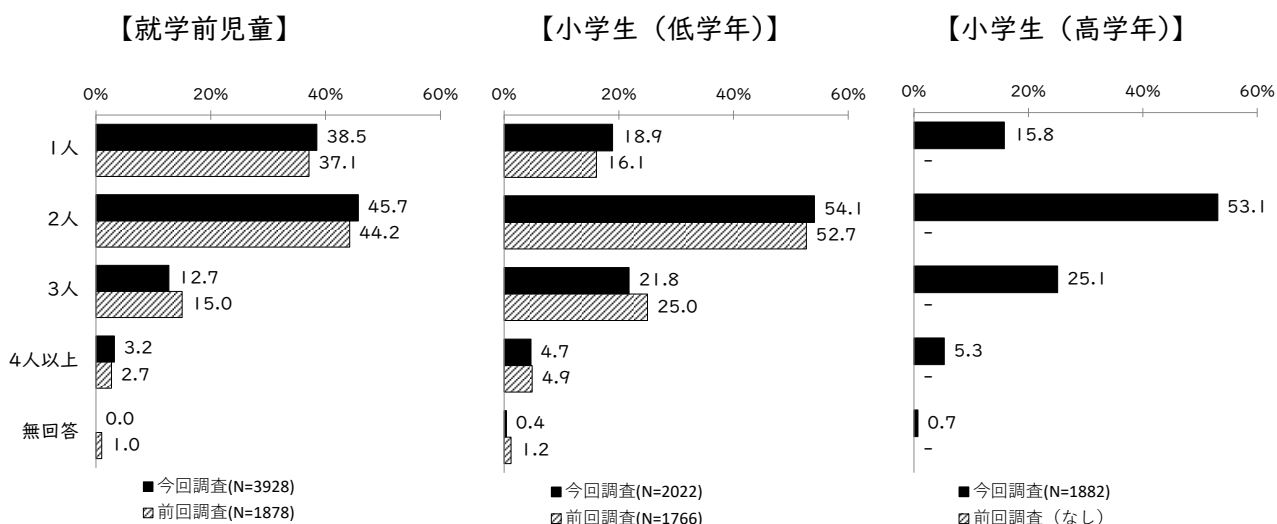
【小学生(高学年)】



問 2-1 宛名のお子さんを含め、育てているすべてのお子さんの人数をお答えください。

【兄弟姉妹の人数】

いずれも「2人」が最も高く、就学前児童（45.7%）、小学生（低学年）（54.1%）小学生（高学年）（53.1%）となっています。



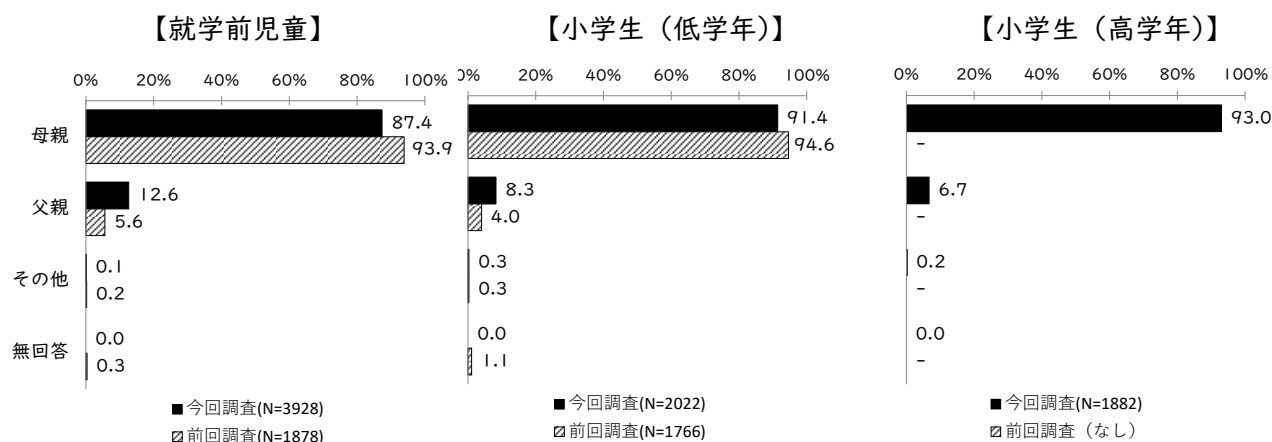
問 3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

【記入者】

就学前児童では、「母親」（87.4%）、「父親」（12.6%）となっています。

小学生（低学年）では、「母親」（91.4%）、「父親」（8.3%）となっています。

小学生（高学年）では、「母親」（93.0%）、「父親」（6.7%）となっています。

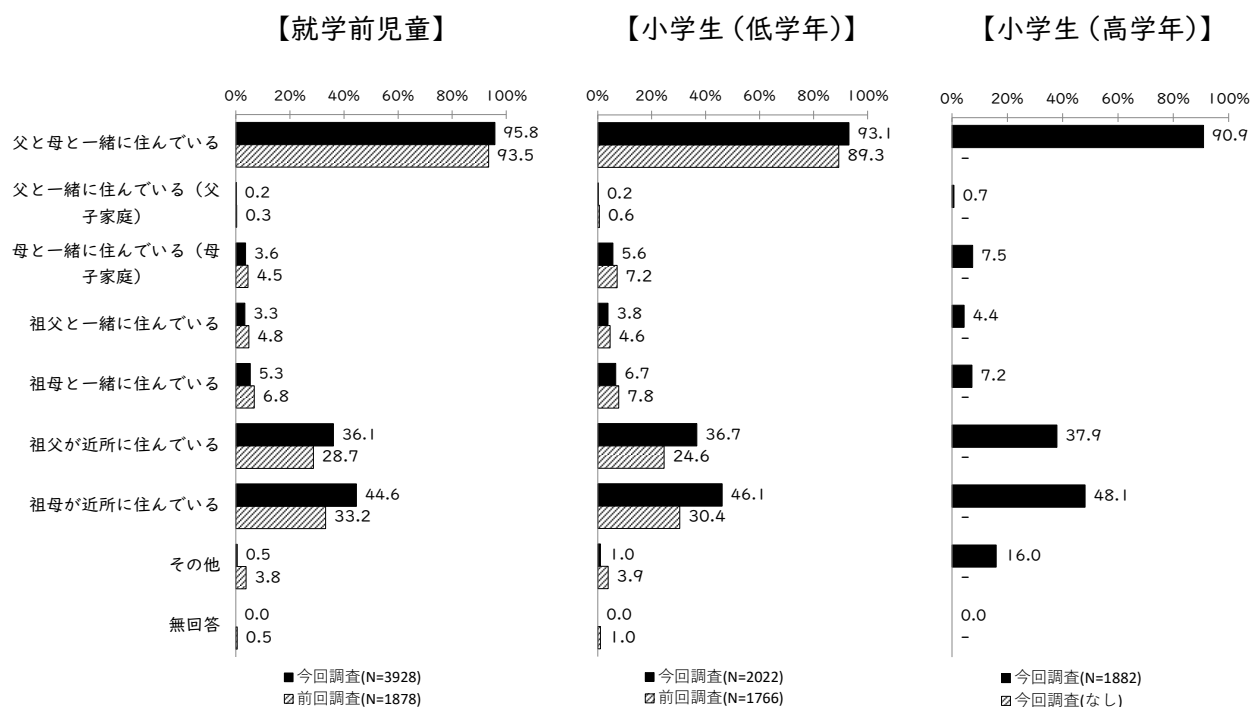


問4 お子さんが一緒に住んでいる方はどなたですか。父母の状況をお答えください。

問4-1 お子さんは祖父母と一緒に住んでいますか。または近所に住んでいますか。(複数回答可)

【同居者】

いずれも「父と母と一緒に住んでいる」の割合が最も高く、就学前児童（95.8%）、小学生（低学年）（93.1%）、小学生（高学年）（90.9%）となっています。



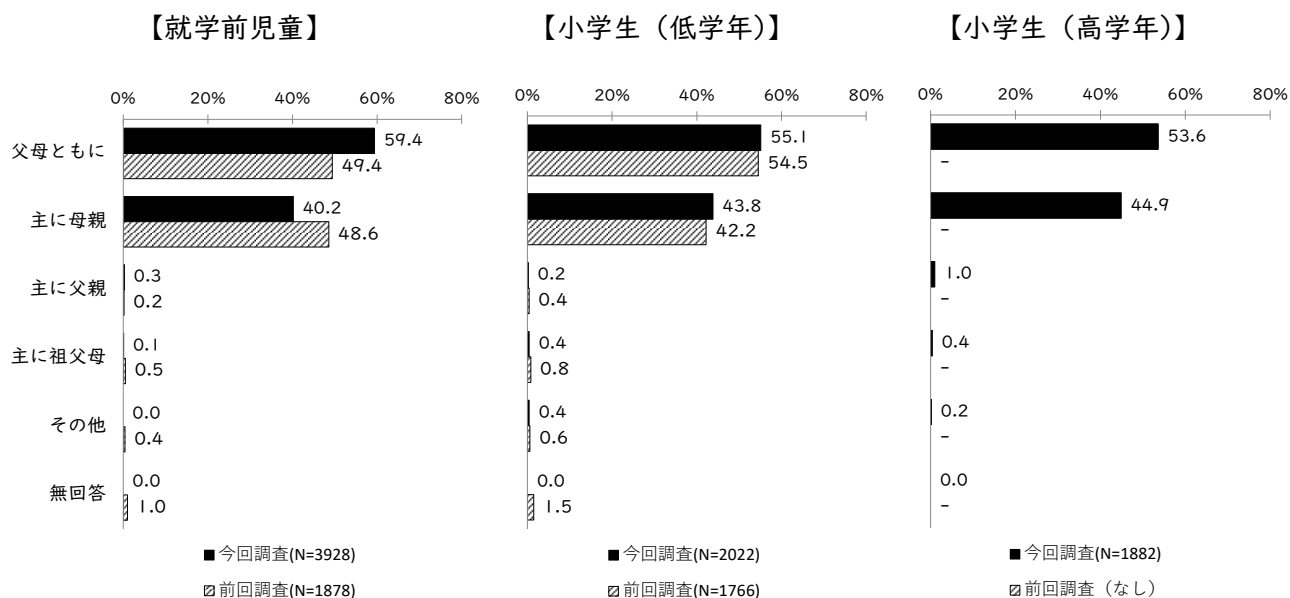
問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。

【子育ての主な担い手】

就学前児童では、「父母ともに」（59.4%）、「主に母親」（40.2%）となっています。

小学生（低学年）では、「父母ともに」（55.1%）、「主に母親」（43.8%）となっています。

小学生（高学年）では、「父母ともに」（53.6%）、「主に母親」（44.9%）となっています。

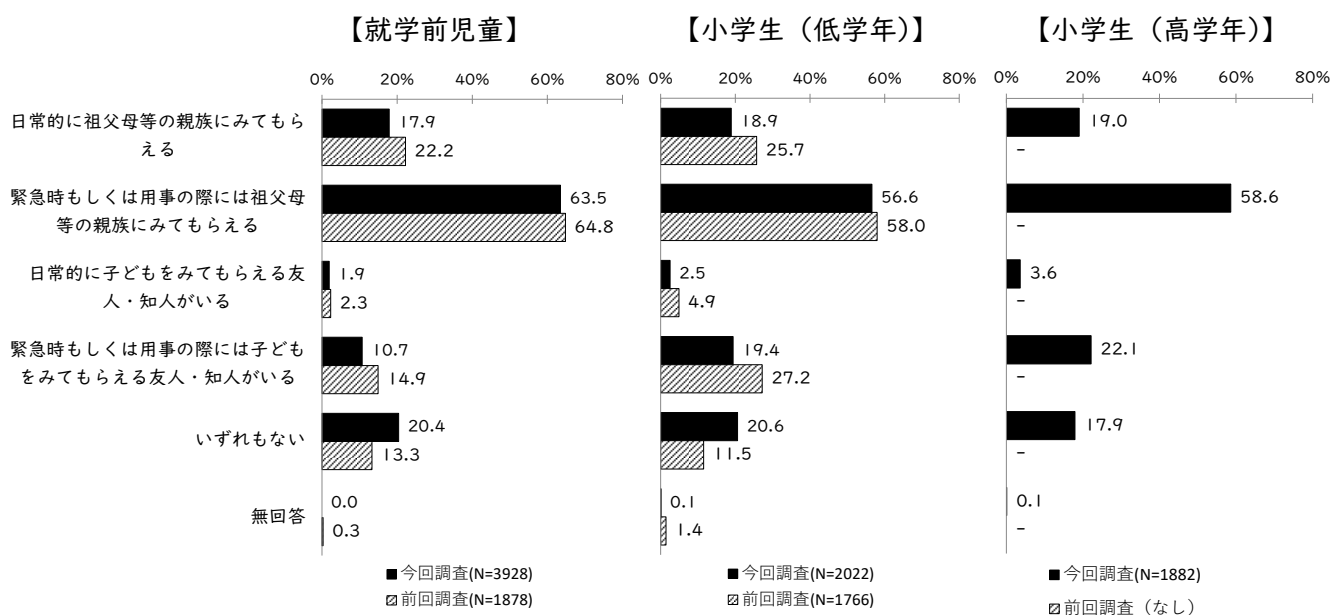


問 6 日ごろ、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(複数回答可)

【日ごろ、お子さんをみてもらえる人】

いずれも「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が最も高く、就学前児童（63.5%）、小学生（低学年）（56.6%）、小学生（高学年）（58.6%）となっています。

前回調査からは、就学前児童と小学生（低学年）で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が減少し、「いずれもない」の割合が高くなっています。



(3) 保護者の就労状況について

母親の状況

問 7(母) 現在の母親の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

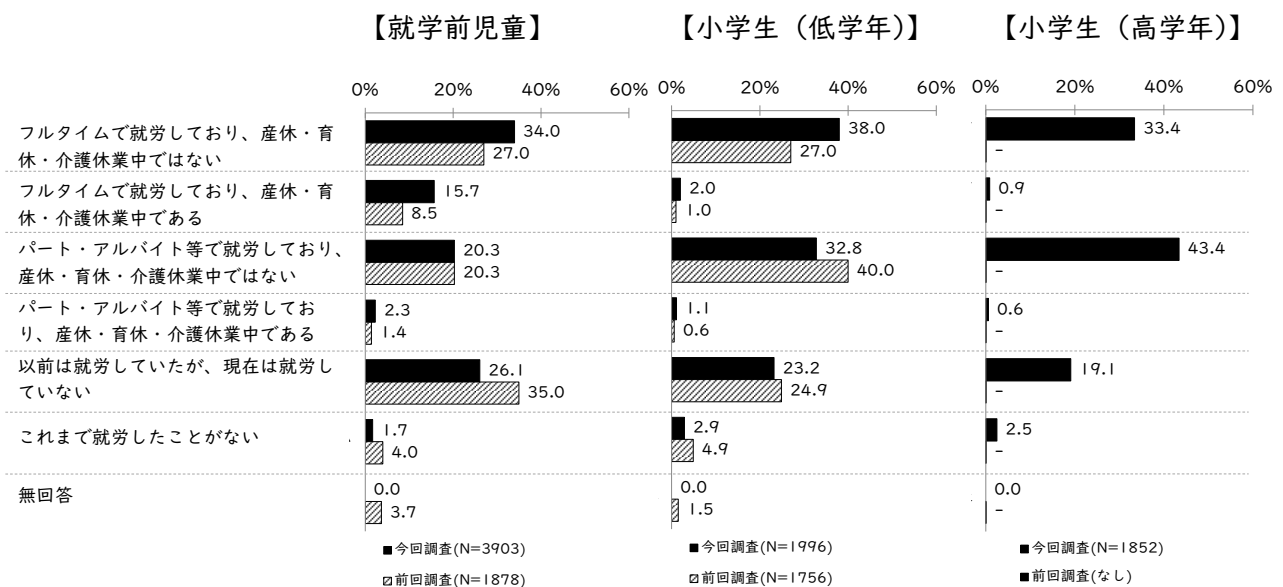
【現在の母親の就労状況】

就学前児童と小学生（低学年）では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が最も高く、就学前児童（34.0%）、小学生（低学年）（38.0%）となっています。

小学生（高学年）では、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が最も高く（43.4%）となっています。

前回調査からは、就学前児童で「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少し、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。

小学生（低学年）で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が減少し、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。



【就学前児童】

《年齢別》

1歳から5歳で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休暇中ではない」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなっています。

単位：％

	フルタイムで就労しており、 産休・育 休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しており、 産休・育 休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労して おり、産休・育休・介護休業中 ではない	パート・アルバイト等で就労して おり、産休・育休・介護休業中 である	以前は就労していたが、現在 は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
0歳(N=847)	13.5	48.2	7.4	6.0	24.2	0.7	0.0
1歳(N=588)	43.5	13.4	15.0	1.7	25.7	0.7	0.0
2歳(N=530)	42.5	7.9	15.8	0.9	30.4	2.5	0.0
3歳(N=570)	37.4	6.1	26.1	1.2	28.2	0.9	0.0
4歳(N=689)	36.0	5.2	28.9	0.4	26.3	3.2	0.0
5歳(N=679)	39.8	2.1	30.6	1.8	23.3	2.5	0.0

【小学生】

《学年別》

学年が高くなるにつれて「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が低くなっています。

今回調査

単位：％

	休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しており、産休・育	フルタイムで就労しており、産休・育	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
1年生(N=652)	38.0	3.5	30.4	1.2	23.9	2.9	0.0	
2年生(N=699)	37.8	1.3	34.0	1.4	23.0	2.4	0.0	
3年生(N=645)	38.1	1.1	34.0	0.6	22.8	3.4	0.0	

	休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しており、産休・育	フルタイムで就労しており、産休・育	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
4年生(N=660)	34.2	1.5	42.1	0.5	19.4	2.3	0.0	
5年生(N=580)	34.3	0.7	41.2	0.3	21.2	2.2	0.0	
6年生(N=612)	31.7	0.5	46.9	1.1	16.8	2.9	0.0	

前回調査

1年生(N=561)	28.7	1.6	33.5	0.5	29.4	5.9	0.4
2年生(N=563)	26.5	1.1	40.7	1.1	25.6	4.4	0.7
3年生(N=578)	27.2	0.3	45.7	0.3	20.4	4.8	1.2

4年生(なし)	-	-	-	-	-	-	-
5年生(なし)	-	-	-	-	-	-	-
6年生(なし)	-	-	-	-	-	-	-

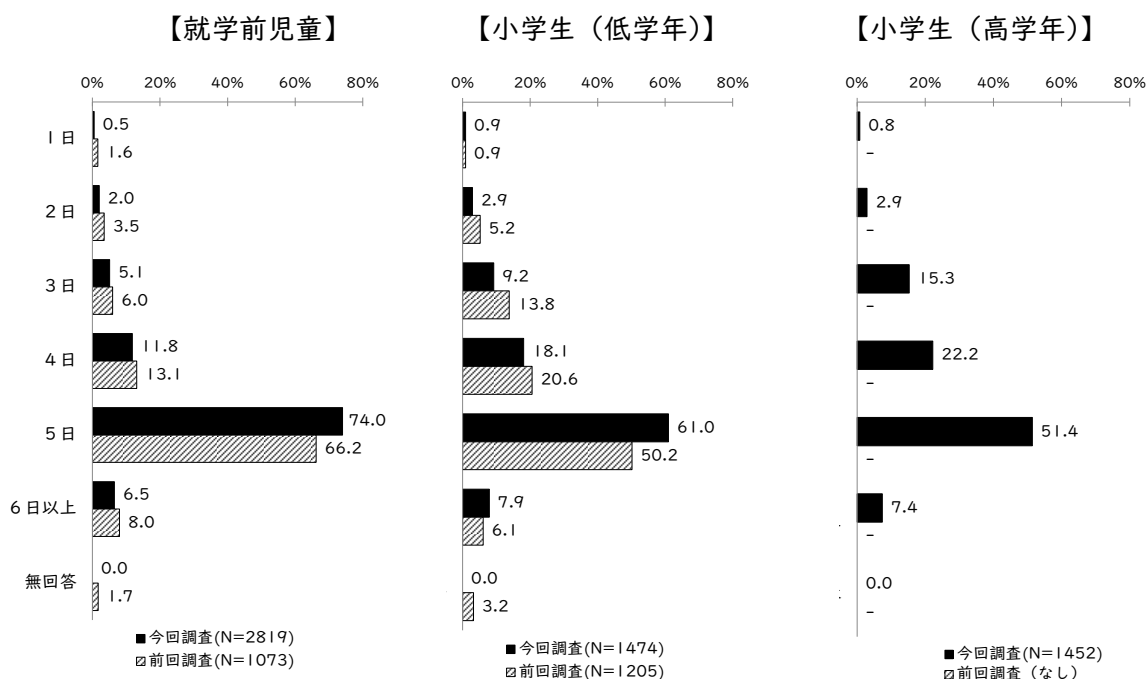
■問 7(母)で「1～4（就労している）」を選択

問 7-1-1(母) 週当たりの「就労日数」をご記入ください。

問 7-1-2(母) 1日当たりの「就労時間（残業時間含む）」をご記入ください。

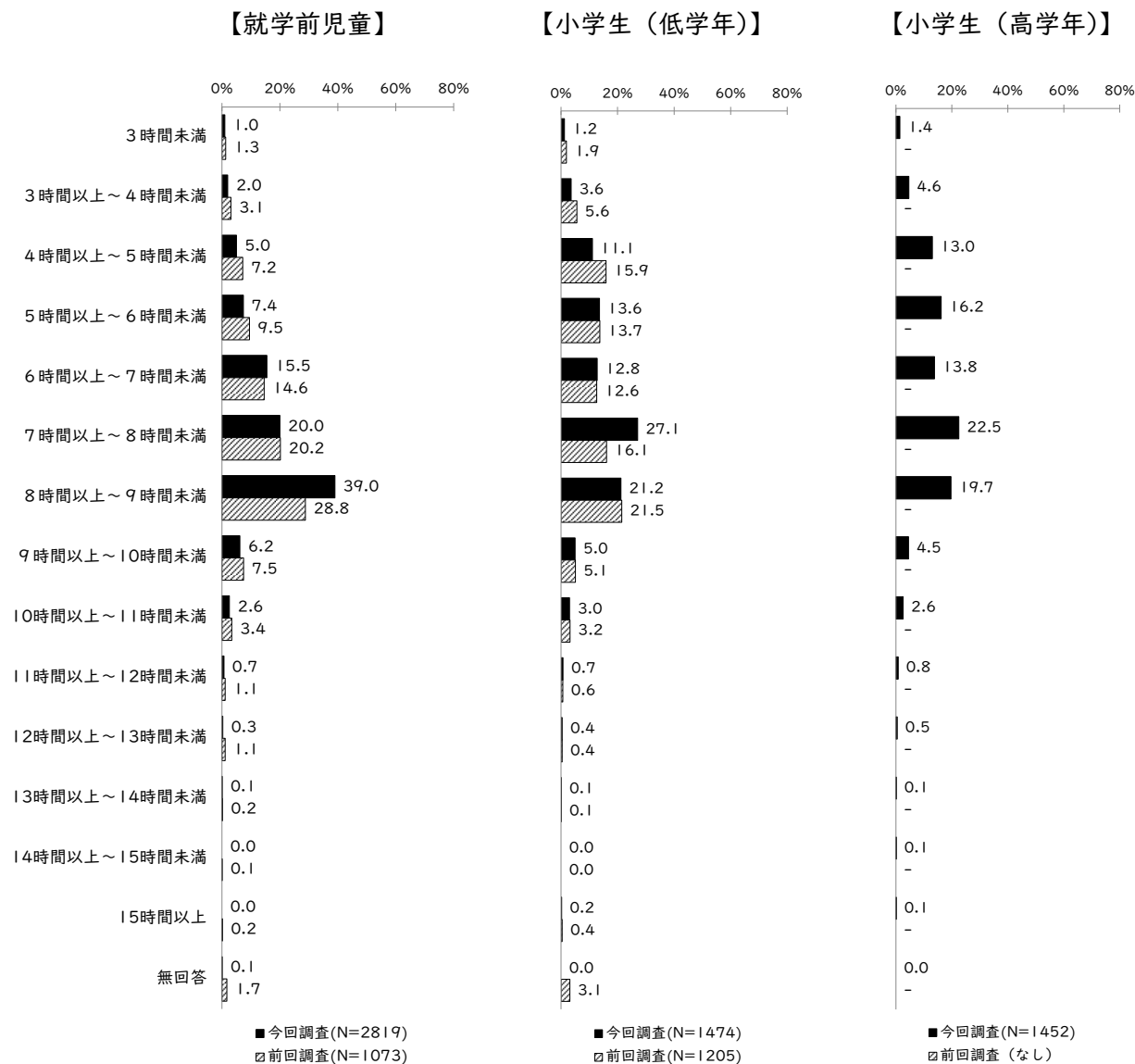
【週あたりの就労日数】

いずれも「5日」が最も高く、就学前児童（74.0%）、小学生（低学年）（61.0%）、小学生（高学年）（51.4%）となっています。



【1日あたりの就労時間】

就学前児童では、「8時間以上～9時間未満」の割合が最も高く（39.0%）、小学生（低学年）と小学生（高学年）では、「7時間以上～8時間未満」の割合が最も高く、小学生（低学年）（27.1%）、小学生（高学年）（22.5%）となっています。

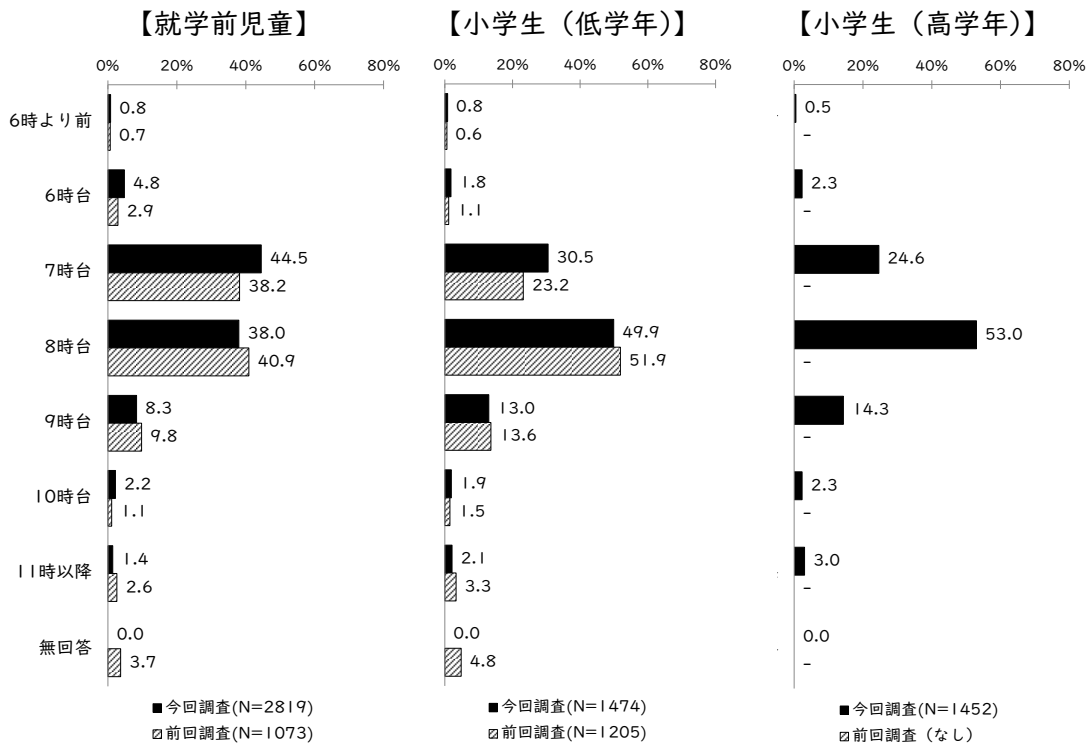


■問 7(母)で「1～4 (就労している)」を選択

問 7-1-3(母) 家を出る時刻をお答えください。

【家を出る時間】

就学前児童では、「7時台」の割合が最も高く（44.5%）、小学生（低学年）と小学生（高学年）では、「8時台」の割合が最も高く小学生（低学年）（49.9%）、小学生（高学年）（53.0%）となっています。

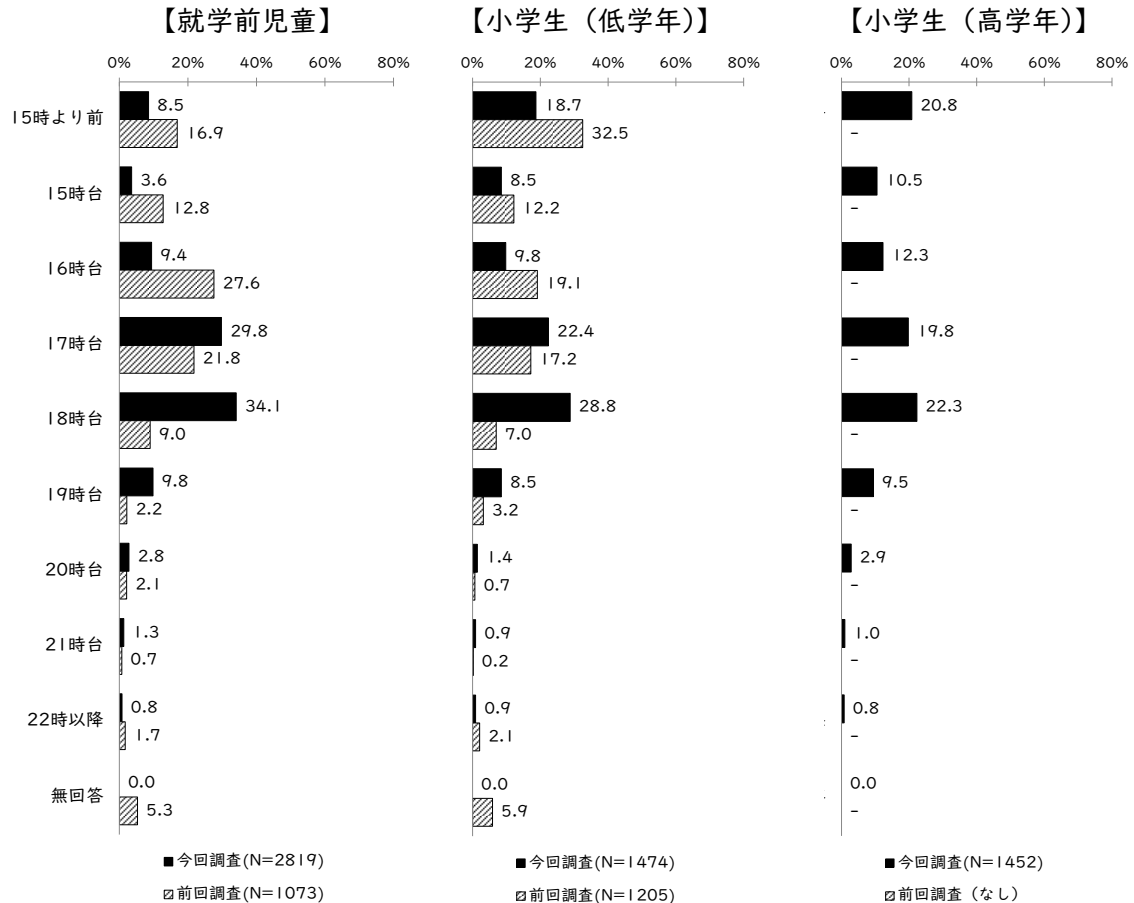


■問 7(母)で「1～4（就労している）」を選択

問 7-1-4(母) 帰宅する時刻をお答えください。

【帰宅時間】

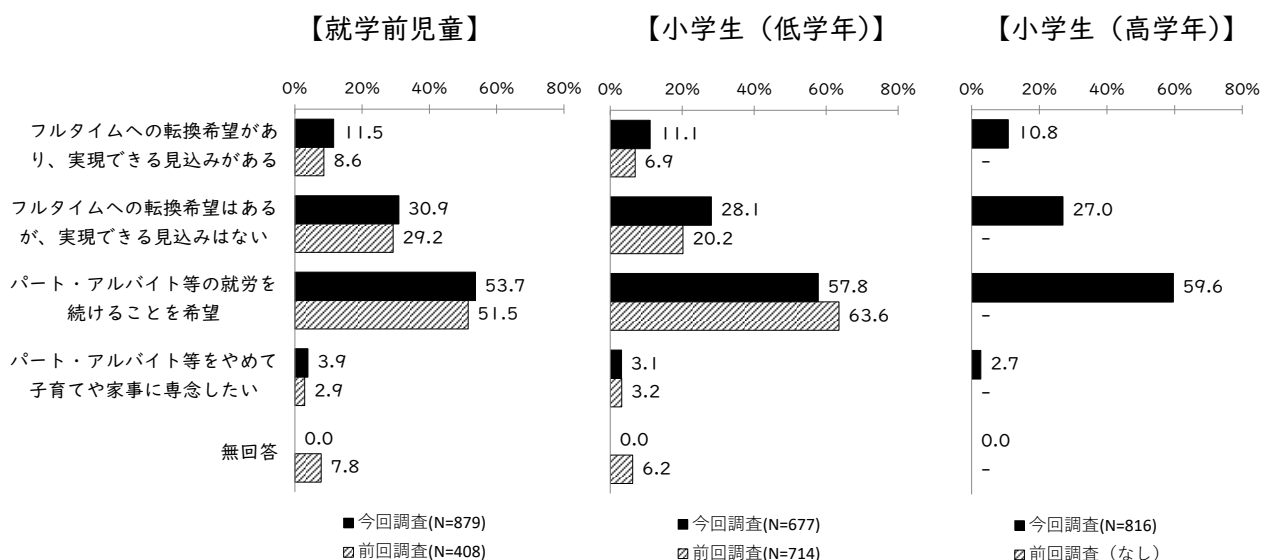
いずれも「18 時台」の割合が最も高く、就学前児童（34.1%）、小学生（低学年）（28.8%）、小学生（高学年）（22.3%）となっています。



■問 7(母)で「3 または 4 (パート・アルバイト等で就労)」を選択

問 8(母) フルタイムへの転換希望はありますか。

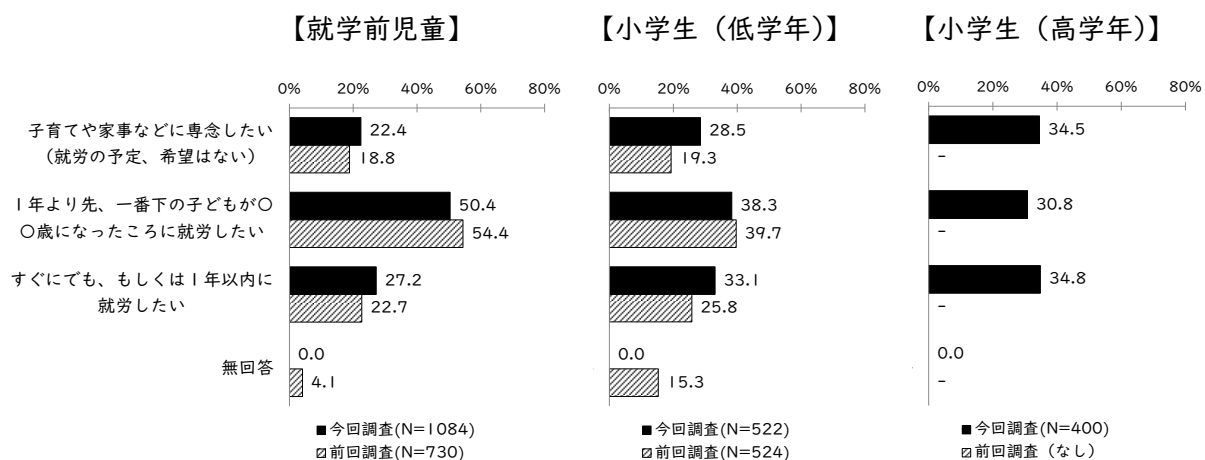
いずれも「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が最も高く、就学前児童 (53.7%)、小学生 (低学年) (57.8%)、小学生 (高学年) (59.6%) となっています。



■問 7(母)で「5 または 6 (現在就労していない、就労経験なし)」を選択

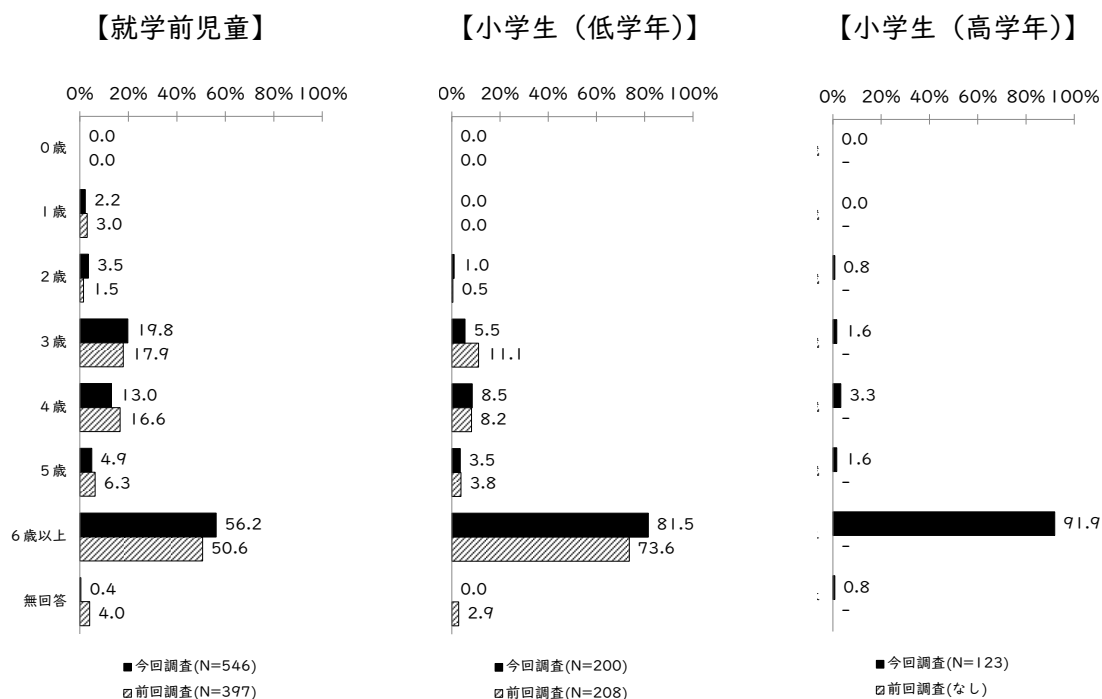
問 9(母) 就労したいという希望はありますか。

就学前児童と小学生 (低学年) では、「1 年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」の割合が最も高く、就学前児童 (50.4%)、小学生 (低学年) (38.3%) となっています。小学生 (高学年) では、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」(34.8%) の割合が最も高くなっています。



【就労希望時期の児童の年齢】

いずれも「6歳以上」の割合が最も高く、就学前児童（56.2%）、小学生（低学年）（81.5%）、小学生（高学年）（91.9%）となっています。

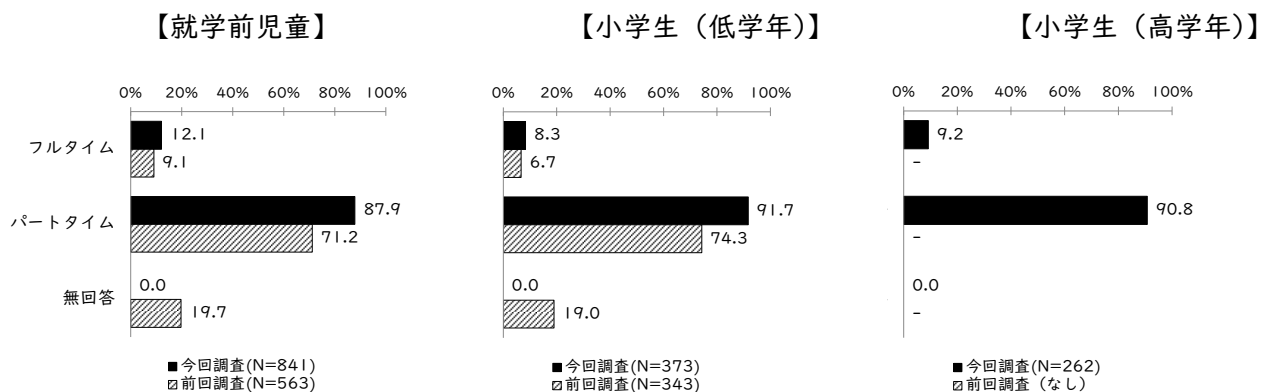


■問9（母）で「2または3（今後の就労希望あり）」を選択

問9-1-1(母) 希望する就労形態はどれですか。

【希望する就労形態】

いずれも「パートタイム」の割合が最も高く、就学前児童（87.9%）、小学生（低学年）（91.7%）、小学生（高学年）（90.8%）となっています。

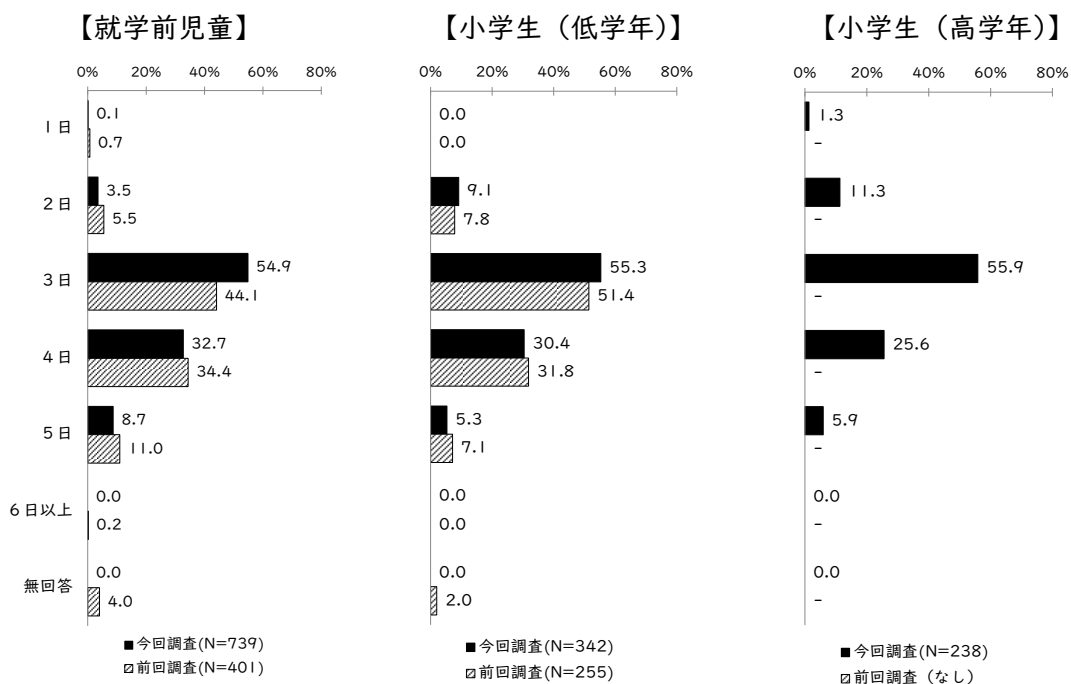


■問9-1-1 (母) で「2 (希望する就労形態がパートタイム)」を選択

問9-1-2 (母) 希望する週当たりの就労日数をご記入ください。

【希望就労日数】

いずれも「3日」の割合が最も高く、就学前児童（54.9%）小学生（低学年）（55.3%）、小学生（高学年）（55.9%）となっています。

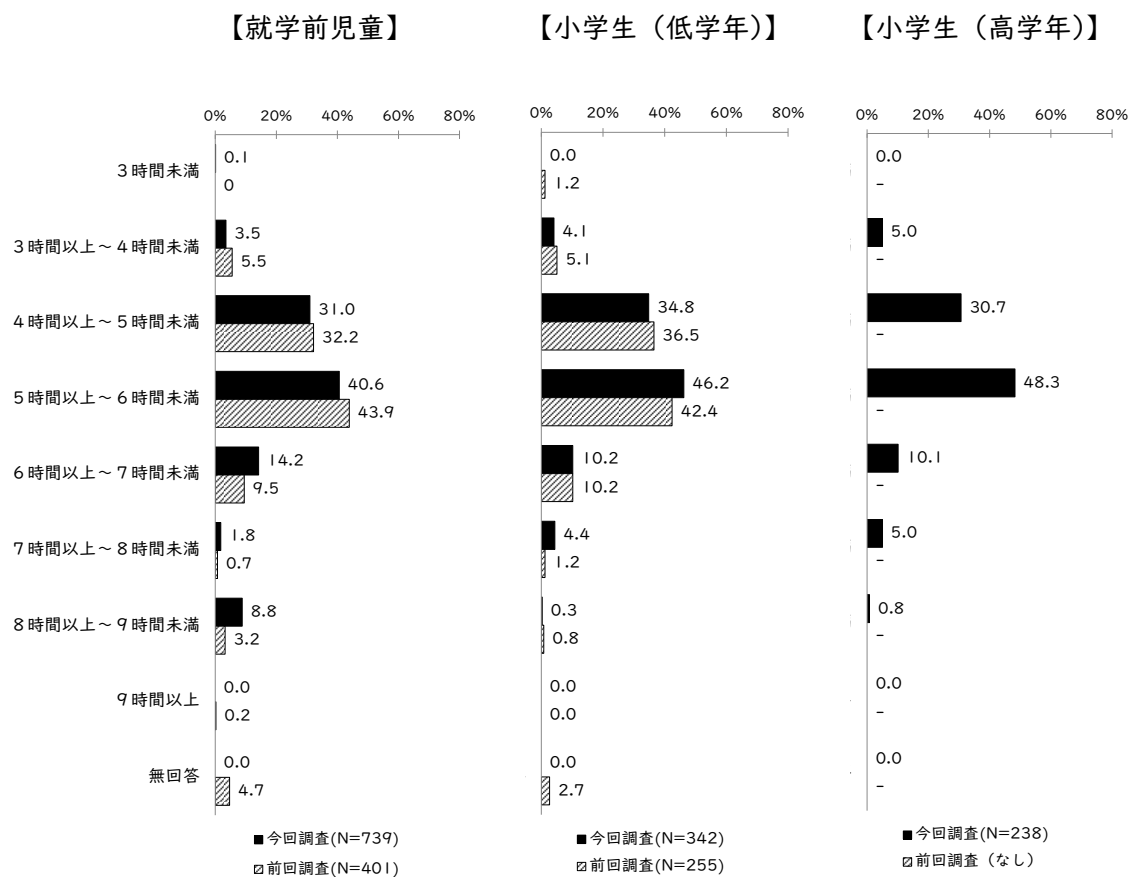


■問9-1-1(母)で「2(希望する就労形態がパートタイム)」を選択

問9-1-3(母) 希望する1日あたりの就労時間をご記入ください。

【希望就労時間】

いずれも「5時間以上～6時間未満」の割合が最も高く、就学前児童(40.6%)小学生(低学年)(46.2%)、小学生(高学年)(48.3%)となっています。

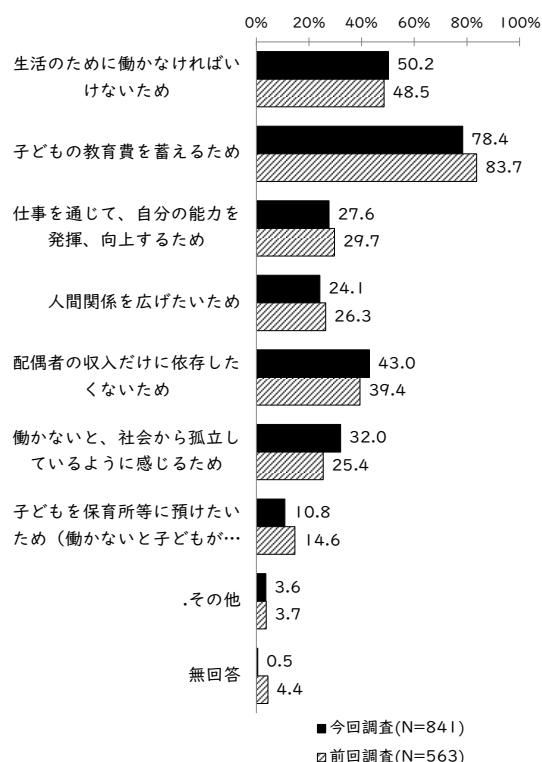


■問 9（母）で「2 または 3（就労希望あり）」を選択

問 9-2(母) 就労したい理由は何ですか。（複数回答可）

「子どもの教育費を蓄えるため」(78.4%)の割合が最も高く、「生活のために働かなければいけないため」(50.2%)、「配偶者の収入だけに依存したくないため」(43.0%)となっています。

【就学前児童】

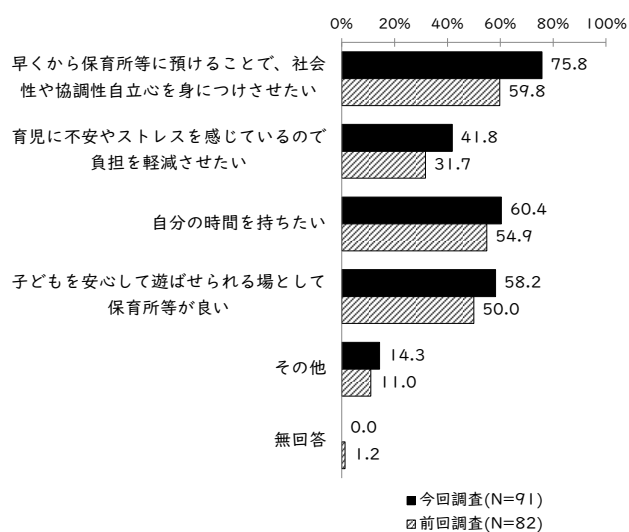


■問 9-2(母)で「7（保育所等に預けたいため）」を選択

問 9-3(母) 保育所等に預けたい理由は何ですか。（複数回答可）

「早くから保育所等に預けることで、社会性や協調性・自立心を身につけさせたい」の割合が最も高く（75.8%）、「自分の時間を持ちたい」（60.4%）、「子どもを安心して遊ばせられる場として保育所等が良い」（58.2%）となっています。

【就学前児童】

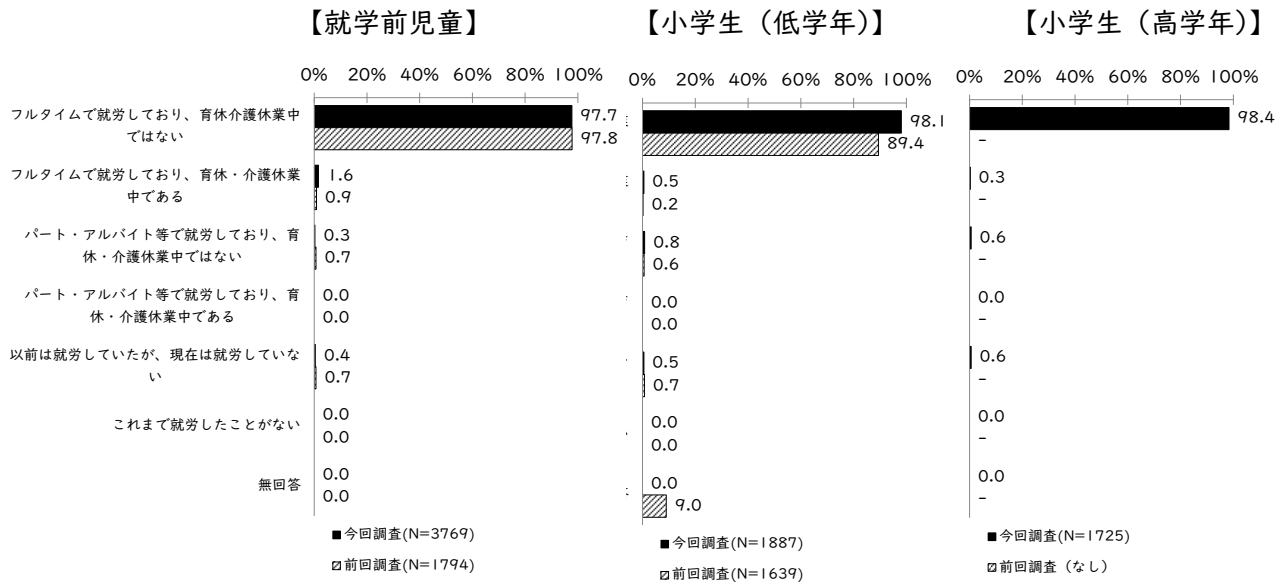


父親の状況

問 7(父) 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

【現在の父親の就労状況】

いずれも「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が最も高く、就学前児童（97.7%）、小学生（低学年）（98.1%）、小学生（高学年）（98.4%）となっています。



【就学前児童】

《年齢別》

4歳で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなっています。

	フルタイムで就労しており、 産休・育 休・介護 休業中 ではない	フルタイムで就労しており、 産休・育 休・介護 休業中 である	パート・アルバイト等で就労して おり、 産休・育 休・介護 休業中 ではない	パート・アルバイト等で就労して おり、 産休・育 休・介護 休業中 である	以前は就労していたが、現在 は就労 して いない	単位： % これまで就労したことがない	無 回 答
0歳(N=831)	94.7	4.7	0.4	0.0	0.2	0.0	0.0
1歳(N=575)	97.9	1.2	0.5	0.0	0.3	0.0	0.0
2歳(N=511)	98.6	1.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0
3歳(N=551)	98.5	0.5	0.4	0.2	0.4	0.0	0.0
4歳(N=666)	99.1	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0
5歳(N=635)	98.4	0.5	0.5	0.0	0.6	0.0	11.5

【小学生】

《学年別》

大きな差異はみられません。

単位：％

今回調査

	フルタイムで就労しており、 産休・育 休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しており、 産休・育 休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労して おり、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労して おり、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在 は就労して いない	これまで就労したことが ない	無 回 答
1年生(N=618)	98.1	0.2	1.0	0.0	0.8	0.0	0.0
2年生(N=660)	98.3	0.8	0.8	0.0	0.2	0.0	0.0
3年生(N=609)	98.0	0.5	0.8	0.0	0.7	0.0	0.0

	フルタイムで就労しており、 産休・育 休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しており、 産休・育 休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労して おり、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労して おり、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在 は就労し ていない	これまで就労したことが ない	無 回 答
4年生(N=612)	98.5	0.3	0.5	0.0	0.7	0.0	0.0
5年生(N=547)	99.3	0.2	0.2	0.0	0.4	0.0	0.0
6年生(N=566)	97.5	0.5	1.1	0.0	0.9	0.0	0.0

前回調査

1年生(N=532)	90.8	0.2	0.6	0.0	1.3	0.0	7:1
2年生(N=522)	89.8	0.2	0.4	0.0	0.6	0.0	9:0
3年生(N=533)	90.1	0.2	0.8	0.0	0.4	0.0	8:6

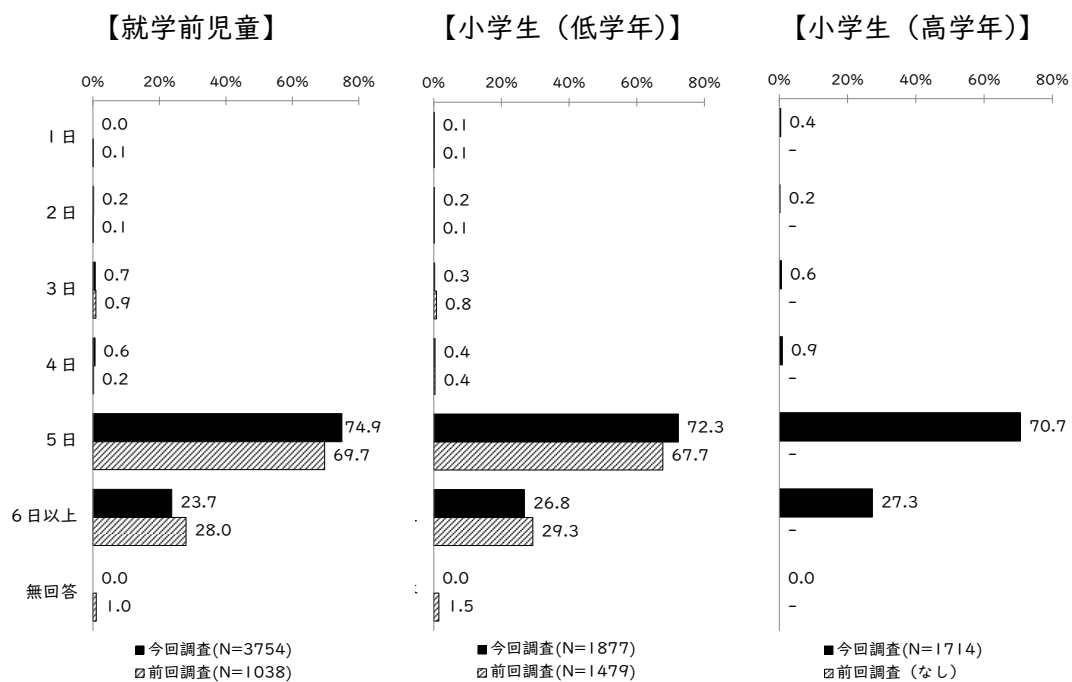
4年生(なし)	-	-	-	-	-	-	-
5年生(なし)	-	-	-	-	-	-	-
6年生(なし)	-	-	-	-	-	-	-

■問 7(父)で選択肢「1～4（就労している）」を選択

問 7-1-1(父) 週当たりの「就労日数」をご記入ください。

【週あたりの就労日数】

いずれも「5日」の割合が最も高く、就学前児童（74.9%）、小学生（低学年）（72.3%）、小学生（高学年）（70.7%）となっています。

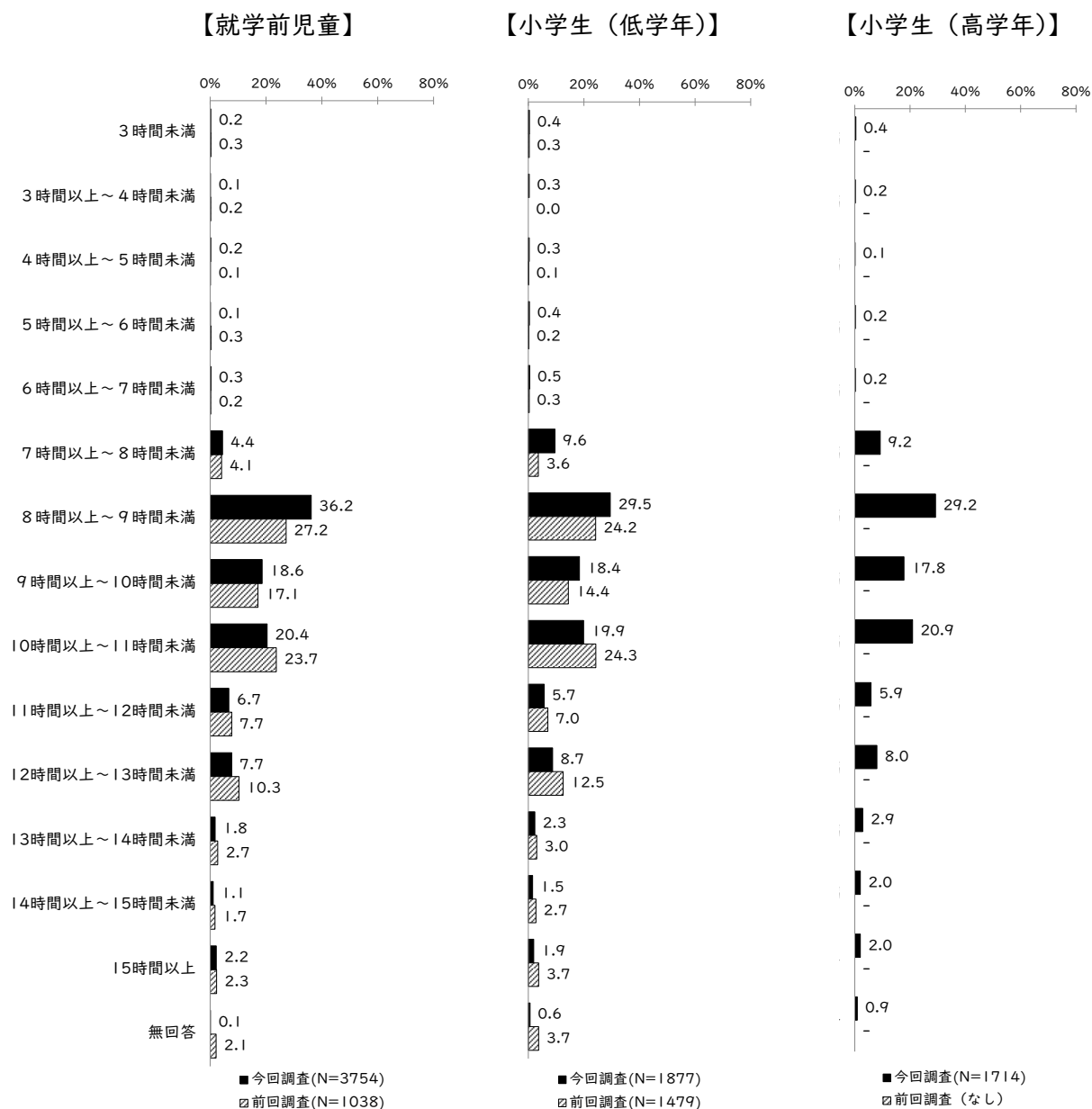


■問 7(父)で「1～4（就労している）」を選択

問 7-1-2(父) 1日当たりの「就労時間（残業時間含む）」をご記入ください。

【1日あたりの就労時間】

いずれも「8時間以上～9時間未満」の割合が最も高く、就学前児童（36.2%）、小学生（低学年）（29.5%）、小学生（高学年）（29.2%）となっています。

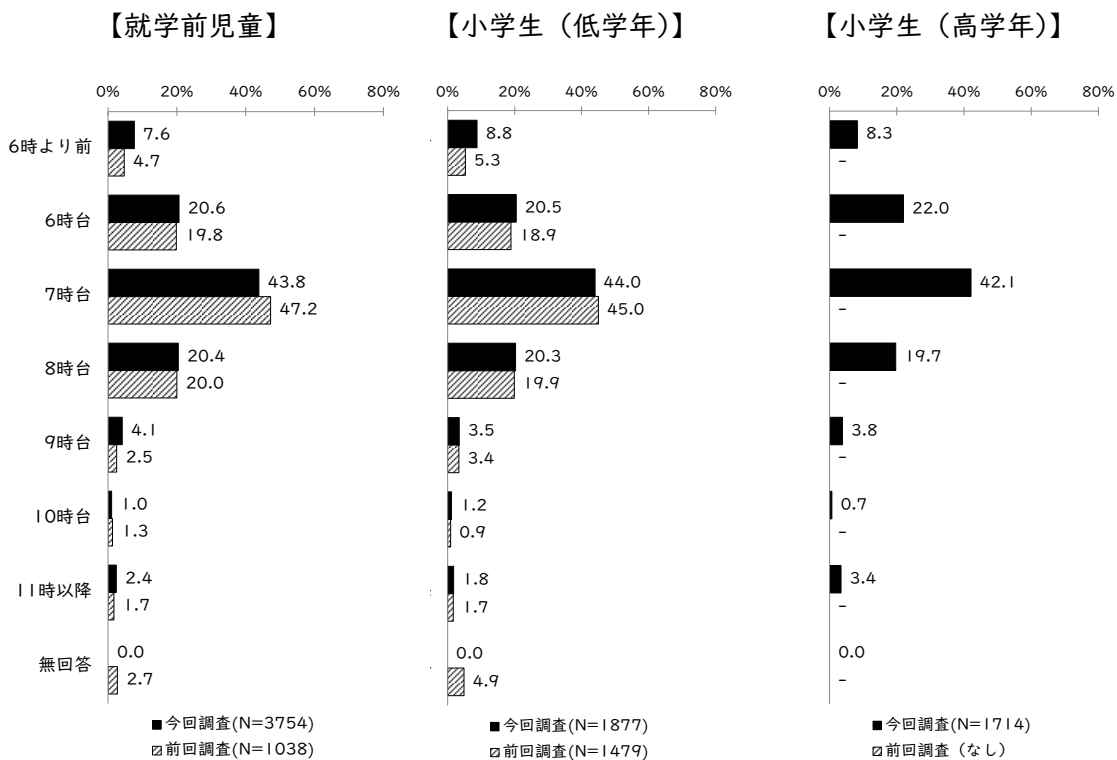


■問 7(父)で選択肢「1～4（就労している）」を選択

問 7-1-3(父) 家を出る時刻をお答えください。

【家を出る時間】

いずれも「7 時台」の割合が最も高く、就学前児童（43.8%）、小学生（低学年）（44.0%）、小学生（高学年）（42.1%）となっています。

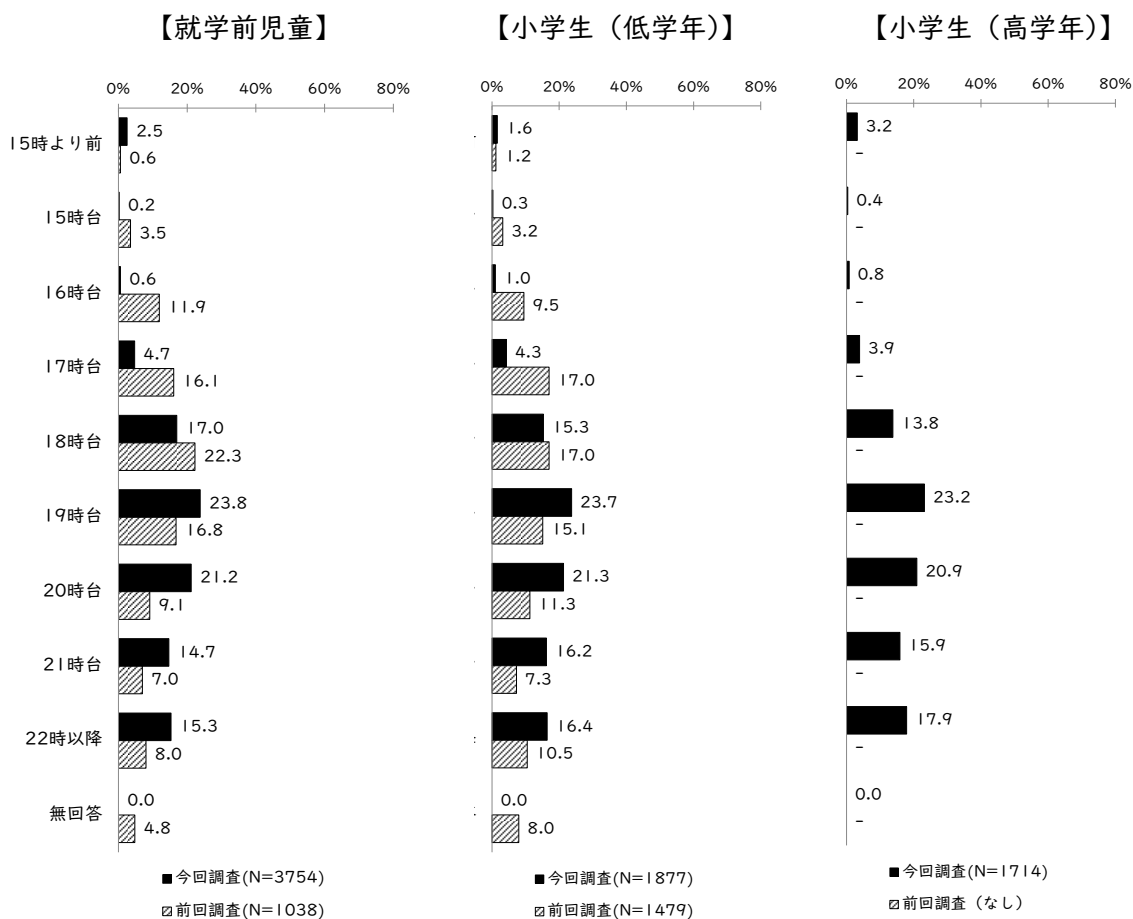


■問 7(父)で「1～4（就労している）」を選択

問 7-1-4(父) 帰宅する時刻をお答えください。

【帰宅時間】

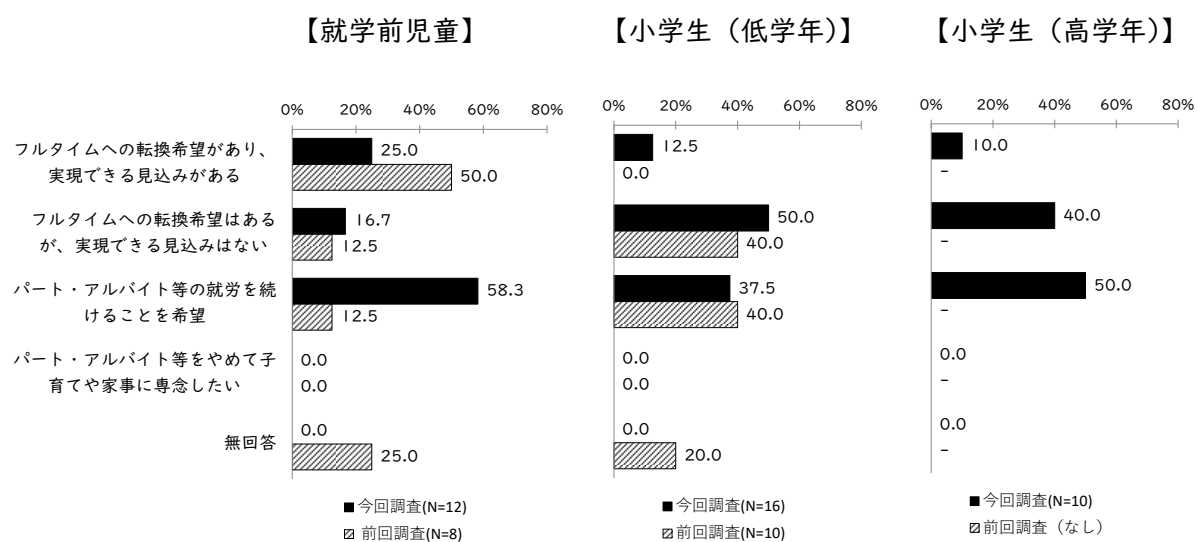
いずれも「19時台」の割合が最も高く、就学前児童（23.8%）、小学生（低学年）（23.7%）、小学生（高学年）（23.2%）となっています。



■問 7(父)で「3 または 4 (パート・アルバイト等で就労)」を選択

問 8(父) フルタイムへの転換希望はありますか。

就学前児童と小学生（高学年）では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が最も高く、就学前児童（58.3%）、小学生（高学年）（50.0%）となっています。小学生（低学年）では、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（50.0%）の割合が最も高くなっています。



■問 7(父)で「5 または 6 (現在就労していない、就労経験なし)」を選択

問 9(父) 就労したいという希望はありますか。

※ 分析及びグラフ作成は、サンプル数が少ないため、割愛しています。

区分		回答数 (件)	子育てや家事 などに専念し たい(就労の予 定はない)	1年より先、一 番下の子ども が〇〇歳にな ったところに就 労したい	すぐにでも、も しくは1年以 内に就労した い	無回答
就学前児童	今回調査	15	3	5	7	0
	前回調査	8	0	0	1	7
小学生 (低学年)	今回調査	10	3	0	7	0
	前回調査	12	1	2	5	4
小学生 (高学年)	今回調査	11	2	0	9	0
	前回調査	-	-	-	-	-

【就労希望時期の児童の年齢】

※ 分析及びグラフ作成は、サンプル数が少ないため、割愛しています。

区分		回答数 (件)	1歳 未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳 以上	無回答
就学前児童	今回調査	5	0	0	0	0	1	0	4	0
	前回調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生 (低学年)	今回調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前回調査	2	0	0	0	1	0	0	0	1
小学生 (高学年)	今回調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■問9（父）で「2または3（就労希望あり）」を選択

問9-1-1（父）希望する就労形態はどれですか。

【希望する就労形態】

※ 分析及びグラフ作成は、サンプル数が少ないため、割愛しています。

区分		回答数 (件)	フルタイム（1週5 日程度・1日8時間 程度の就労）	パートタイム、アル バイト等	無回答
就学前児童	今回調査	12	8	4	0
	前回調査	1	0	0	1
小学生 （低学年）	今回調査	7	6	1	0
	前回調査	1	0	0	1
小学生 （高学年）	今回調査	9	7	2	0
	前回調査	-	-	-	-

■問9-1-1（父）で「2（希望する就労形態がパートタイム・アルバイト等）」を選択

問9-1-2（父）希望する週当たりの就労日数をご記入ください。

【希望就労日数】

※ 分析及びグラフ作成は、サンプル数が少ないため、割愛しています。

区分		回答数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日 以上	無回答
就学前児童	今回調査	4	0	0	4	0	0	0	0
	前回調査	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生 （低学年）	今回調査	1	0	1	0	0	0	0	0
	前回調査	3	0	0	0	1	1	0	1
小学生 （高学年）	今回調査	2	0	0	2	0	0	0	0
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-

■問 9-1-1 (父) で「2 (希望する就労形態がパートタイム・アルバイト等)」を選択

問 9-1-3(父) 希望する 1 日あたりの就労時間をご記入ください。

【希望就労時間】

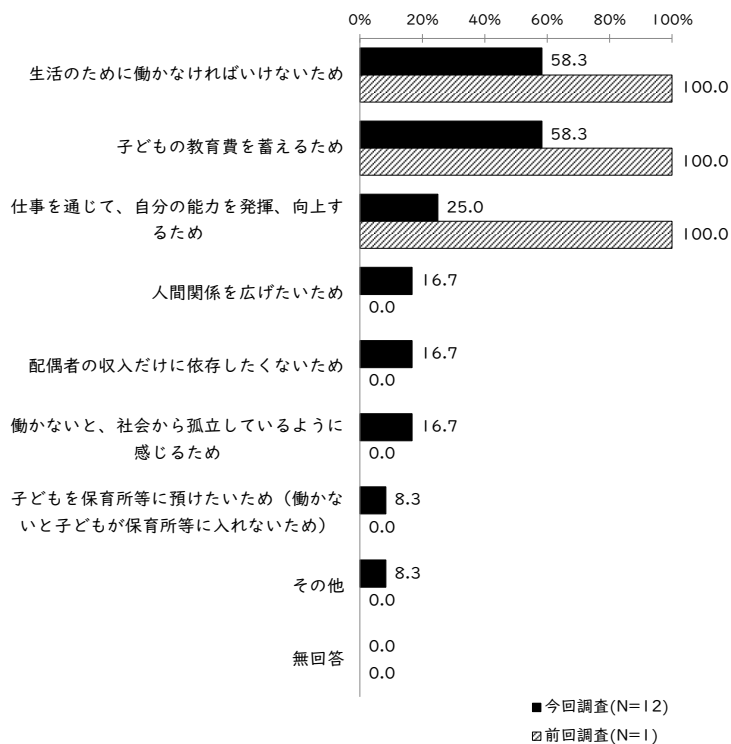
※ 分析及びグラフ作成は、サンプル数が少ないため、割愛しています。

区分		回答数 (件)	3時間 未満	3時間 ～4時 間未満	4時間 ～5時 間未満	5時間 ～6時 間未満	6時間 ～7時 間未満	7時間 ～8時 間未満	8時間 ～9時 間未満	9時間 以上	無回答
就学前児童	今回調査	4	0	0	0	3	0	1	0	0	0
	前回調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生 (低学年)	今回調査	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	前回調査	3	0	0	0	0	0	0	2	0	1
小学生 (高学年)	今回調査	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■問 9（父）で「2 または 3（就労希望あり）」を選択

問 9-2(父) 就労したい理由は何ですか。（複数回答可） 【※就学前児童のみの設問】

【就学前児童】



■問 9-2(父)で「7(保育所等に預けたいため)」を選択

問 9-3(父) 保育所等に預けたい理由は何ですか。（複数回答可）【※就学前児童のみの設問】

「早くから保育所等に預けることで、社会性や協調性・自立心を身につけさせたい」「子どもを安心して遊ばせられる場として保育所等が良い」がそれぞれ1件となっています。（有効回答数1件）

(4) 高槻市で子育てをすることについて

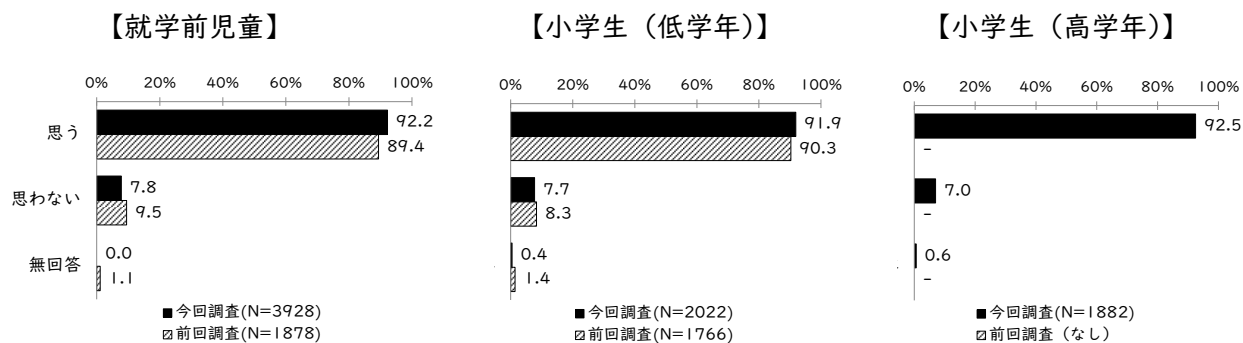
(就学前児童) 問 22 (小学生) 問 12

今後も高槻市で子どもを育てたいと思いますか。

就学前児童では、「思う」(92.2%)、「思わない」(7.8%)となっています。

小学校(低学年)では、「思う」(91.9%)、「思わない」(7.7%)となっています。

小学校(高学年)では、「思う」(92.5%)、「思わない」(7.0%)となっています。

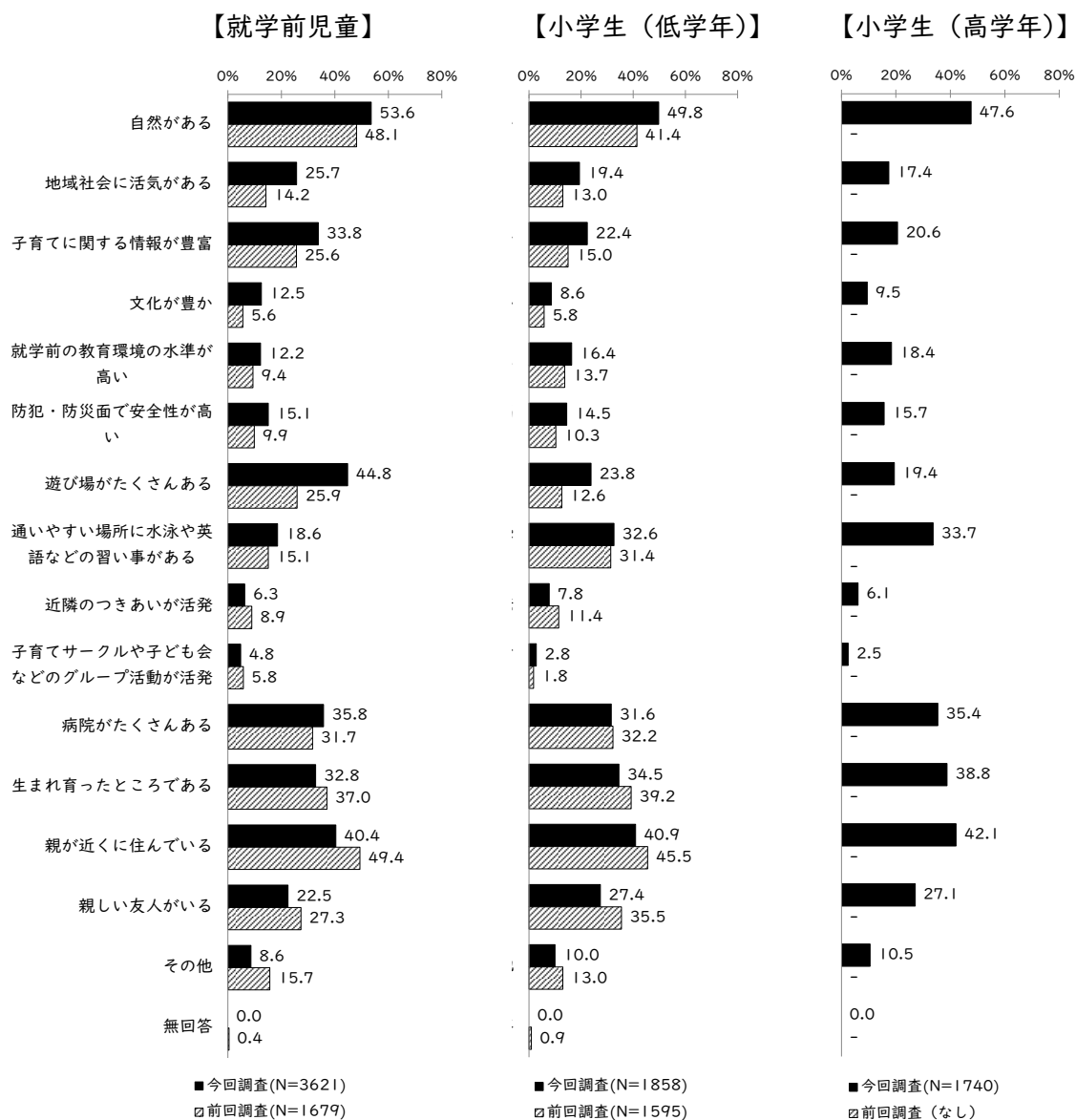


■（就学前児童）問 22、（小学生）問 12 で「1.（高槻市で子どもを育てたいと思う）」を選択

（就学前児童）問 22-1 （小学生）問 12-1

その理由は何ですか。（複数回答可）

いずれも「自然がある」の割合が最も高く、就学前児童（53.6%）、小学生（低学年）（49.8%）、小学生（高学年）（47.6%）となっています。



■（就学前児童）問 22（小学生）問 12 で「2. 思わない」を選択

（就学前児童）問 22-2 （小学生）問 12-2

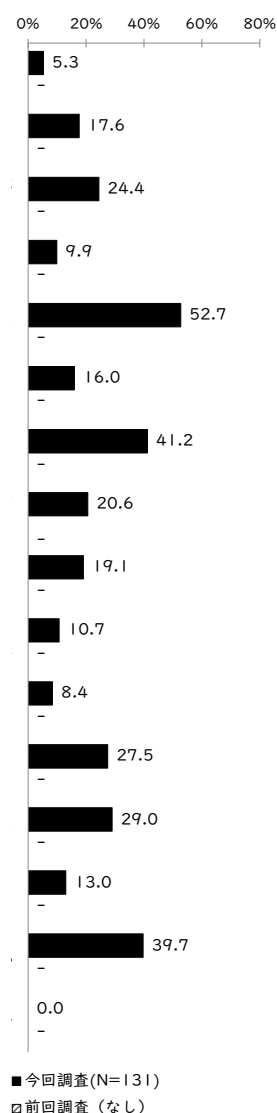
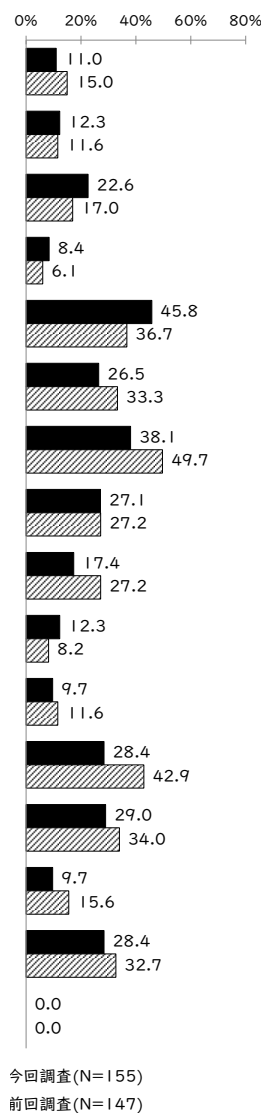
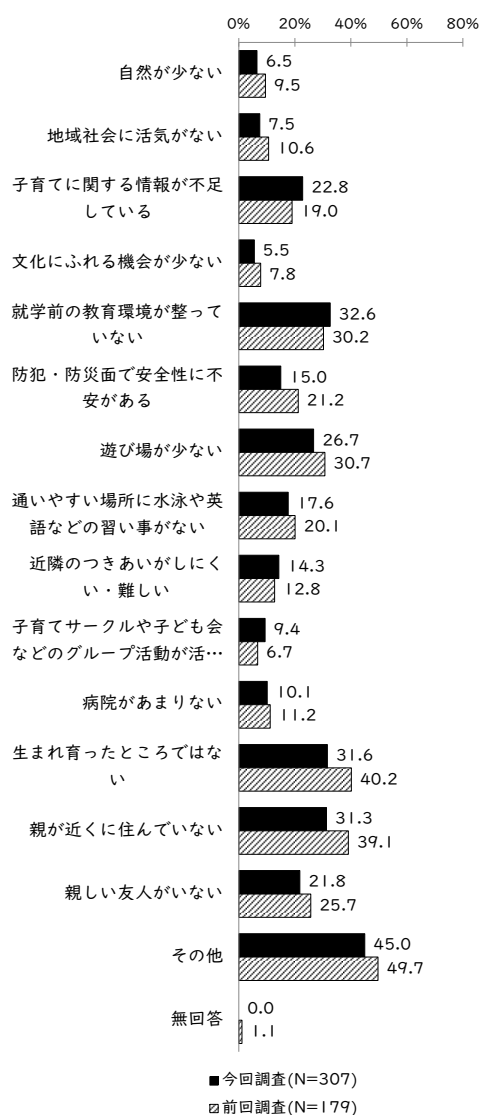
その理由は何ですか。（複数回答可）

いずれも「就学前の教育環境が整っていない」の割合が最も高く、就学前児童（32.6%）、小学生（低学年）（45.8%）、小学生（高学年）（52.7%）となっています。

【就学前児童】

【小学生（低学年）】

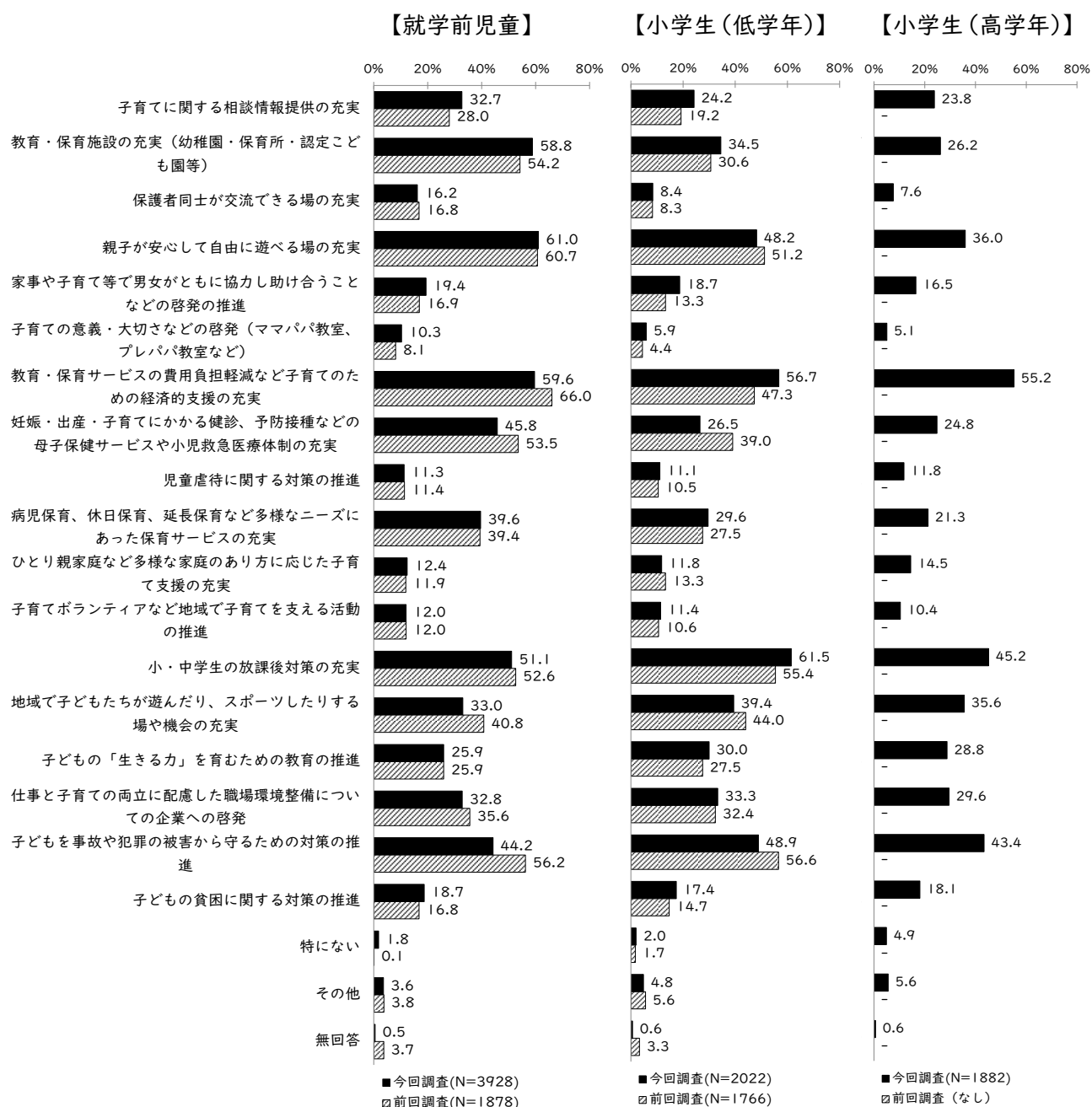
【小学生（高学年）】



（就学前児童）問 23 （小学生）問 13

市役所などに対して、子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。（複数回答可）

就学前児童では、「親子が安心して自由に遊べる場の充実」の割合が最も高く、（61.0%）、小学生（低学年）では、「小・中学生の放課後対策の充実」の割合が最も高く、（61.5%）となっています。小学生（高学年）では、「教育・保育サービスの費用負担軽減など子育てのための経済的支援の充実」の割合が最も高く、（55.2%）となっています。



Ⅱ 調査結果

2 就学前児童

2 就学前児童

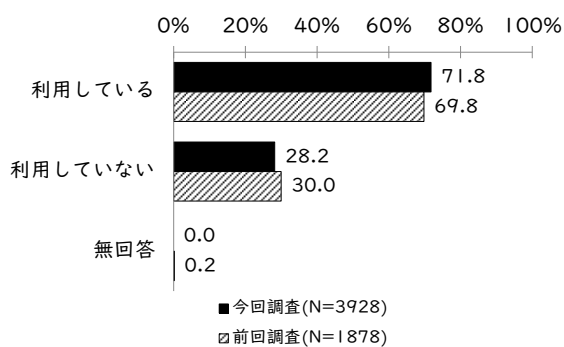
(1) 平日における定期的な幼稚園・保育所・認定こども園などの利用状況について

問 10 平日に幼稚園・保育所などの子どもを預かる施設やサービスを定期的に利用していますか。

「利用している」(71.8%)、「利用していない」(28.2%)となっています。

前回調査と比較すると、「利用している」の割合が増加し、「利用していない」の割合が減少しています。

【就学前児童】



《年齢別》

今回調査 単位：%

	利用している	利用していない	無回答
0歳(N=852)	18.9	81.1	0.0
1歳(N=592)	66.9	33.1	0.0
2歳(N=532)	72.0	28.0	0.0
3歳(N=575)	93.6	6.4	0.0
4歳(N=698)	98.0	2.0	0.0
5歳(N=679)	96.9	3.1	0.0

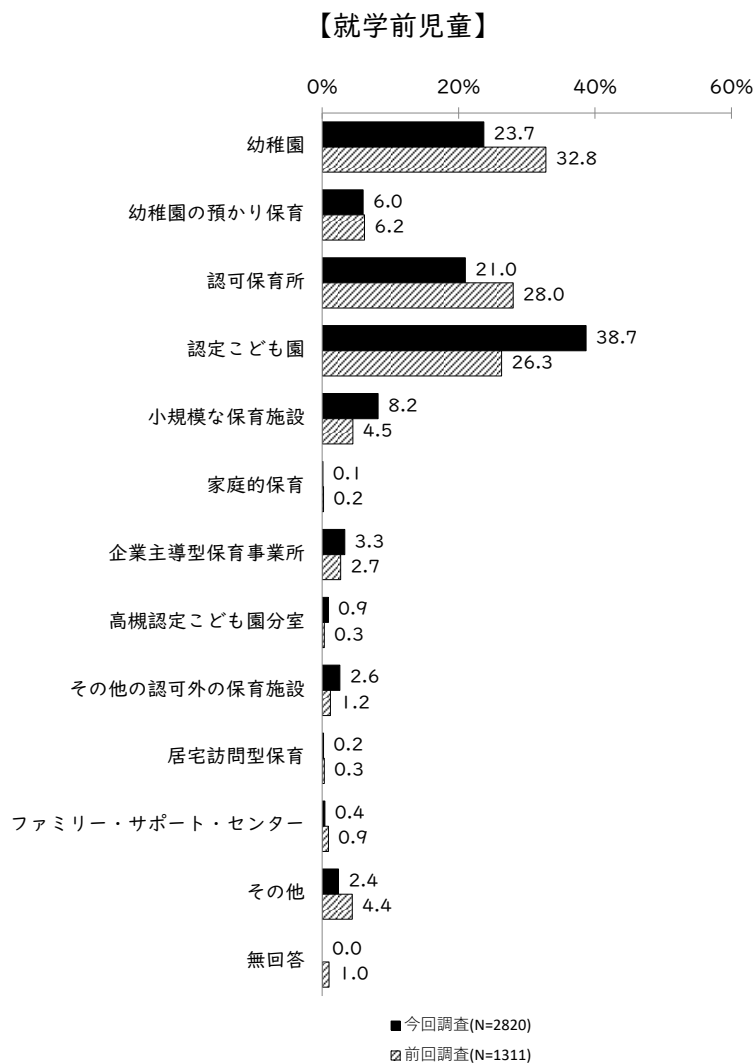
前回調査

	利用している	利用していない	無回答
0歳(N=331)	19.9	79.8	0.3
1歳(N=251)	51.4	48.2	0.4
2歳(N=302)	59.9	39.7	0.3
3歳(N=321)	84.4	15.6	0.0
4歳(N=333)	99.7	0.3	0.0
5歳(N=311)	99.4	0.6	0.0

■（就学前児童）問 10 で「1. 利用している」を選択

問 10-1 宛名のお子さんは、平日どのような施設やサービスを利用していますか。

「認定こども園」(38.7%)、「幼稚園」(23.7%)、「認可保育所」(21.0%)、となっています。
 前回調査と比較して、「認定こども園」の割合が増加し、「幼稚園」「認可保育所」の割合が減少しています。



《居住区域別》 ※認定保育施設は事業が終了しているため、今回調査の項目にはありません。

今回調査

単位：％

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	企業主導型保育事業所	高槻認定こども園分室	認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
1 区域(N=381)	24.1	3.4	29.4	35.4	6.3	0.0	2.6	0.5	-	1.0	0.3	0.0	1.8	0.0
2 区域(N=896)	25.0	7.1	17.1	42.9	5.7	0.1	1.8	0.7	-	4.9	0.3	0.6	2.6	0.0
3 区域(N=519)	27.9	8.1	24.9	27.4	11.4	0.2	5.0	0.2	-	1.0	0.0	0.2	2.9	0.0
4 区域(N=815)	22.3	5.4	22.8	35.1	9.8	0.0	4.5	1.3	-	2.2	0.2	0.6	2.7	0.0
5 区域(N=146)	9.6	3.4	6.2	67.1	11.6	0.0	2.7	2.7	-	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
6 区域(N= 63)	19.0	3.2	4.8	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	-	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0

前回調査

1 区域(N=269)	43.5	8.2	29.0	18.6	1.9	0.0	1.9	0.0	0.7	1.5	0.4	0.7	4.5	0.0
2 区域(N=214)	32.7	7.5	20.6	30.8	7.0	0.0	0.9	0.0	0.5	2.8	0.9	1.4	4.2	0.9
3 区域(N=198)	39.9	8.1	35.9	9.1	6.6	0.0	2.5	0.0	2.0	0.0	0.0	0.5	6.6	1.0
4 区域(N=214)	32.7	7.0	32.2	22.4	4.2	0.5	4.2	0.9	0.9	0.5	0.0	0.5	3.7	1.9
5 区域(N=212)	22.6	2.4	29.2	39.2	2.8	0.0	2.4	0.5	2.8	0.5	0.0	1.4	2.8	1.9
6 区域(N=107)	36.4	4.7	2.8	55.1	0.0	0.0	1.9	0.0	1.9	0.9	0.0	0.0	1.9	0.9

《年齢別》 ※認定保育施設は事業が終了しているため、今回調査の項目にはありません。

単位：％

今回調査

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	企業主導型保育事業所	高槻認定こども園分室	認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
0歳(N=161)	1.2	1.2	26.1	40.4	17.4	0.6	9.9	0.6	-	2.5	1.2	0.6	1.2	0.0
1歳(N=396)	1.5	0.3	21.7	36.4	27.0	0.0	5.3	2.5	-	4.3	0.0	1.0	2.8	0.0
2歳(N=383)	7.3	1.3	25.6	33.7	21.4	0.0	4.4	0.3	-	2.6	0.8	0.3	6.5	0.0
3歳(N=538)	26.0	7.2	23.0	43.1	1.5	0.0	1.9	1.5	-	2.0	0.2	0.0	1.7	0.0
4歳(N=684)	36.0	8.6	19.0	38.3	0.4	0.1	2.5	0.1	-	2.6	0.0	0.6	1.6	0.0
5歳(N=658)	37.5	9.7	17.0	39.2	0.5	0.0	1.8	0.5	-	2.1	0.0	0.2	1.4	0.0

前回調査

0歳(N=66)	0.0	0.0	30.3	30.3	13.6	0.0	9.1	3.0	1.5	0.0	1.5	1.5	12.1	0.0
1歳(N=129)	2.3	0.0	39.5	31.8	14.7	0.0	3.9	0.8	5.4	1.6	0.8	0.8	3.1	2.3
2歳(N=181)	4.4	2.2	36.5	24.9	13.8	0.6	6.1	0.0	1.7	4.4	0.6	1.7	7.7	1.7
3歳(N=271)	35.8	5.9	27.3	29.2	1.5	0.0	1.5	0.4	0.4	0.7	0.0	0.7	5.9	1.1
4歳(N=332)	45.2	7.8	25.3	25.0	0.3	0.0	1.5	0.0	0.9	1.2	0.3	0.9	3.0	0.3
5歳(N=309)	53.7	10.7	21.0	22.7	0.0	0.3	1.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.6	1.9	1.0

■（就学前児童）問 10 で「1. 利用している」を選択

問 10-2-1 現在、1 週あたり何日程度利用していますか。

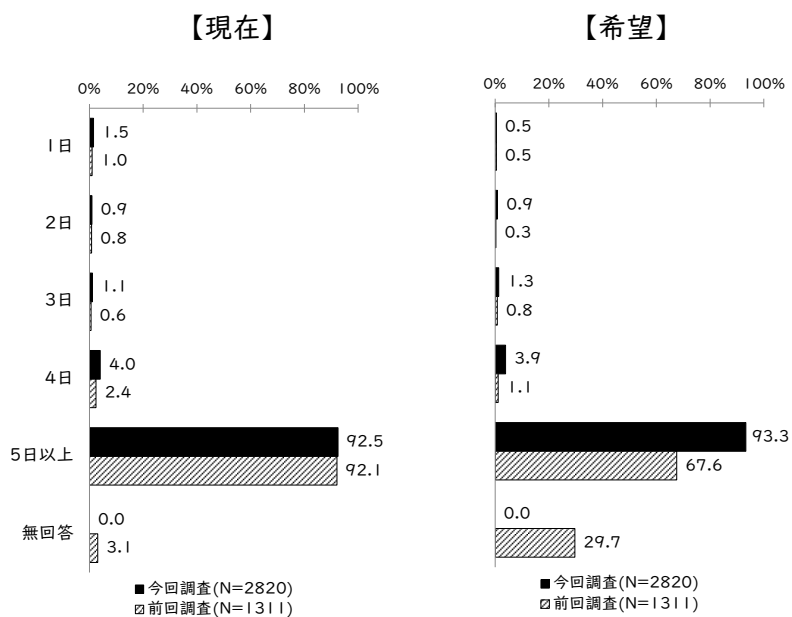
問 10-3-1 希望としては、1 週あたり何日程度利用したいですか。

【1 週あたり日数】

現在では、就学前児童では、「5 日」（92.5％）の割合が最も高くなっています。

希望では、就学前児童では、「5 日」（93.3％）の割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



■（就学前児童）問 10 で「1. 利用している」を選択

問 10-2-2 現在、1 日あたり何時間程度利用していますか。

問 10-3-2 希望としては、1 日あたり何時間程度利用したいですか。

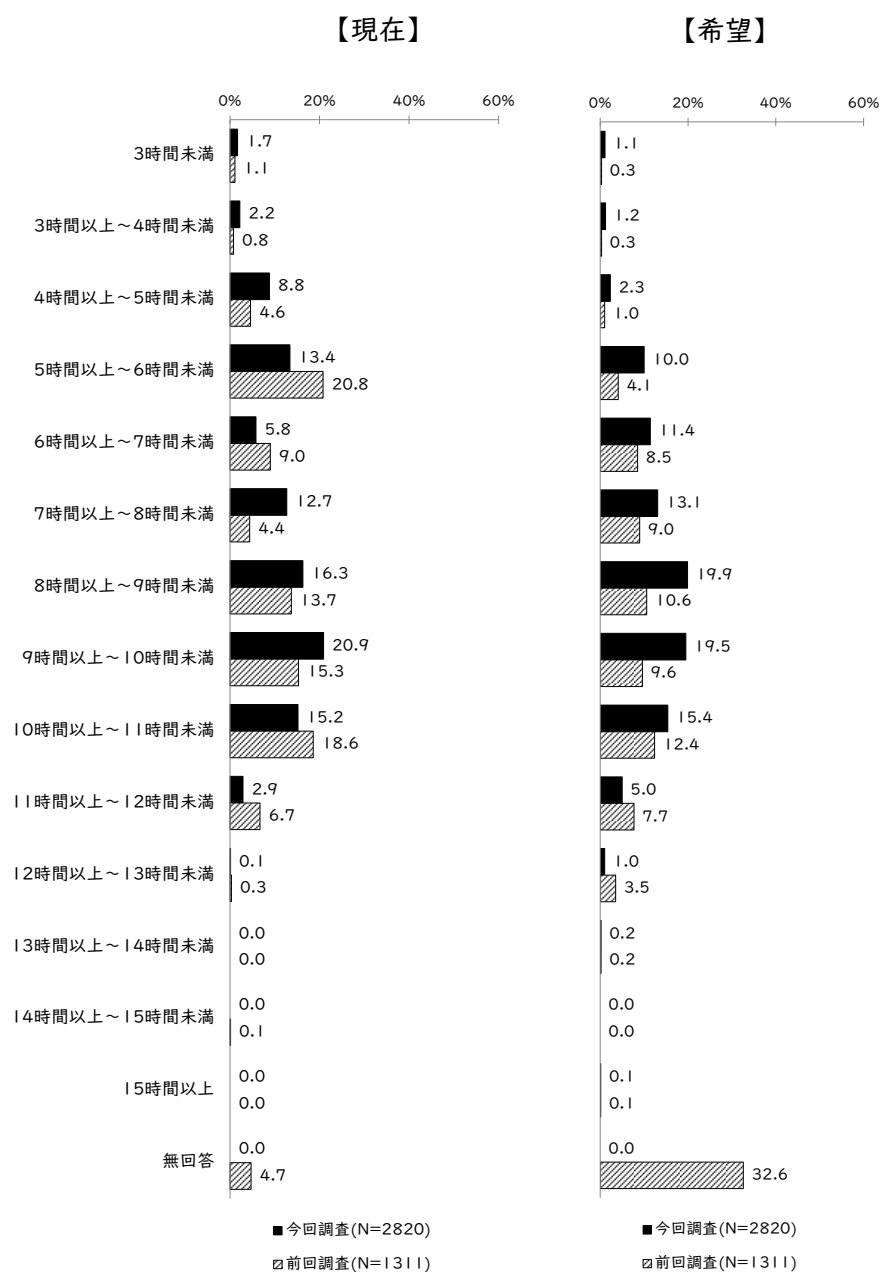
【1 日あたり利用時間】

現在では、「9 時間以上～10 時間未満」（20.9％）の割合が最も高く、「8 時間以上～9 時間未満」（16.3％）、「10 時間以上～11 時間未満」（15.2％）となっています。

前回調査と比較すると、「7 時間以上～9 時間未満」の割合が増加しています。

希望では、「8 時間以上～9 時間未満」（19.9％）の割合が最も高く、「9 時間以上～10 時間未満」（19.5％）、「10 時間以上～11 時間未満」（15.4％）となっています。

前回調査と比較すると、「8 時間以上～9 時間未満」、「9 時間以上～10 時間未満」の割合が増加しています。



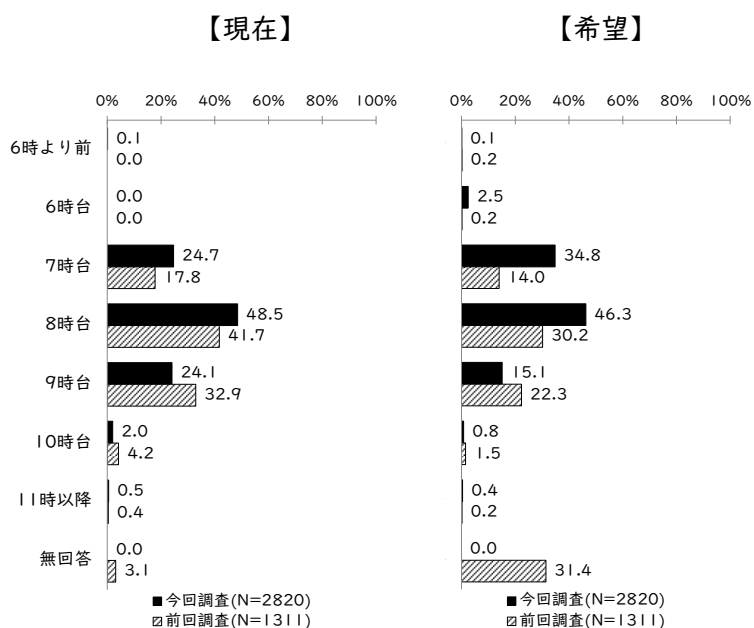
■（就学前児童）問 10 で「1. 利用している」を選択

問 10-2-3 現在、何時から利用していますか。

問 10-3-3 希望としては、何時から利用したいですか。

【利用開始時間】

現在では、「8 時台」（48.5%）、「7 時台」（24.7%）、「9 時台」（24.1%）となっています。
希望では、「8 時台」（46.3%）、「7 時台」（34.8%）、「9 時台」（15.1%）となっています。
前回調査と比較すると、いずれも「7 時台」「8 時台」の割合が増加しています。



■（就学前児童）問 10 で「1. 利用している」を選択

問 10-2-4 現在、何時まで利用していますか。

問 10-3-4 希望としては、何時まで利用したいですか。

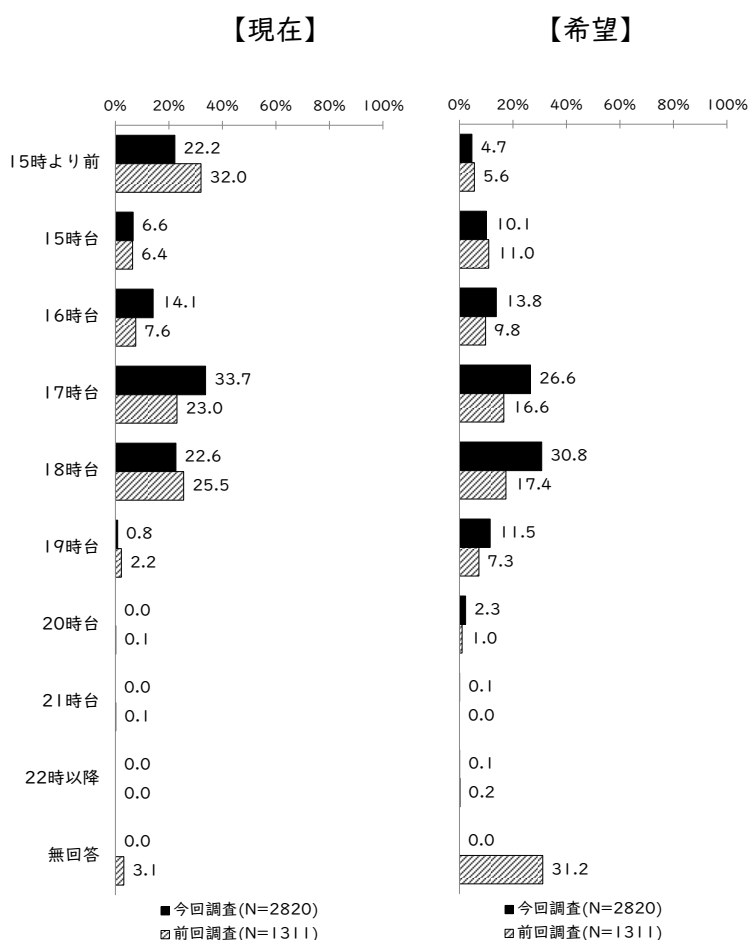
【利用終了時間】

現在では、「17 時台」（33.7%）、「18 時台」（22.6%）となっています。

前回調査と比較すると、「17 時台」の割合が増加しています。

希望では、「18 時台」（30.8%）、「17 時台」（26.6%）となっています。

前回調査と比較すると、「17 時台」「18 時台」の割合が増加しています。

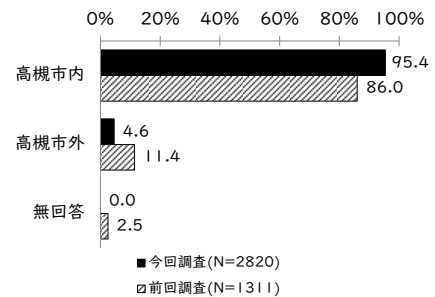


■（就学前児童）問 10 で「1. 利用している」を選択

問 10-4 現在、利用している幼稚園、保育所、認定こども園などはどこにありますか。当てはまるものを 1 つ選択してください。

「高槻市内」（95.4%）、「高槻市外」（4.6%）となっています。

【就学前児童】



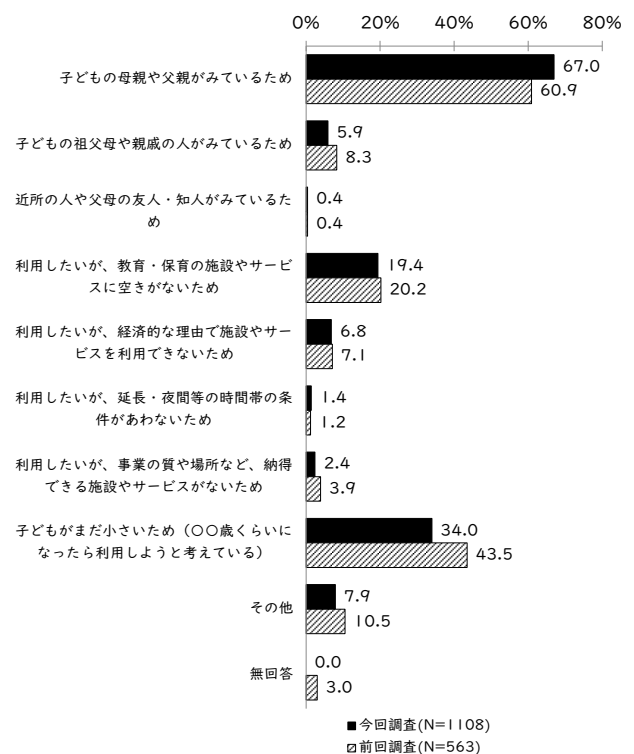
■（就学前児童）問 10 で「2. 利用していない」を選択

問 10-5 利用していない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選択してください。

「子どもの母親や父親がみているため」（67.0%）、「子どもがまだ小さいため（〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている）」（34.0%）、「利用したいが、教育・保育の施設やサービスに空きがないため」（19.4%）となっています。

前回調査と比較して、大きな変化はみられません。

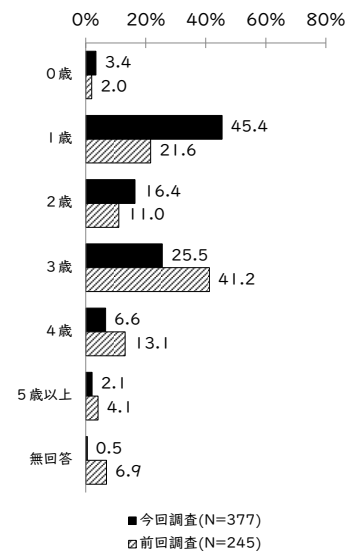
【就学前児童】



【利用したい児童の年齢】

「1歳」(45.4%)の割合が最も高く、「3歳」(25.5%)、「2歳」(16.4%)となっています。

【就学前児童】

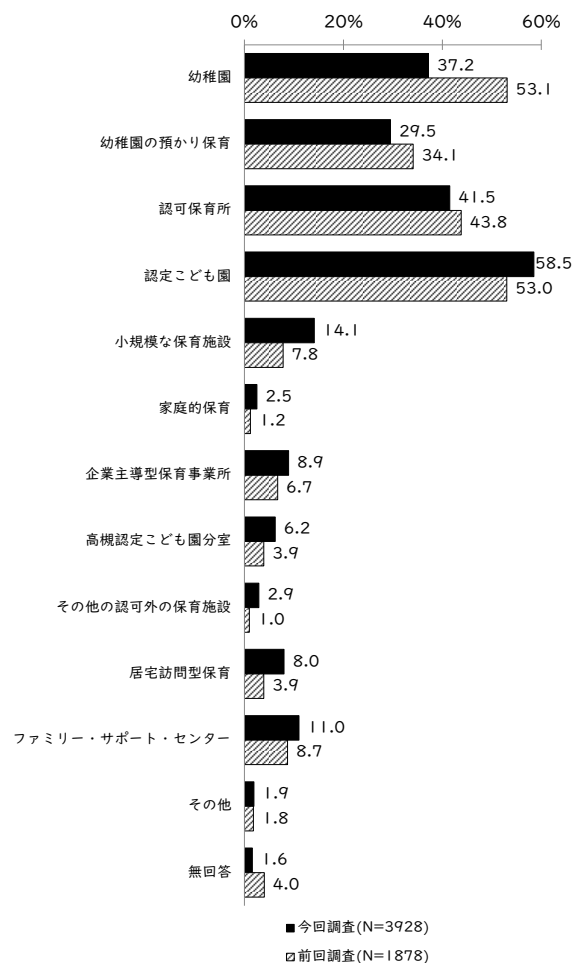


問11 現在の利用の有無にかかわらず、平日に定期的に利用したいと考えるものをすべてお答えください。(複数回答可)

「認定こども園」(58.5%)の割合が最も高く「認可保育所」(41.5%)、「幼稚園」(37.2%)となっています。

前回調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。

【就学前児童】



《居住区域別》

5 区域で「認定こども園」の割合が高くなっています。

今回調査

単位：％

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	企業主導型保育事業所	高機認定こども園分室	認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
1 区域(N=520)	36.2	25.2	42.5	53.5	11.7	3.3	7.7	6.2	-	2.3	8.7	11.9	1.3	1.3
2 区域(N=1198)	36.7	31.6	38.6	60.8	11.3	2.3	7.3	5.4	-	3.2	7.6	10.9	1.9	1.7
3 区域(N=771)	41.8	29.8	46.8	54.1	17.9	2.2	12.7	6.0	-	3.5	7.8	11.4	2.1	1.2
4 区域(N=1108)	36.6	31.0	42.6	56.7	15.3	2.8	9.7	7.1	-	2.5	7.9	10.8	2.0	1.7
5 区域(N=243)	31.3	24.3	40.3	77.0	17.7	2.1	6.2	6.6	-	3.3	9.9	10.3	1.2	2.1
6 区域(N=88)	31.8	18.2	15.9	67.0	6.8	2.3	3.4	5.7	-	1.1	5.7	6.8	2.3	4.5

前回調査

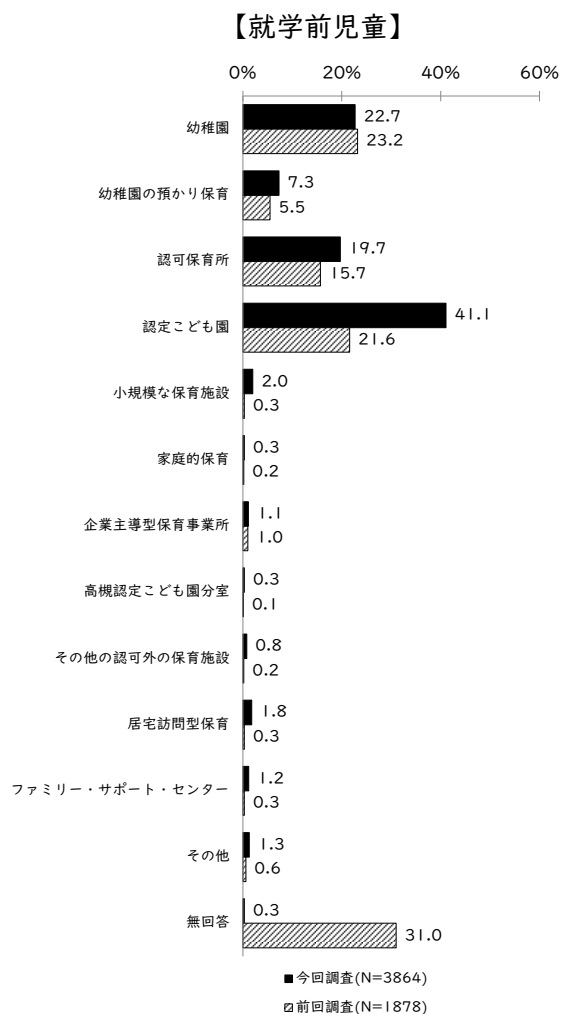
1 区域(N=338)	56.2	33.7	36.7	42.9	4.4	1.5	5.6	3.6	3.6	1.2	3.8	6.2	0.6	2.7
2 区域(N=296)	52.7	37.5	41.9	59.1	8.1	2.0	4.7	3.4	1.7	1.7	5.1	10.1	0.7	3.7
3 区域(N=279)	59.5	37.3	49.8	43.7	7.9	0.7	9.7	3.2	4.3	0.4	2.9	6.1	2.9	2.5
4 区域(N=305)	55.4	35.7	43.6	50.2	8.2	1.0	6.2	2.3	4.6	1.0	3.0	9.5	2.6	3.3
5 区域(N=299)	49.8	34.1	50.5	67.9	7.7	1.3	7.7	3.7	3.3	0.0	4.3	9.7	1.7	4.0
6 区域(N=159)	52.2	32.1	23.9	52.8	5.7	0.6	5.7	3.8	6.3	0.6	1.9	6.9	0.6	8.8

問 11-1 問 11 で選択した施設のなかで最も利用したいものを 1 つお答えください。その他を選択した場合は、枠内にご記入ください。

【最も利用したいもの】

「認定こども園」(41.1%) の割合が最も高く、
「幼稚園」(22.7%)、「認可保育所」(19.7%)
となっています。

前回調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。



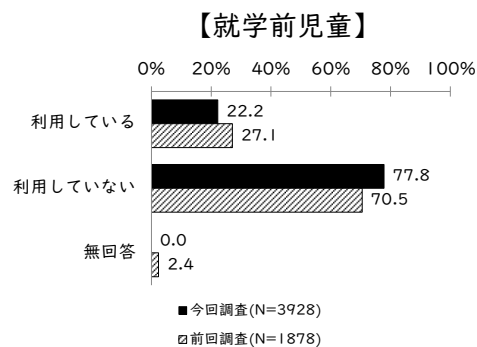
(2) 地域子育て支援拠点事業の利用状況について

問12 宛名のお子さんは、現在地域子育て支援拠点事業を利用していますか。

問12-1 おおよその利用回数(頻度)に該当するものをお答えください。

「利用している」(22.2%)、「利用していない」(77.8%)となっています。

前回調査と比較して、大きな変化はみられません。



《年齢別》

4歳、5歳で「利用していない」の割合が9割以上となっています。また、年齢が低いほど、「利用している」の割合が高くなっています。

今回調査

単位：％

	利用 して い る	利用 して い ない	無 回 答
0歳(N=852)	40.7	59.3	0.0
1歳(N=592)	34.3	65.7	0.0
2歳(N=532)	25.9	74.1	0.0
3歳(N=575)	12.3	87.7	0.0
4歳(N=698)	9.7	90.3	0.0
5歳(N=679)	6.5	93.5	0.0

前回調査

0歳(N=331)	47.1	50.8	2.1
1歳(N=251)	38.2	57.4	4.4
2歳(N=302)	33.4	63.9	2.6
3歳(N=321)	24.3	73.5	2.2
4歳(N=333)	13.2	85.3	1.5
5歳(N=311)	9.6	88.7	1.6

《居住区域別》

今回調査

単位：％

	利用 している	利用 していない	無 回 答
1 区域(N=520)	20.0	80.0	0.0
2 区域(N=1198)	20.6	79.4	0.0
3 区域(N=771)	21.3	78.7	0.0
4 区域(N=1108)	24.4	75.6	0.0
5 区域(N=243)	29.2	70.8	0.0
6 区域(N=88)	17.0	83.0	0.0

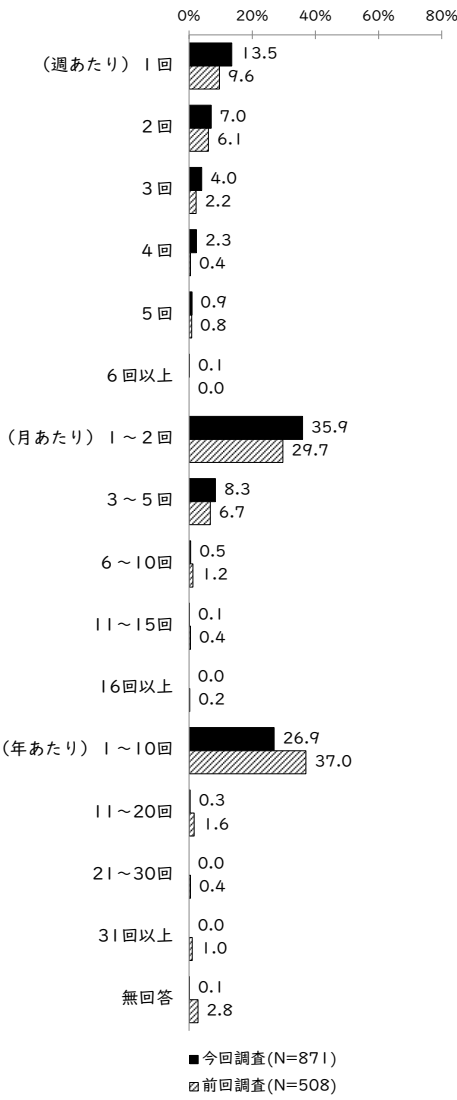
前回調査

1 区域(N=338)	22.8	73.4	3.8
2 区域(N=296)	30.1	69.3	0.7
3 区域(N=279)	22.9	74.9	2.2
4 区域(N=305)	33.4	65.2	1.3
5 区域(N=299)	25.4	71.6	3.0
6 区域(N=159)	21.4	77.4	1.3

【利用回数】

「(1ヶ月あたり)1回～2回」(35.9%)、「(1年あたり)1回～10回」(26.9%)、となっています。

【就学前児童】

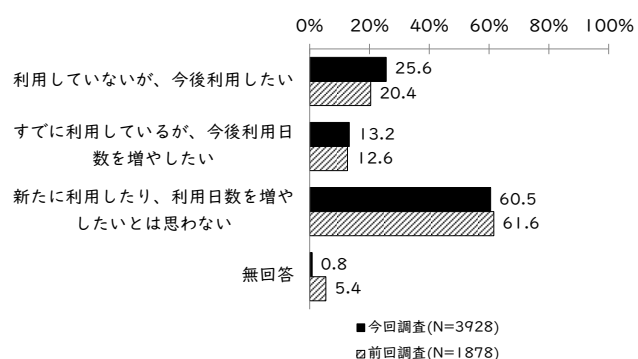


問 13 地域子育て支援拠点事業について、今後利用したい又は利用日数を増やしたいと思いますか。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」(60.5%)の割合が最も高く、「利用していないが、今後利用したい」(25.6%)、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(13.2%)となっています。

前回調査と比較して、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



《年齢別》

年齢が高いほど、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が高くなっています。

今回調査

単位：%

	利用していないが、今後利用	すでに利用日数を増やしているが、今後	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
0歳(N=852)	36.3	27.7	35.6	0.5
1歳(N=592)	27.7	20.8	50.8	0.7
2歳(N=532)	22.2	11.8	65.4	0.6
3歳(N=575)	22.6	6.6	70.1	0.7
4歳(N=698)	21.1	5.3	72.3	1.3
5歳(N=679)	20.3	2.9	75.8	0.9

前回調査

0歳(N=331)	31.1	25.1	38.1	5.7
1歳(N=251)	29.5	21.5	43.8	5.2
2歳(N=302)	16.9	13.6	62.6	7.0
3歳(N=321)	16.8	9.0	69.2	5.0
4歳(N=333)	16.5	4.8	74.5	4.2
5歳(N=311)	13.8	3.9	77.5	4.8

《居住区域別》

今回調査

単位：％

	利用していないが、今後利用	すでに利用しているが、今後	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
1 区域(N=520)	28.8	12.5	58.3	0.4
2 区域(N=1198)	24.5	11.8	63.1	0.6
3 区域(N=771)	27.2	13.4	58.9	0.5
4 区域(N=1108)	24.5	14.0	60.1	1.4
5 区域(N=243)	25.9	17.3	56.8	0.0
6 区域(N=88)	20.5	12.5	65.9	1.1

前回調査

1 区域(N=338)	18.6	9.2	66.3	5.9
2 区域(N=296)	18.9	14.9	63.5	2.7
3 区域(N=279)	17.2	9.7	68.8	4.3
4 区域(N=305)	15.7	13.8	65.6	4.9
5 区域(N=299)	26.4	12.7	54.8	6.0
6 区域(N=159)	24.5	8.2	61.0	6.3

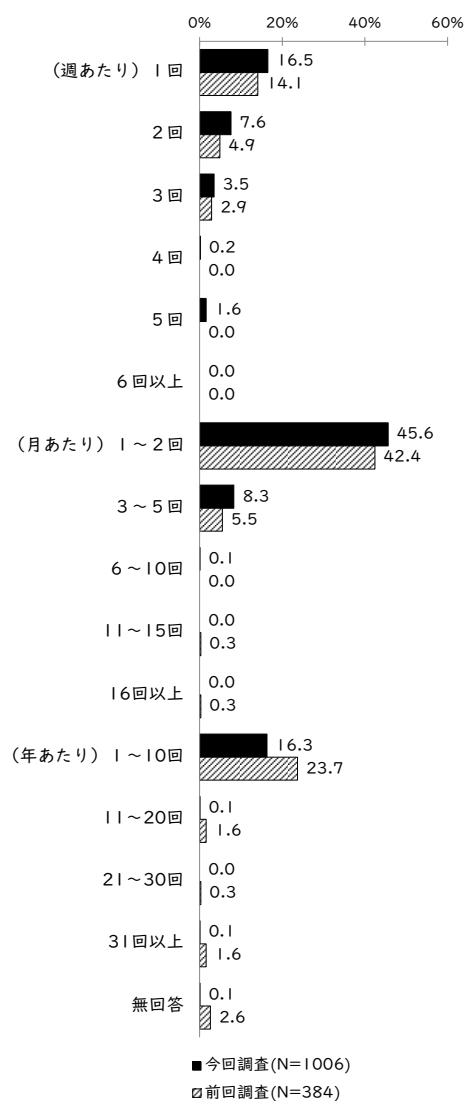
1. 利用していないが、今後利用したい

【希望利用回数】

「(1ヶ月あたり)1回～2回」(45.6%)、「(1週あたり)1回」(16.5%)「(1年あたり)1回～10回」(16.3%)となっています。

前回調査と比較して、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



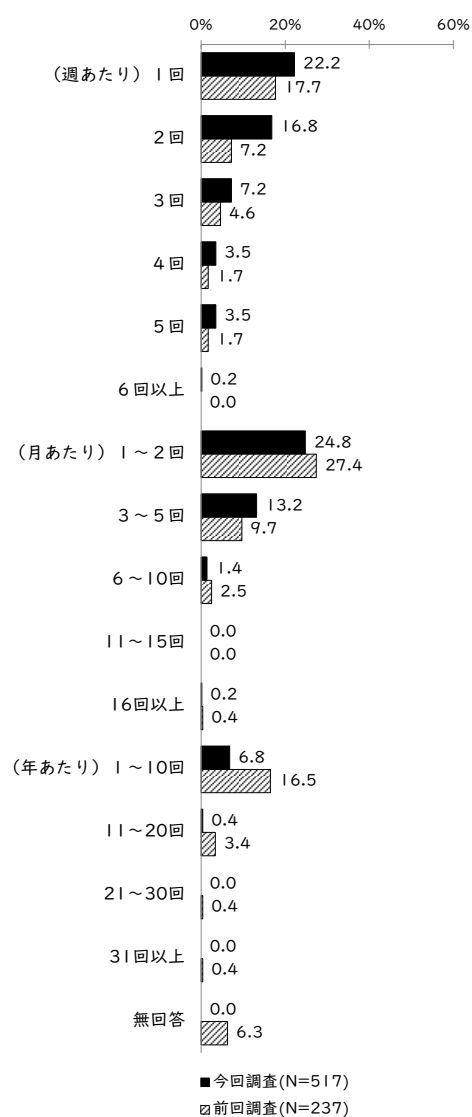
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

【希望利用回数】

「(1ヶ月あたり)1回～2回」(24.8%)、「(1週あたり)1回」(22.2%)、「(1週あたり)2回」(16.8%)となっています。

前回調査と比較して、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



(3) 土曜日と日曜日・祝日や長期休暇中における定期的な幼稚園・保育所・認定こども園などの利用希望について

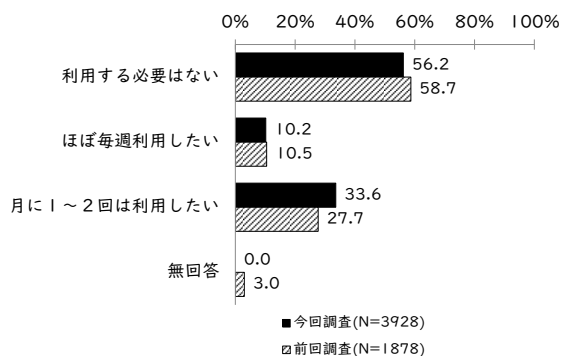
問 14 お子さんについて、土曜日に定期的な幼稚園保育所などの施設の利用希望はありますか。
(一時的な利用は除く)

【土曜日】

「利用する必要はない」(56.2%)、「月に1～2回は利用したい」(33.6%)、「ほぼ毎週利用したい」(10.2%)となっています。

前回調査と比較して、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



■問 14 で「2 又は 3 (土曜日の定期的な利用希望あり)」を選択

問 14-1-1 希望する利用開始時間を選択してください。

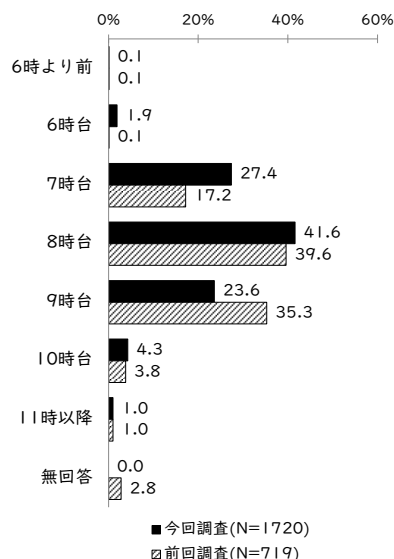
問 14-1-2 希望する利用終了時間を選択してください。

【希望利用開始時間】

「8 時台」(41.6%) の割合が最も高く、「7 時台」(27.4%)、「9 時台」(23.6%) となっています。

前回調査と比較して、「7 時台」の割合が増加し、「9 時台」の割合が減少しています。

【就学前児童】

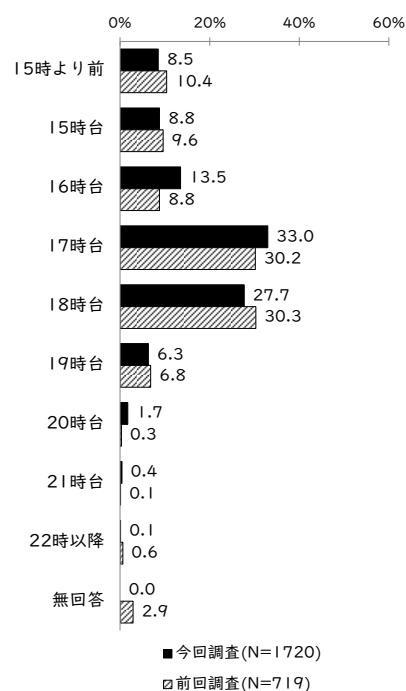


【希望利用終了時間】

「17時台」(33.0%)の割合が最も高く、「18時台」(27.7%)、「16時台」(13.5%)となっています。

前回調査と比較して、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



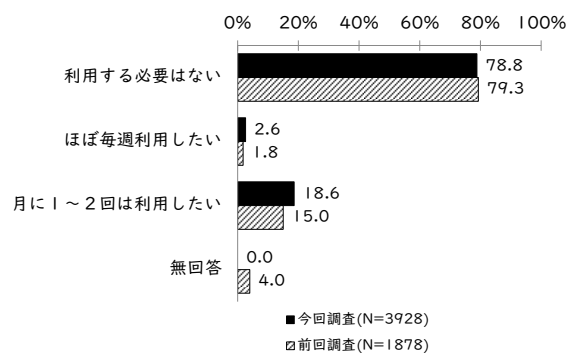
問 14-2 お子さんについて、日曜日や祝日に定期的な保育所等の施設の利用希望はありますか。

【日曜日・祝日】

「利用する必要はない」(78.8%)、「月に1～2回は利用したい」(18.6%)、「ほぼ毎週利用したい」(2.6%)となっています。

前回調査と比較して、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



■問 14-2 で「2 又は 3（日曜日・祝日の定期的な利用希望あり）」を選択

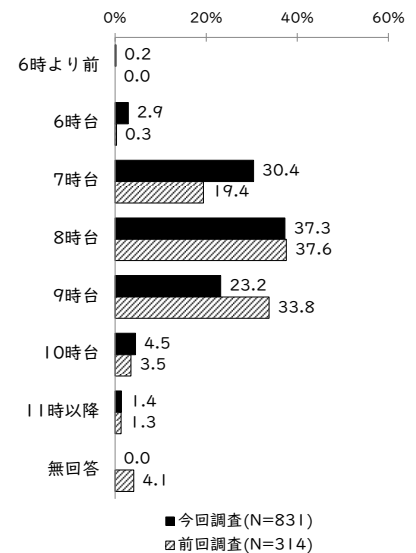
問 14-2-1 希望する利用開始時間を選択してください。

問 14-2-2 希望する利用終了時間を選択してください。

【希望利用開始時間】

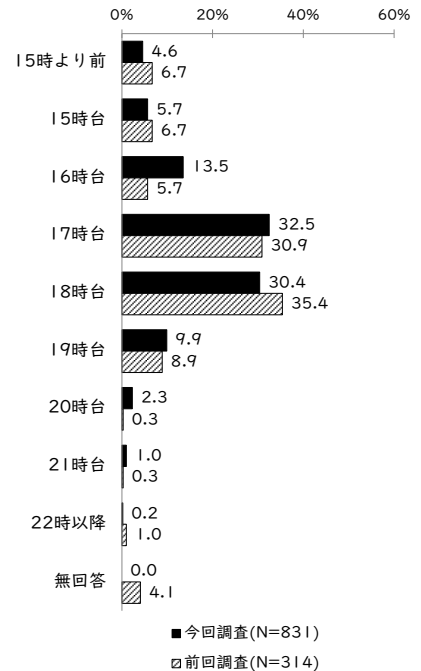
「8 時台」（37.3%）の割合が最も高く、「7 時台」（30.4%）、「9 時台」（23.2%）となっています。

【就学前児童】



【希望利用終了時間】

「17 時台」（32.5%）の割合が最も高く、「18 時台」（30.4%）、「16 時台」（13.5%）となっています。

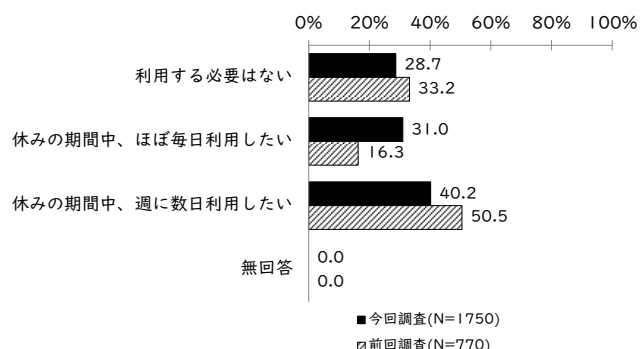


問 15 幼稚園または認定こども園を教育標準時間（1号認定）として利用している方にうかがいます。夏・冬休みなど長期休暇期間中に施設の利用を希望しますか。

【長期休暇期間中の施設の利用希望】

「休みの期間中、週に数日利用したい」（40.2%）の割合が最も高く、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」（31.0%）「利用する必要はない」（28.7%）、となっています。

【就学前児童】



■問 15 で「2 又は 3（長期休暇期間中の利用希望あり）」を選択

問 15-1 希望する利用開始時間帯を選択してください。

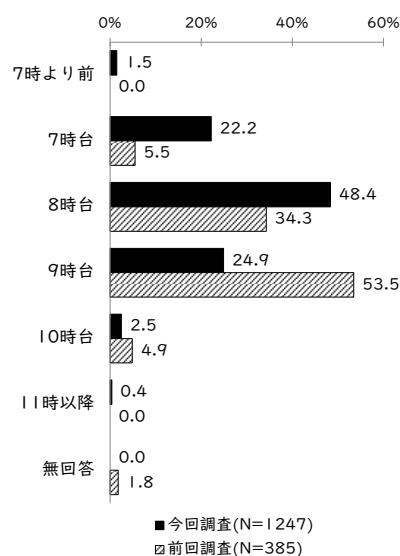
問 15-2 希望する利用終了時間を選択してください。

【希望利用開始時間】

「8 時台」（48.4%）の割合が最も高く、「9 時台」（24.9%）、「7 時台」（22.2%）となっています。

前回調査と比較して、「9 時台」の割合が減少し、「8 時台」の割合が増加しています。

【就学前児童】

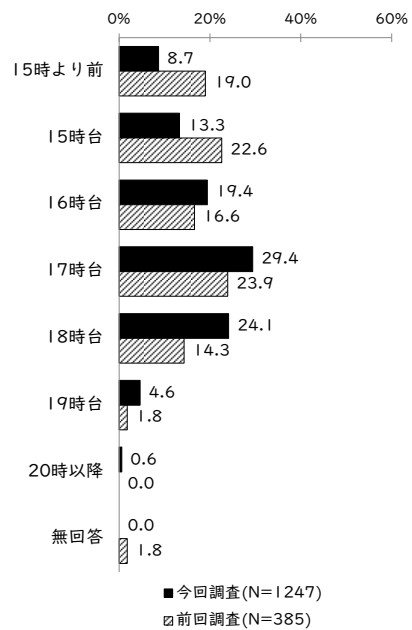


【希望利用終了時間】

「17時台」(29.4%)の割合が最も高く、「18時台」(24.1%)、「16時台」(19.4%)となっています。

前回調査と比較して、「15時台」の割合が減少し、「18時台」の割合が増加しています。

【就学前児童】



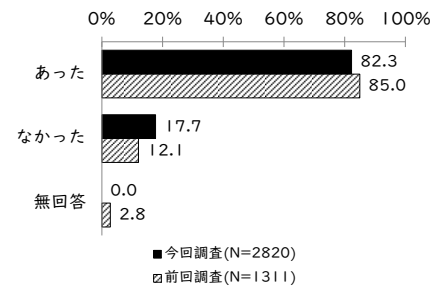
(4) 児童の傷病時の対応について

■問 10 で「1 (平日に子どもを預かる施設やサービスを利用している)」を選択

問 16 直近 1 年間にお子さんが朝から病気等で利用している施設などが利用できなかったことはありますか。

「あった」(82.3%)、「なかった」(17.7%)
となっています。

【就学前児童】



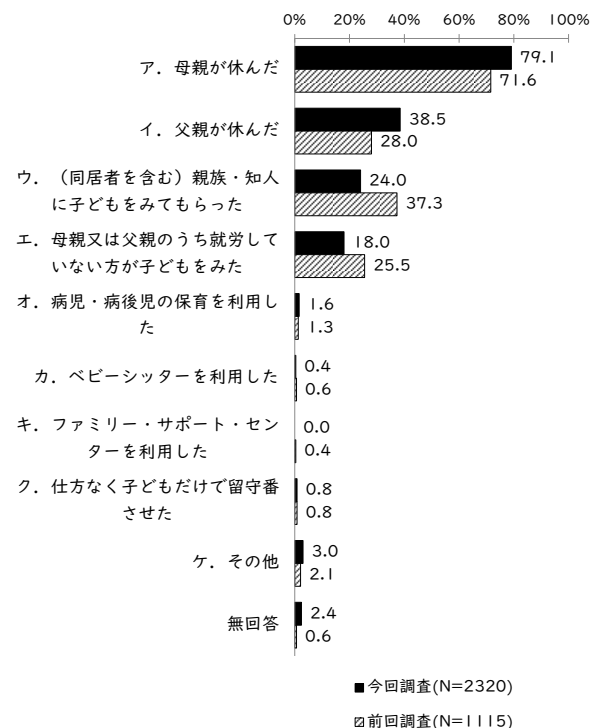
■問 16 で「1. (利用できないことがあった)」を選択

問 16-1 お子さんが朝から病気等で利用している施設が利用できなかった場合の対応をお答えください。直近 1 年間の状況でお答えください。(複数回答可)

「母親が休んだ」(79.1%)、「父親が休んだ」(38.5%)、「(同居者を含む)、親族・知人に子どもをみてもらった」(24.0%)、となっています。

前回調査と比較して、「(同居者を含む)、親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【対応別の年間日数】

今回調査

単位：％

	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日 以上	無 回 答
ア.母親が休んだ(N=1836)	3.8	7.6	10.5	2.1	17.6	58.6	0.0
イ.父親が休んだ(N=894)	14.9	16.6	16.9	3.6	22.6	25.5	0.0
ウ.(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった(N=556)	10.1	15.8	17.1	4.7	24.3	27.9	0.2
エ.母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた(N=417)	4.8	6.2	9.6	2.4	17.3	59.7	0.0
オ.病児・病後児の保育を利用した(N=36)	33.3	13.9	16.7	0.0	13.9	22.2	0.0
カ.ベビーシッターを利用した(N=9)	0.0	11.1	22.2	11.1	22.2	33.3	0.0
キ.ファミリー・サポート・センターを利用した(N=0)	-	-	-	-	-	-	-
ク.仕方なく子どもだけで留守番させた(N=19)	47.4	31.6	5.3	0.0	10.5	5.3	0.0
ケ.その他(N=70)	8.6	10.0	12.9	2.9	20.0	45.7	0.0

前回調査

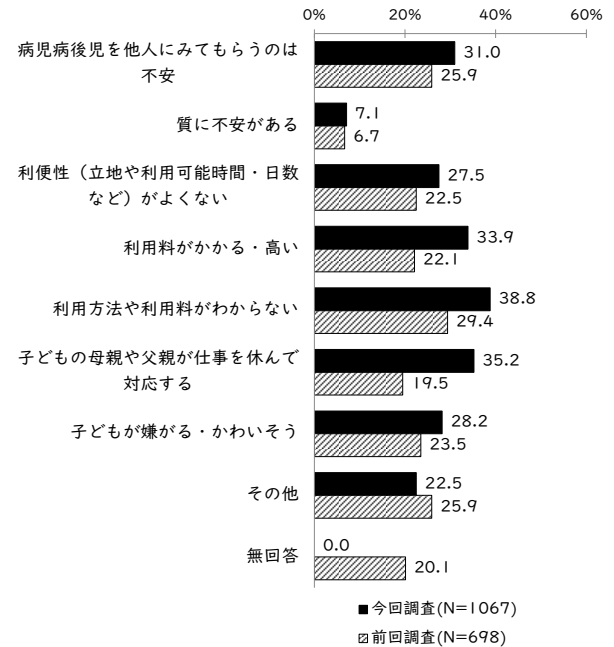
ア.母親が休んだ(N=798)	7.3	8.8	14.4	4.3	13.7	46.5	5.1
イ.父親が休んだ(N=312)	24.7	22.4	15.7	2.2	19.9	12.2	2.9
ウ.(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった(N=416)	12.7	14.7	15.9	5.5	17.3	27.4	6.5
エ.母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた(N=284)	7.4	15.5	10.6	4.9	15.5	36.6	9.5
オ.病児・病後児の保育を利用した(N=14)	14.3	21.4	7.1	14.3	14.3	21.4	7.1
カ.ベビーシッターを利用した(N=7)	28.6	42.9	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0
キ.ファミリー・サポート・センターを利用した(N=4)	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
ク.仕方なく子どもだけで留守番させた(N=9)	33.3	33.3	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1
ケ.その他(N=23)	4.3	8.7	13.0	4.3	21.7	26.1	21.7

■問 16-1 で「ウ、エ及びカ～ケ（父母が休んだ、病児・病後児の保育を利用した以外）」を選択

問 16-2 その際、病児・病後児の保育を利用しなかった理由は何ですか。（複数回答可）

「利用方法や利用料がわからない」（38.8%）、
の割合が最も高く、「子どもの母親や父親が仕事を
休んで対応する」（35.2%）、「利用料がかかる・
高い」（33.9%）、となっています。

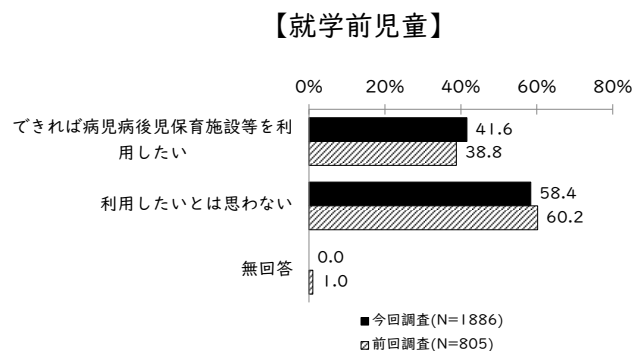
【就学前児童】



■問 16-1 で「アまたはイ（母親、父親が休んだ）」のいずれかを選択

問 16-3 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」
(41.6%)、「利用したいとは思わない」(58.4%)
となっています。

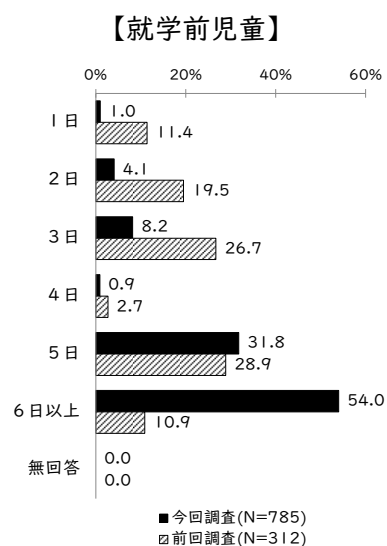


■問 16-3 で「Ⅰ（できれば病児・病後児保育施設等を利用したい）」を選択

問 16-4 病児・病後児保育施設を利用したい年間のおおむねの日数をご記入ください。

【病児・病後児保育施設等を利用したい日数】

「6日以上」の割合が最も高く(54.0%)、「5日」(31.8%)となっています。

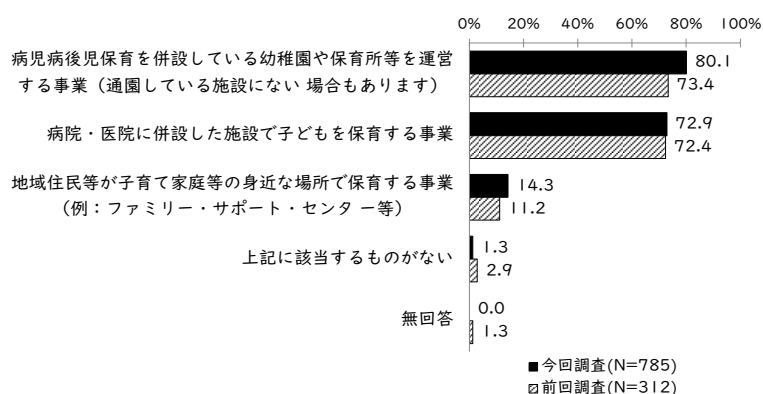


■問 16-3 で「1（できれば病児・病後児保育施設等を利用したい）」を選択

問 16-5 下記のいずれの事業形態に子どもを預けるのが望ましいと思われますか。

「病児・病後児保育を併設している幼稚園や保育所等を運営する事業（通園している施設にない場合もあります）」（80.1％）の割合が最も高く、「病院・医院に併設した施設で子どもを保育する事業」（72.9％）、となっています。

【就学前児童】

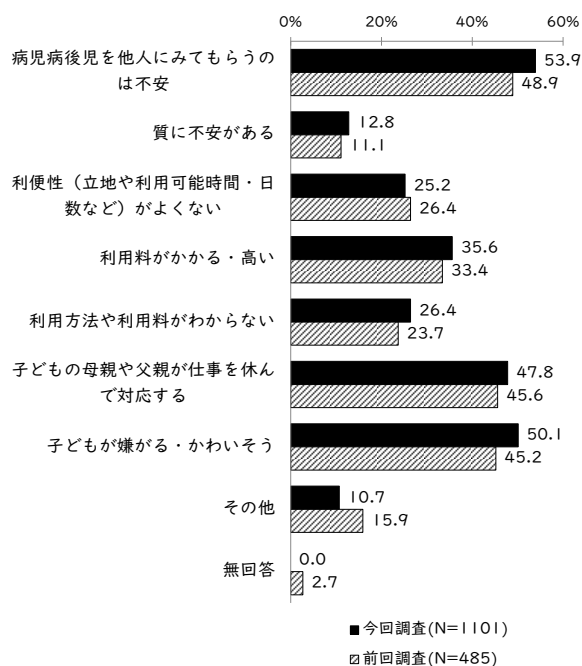


■問 16-3 で「2（利用したいとは思わない）」を選択

問 16-6 なぜそうと思われますか。（複数回答可）

「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」（53.9％）の割合が最も高く、「子どもが嫌がる・かわいそう」（50.1％）となっています。

【就学前児童】

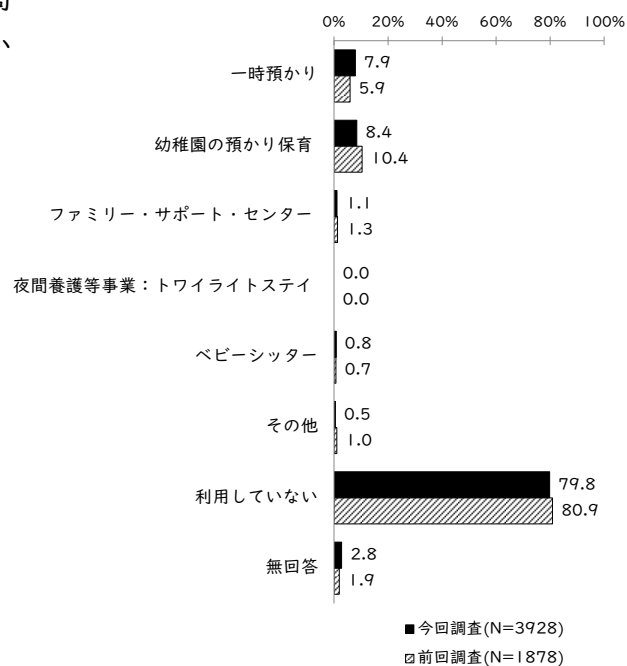


（５）幼稚園・保育所・認定こども園などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 17 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているものはありますか。
（複数回答可）

「利用していない」（79.8％）の割合が最も高く、「幼稚園の預かり保育」（8.4％）、「一時預かり」（7.9％）となっています。

【就学前児童】



【問 17 （私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているも）の年間日数】

【今回調査】

単位：％

	1 日 ～ 2 日	3 日 ～ 5 日	6 日 か ら 1 0 日	1 1 日 ～ 2 0 日	2 1 日 ～ 3 0 日	3 1 日 以 上	無 回 答
一時預かり (N=309)	28.8	29.4	21.0	11.0	3.2	5.2	1.3
幼稚園の預かり保育 (N=331)	19.9	29.3	19.9	11.5	4.2	11.8	3.3
ファミリー・サポート・センター (N=42)	19.0	35.7	16.7	7.1	7.1	4.8	9.5
夜間養護等事業 (N=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ベビーシッター (N=30)	20.0	23.3	20.0	13.3	3.3	13.3	6.7
その他 (N=19)	5.3	15.8	5.3	0.0	5.3	5.3	63.2

【前回調査】

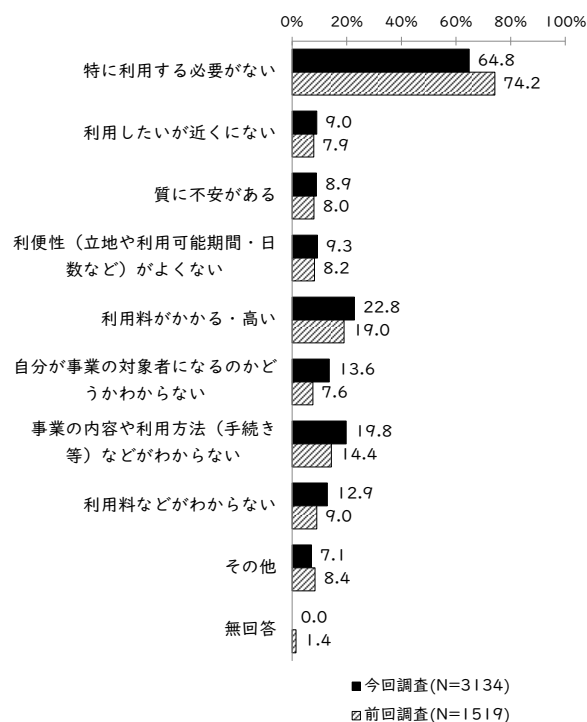
一時預かり (N=111)	35.1	23.4	15.3	7.2	5.4	7.2	6.3
幼稚園の預かり保育 (N=196)	14.8	24.5	26.5	11.2	6.6	11.7	4.6
ファミリー・サポート・センター (N=24)	16.7	16.7	37.5	4.2	0.0	12.5	12.5
夜間養護等事業 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-
ベビーシッター (N=13)	38.5	30.8	7.7	0.0	0.0	7.7	15.4
その他 (N=18)	11.1	22.2	11.1	16.7	11.1	16.7	11.1

■問 17で「7（利用していない）」を選択

問 17-1 利用していない理由は何ですか。（複数回答可）

「特に利用する必要がない」（64.8％）の割合が最も高く、「利用料がかかる・高い」（22.8％）、
「事業の内容や利用方法（手続き等）などがわからない」（19.8％）となっています。

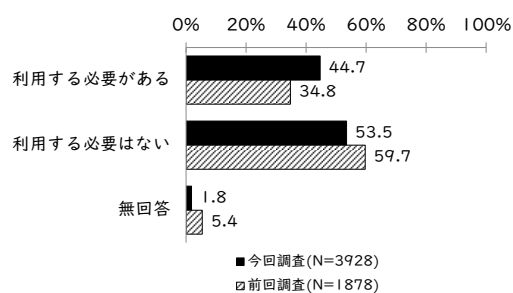
【就学前児童】



問 18 今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で問 17 の事業を利用する必要があると思いますか。今後の利用希望でお答えください。

「利用する必要がある」（44.7％）、「利用する必要はない」（53.5％）となっています。

【就学前児童】



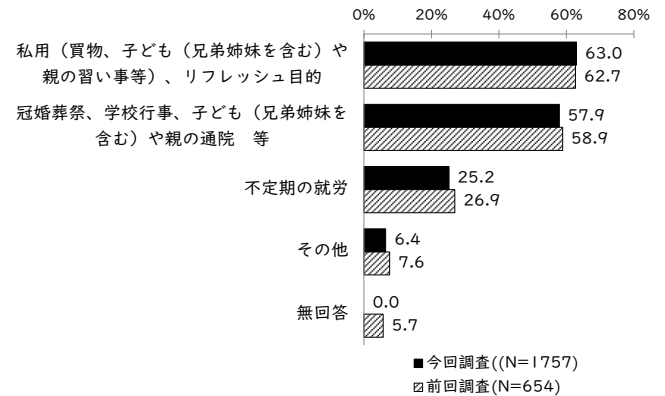
■問18で「1（利用する必要がある）」を選択

問18-1 利用希望の理由について当てはまるものをすべて選択し、必要な日数をご記入ください。
（複数回答可）

【1. 利用する必要がある】

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」（63.0%）、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」（57.9%）、「不定期の就労」（25.2%）となっています。

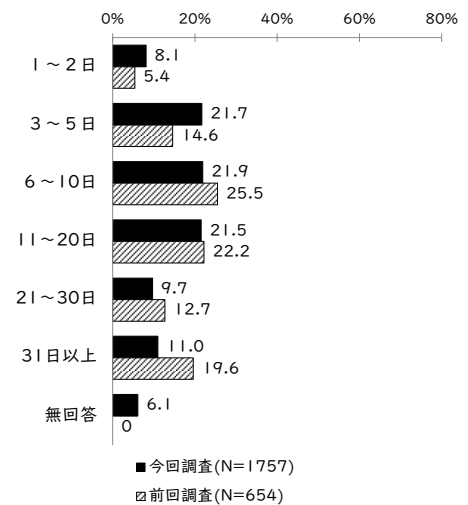
【就学前児童】



《年間日数》

「6日～10日」（21.9%）、「11日～20日」（21.5%）、「3日～5日」（21.7%）となっています。

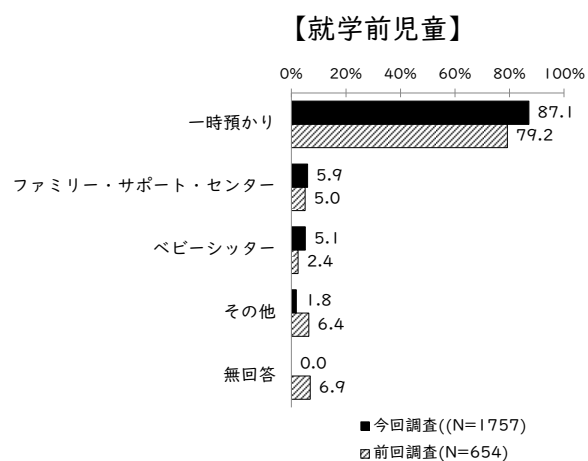
【就学前児童】



■問 18 で「1（利用する必要がある）」を選択

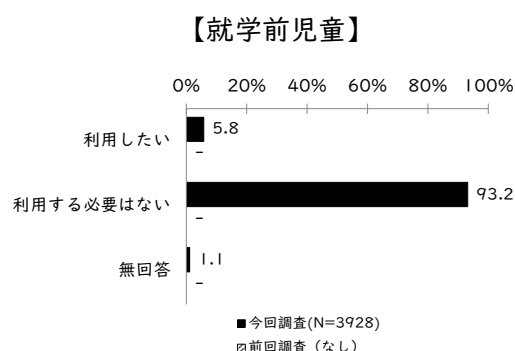
問 18-2 特に利用したい事業は何ですか。

「一時預かり」（87.1％）の割合が最も高く、「ファミリー・サポート・センター」（5.9％）、
「ベビーシッター」（5.1％）となっています。



問 19 保護者の用事により泊りがけで家族以外に預ける必要があると思いますか。
短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の
利用希望の有無をお答えください。

「利用したい」（5.8%）、「利用する必要はない」
（93.2%）となっています



■ 問 19 で「1.利用したい」を選択

問 19-1 利用したい目的別の年間の宿泊日数を枠内にご記入ください。（複数回答可）

単位：％

	1 ～ 2 日	3 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 ～ 2 0 日	2 1 ～ 3 0 日	3 1 日 以 上	無 回 答
冠婚葬祭 (N=61)	72.1	23.0	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0
保護者や家族の育児疲れ・不安 (N=118)	52.5	30.5	10.2	4.2	1.7	0.8	0.0
保護者や家族の病気 (N=124)	29.8	50.0	12.9	3.2	0.8	0.8	2.4
その他 (N=39)	48.7	25.6	12.8	0.0	5.1	2.6	5.1

(6) 小学生の放課後の過ごし方について

■お子さんの年齢が、問2で「1.平成29年4月2日～平成30年4月1日(5歳児クラス)」に該当

問20-1 小学校低学年の時期に、月曜から金曜の放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。(複数回答可)

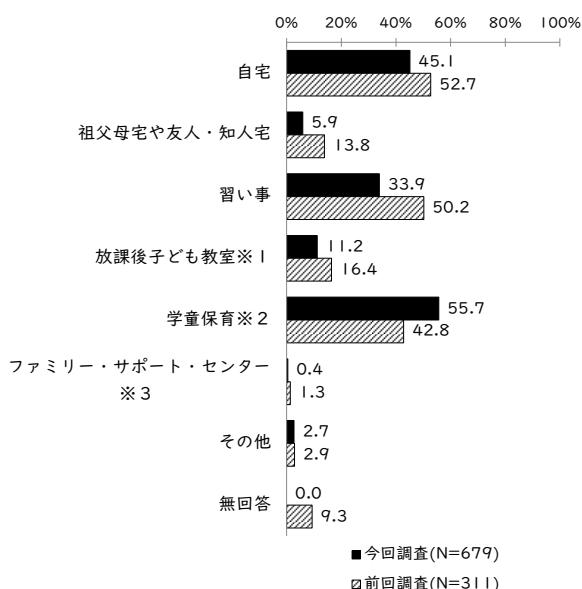
問20-2 小学校高学年の時期に、月曜から金曜の放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。(複数回答可)

【放課後の過ごし方】

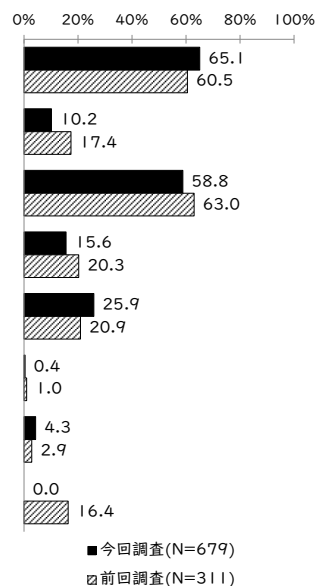
小学校低学年の時期では、「学童保育」(55.7%)の割合が最も高く、「自宅」(45.1%)、「習い事」(33.9%)となっています。

小学校高学年の時期では、「自宅」(65.1%)の割合が最も高く、「習い事」(58.8%)、「学童保育」(25.9%)となっています。

【小学校低学年の時期】



【小学校高学年の時期】



※1 各小学校区の地域の方々による運営委員会に教室運営を委託し、宿題等の学習活動、スポーツ文化活動、地域の大人や異年齢との交流等のプログラムで実施されています。

※2 保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※3 市に登録された地域住民が子どもを預かる事業

【小学校低学年の時期の希望する放課後の過ごし方と日数】

今回調査

単位：％

	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	無 回 答	平 均 日 数 (日)
自宅(N=306)	8.2	19.0	28.8	12.1	31.7	0.3	3.4
祖父母宅や友人・知人宅(N=40)	57.5	27.5	5.0	5.0	5.0	0.0	1.7
習い事(N=230)	36.1	40.4	18.3	4.3	0.9	0.0	1.9
放課後子ども教室(N=76)	34.2	31.6	11.8	3.9	18.4	0.0	2.4
学童保育(N=378)	1.1	4.0	7.9	10.8	75.9	0.3	4.6
ファミリー・サポート・センター(N=3)	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	3.0
その他(N=18)	5.6	55.6	5.6	11.1	22.2	0.0	2.9

前回調査

自宅(N=164)	9.8	21.3	22.6	13.4	31.1	1.8	3.4
祖父母宅や友人・知人宅(N=43)	58.1	32.6	2.3	0.0	7.0	0.0	1.7
習い事(N=156)	36.5	42.3	19.2	1.9	0.0	0.0	1.9
放課後子ども教室(N=51)	56.9	19.6	2.0	5.9	13.7	2.0	2.0
学童保育(N=133)	0.0	6.0	14.3	7.5	69.9	2.3	4.4
ファミリー・サポート・センター(N=4)	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	4.3
その他(N=9)	11.1	55.6	11.1	0.0	0.0	22.2	2.0

【小学校高学年の時期の希望する放課後の過ごし方と日数】

今回調査

単位：％

	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	無 回 答	平 均 日 数 (日)
自宅(N=442)	10.0	22.2	29.0	8.1	30.5	0.2	3.3
祖父母宅や友人・知人宅(N=69)	37.7	39.1	7.2	4.3	11.6	0.0	2.1
習い事(N=399)	16.8	49.1	26.3	5.3	2.5	0.0	2.3
放課後子ども教室(N=106)	31.1	29.2	15.1	2.8	21.7	0.0	2.5
学童保育(N=176)	3.4	18.2	17.0	4.0	57.4	0.0	3.9
ファミリー・サポート・センター(N=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	4.0
その他(N=29)	3.4	44.8	20.7	10.3	20.7	0.0	3.0

前回調査

自宅(N=188)	12.2	25.0	21.8	8.0	30.9	2.1	3.2
祖父母宅や友人・知人宅(N=54)	44.4	35.2	7.4	5.6	7.4	0.0	2.0
習い事(N=196)	16.8	45.9	29.1	5.1	2.0	1.0	2.3
放課後子ども教室(N=63)	60.3	15.9	9.5	1.6	11.1	1.6	1.9
学童保育(N=65)	4.6	12.3	27.7	4.6	46.2	4.6	3.8
ファミリー・サポート・センター(N=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	3.5
その他(N=9)	22.2	44.4	11.1	0.0	0.0	22.2	1.9

■問 20-1(低学年の時期の希望)で「5. 学童保育」を選択

問 20-1-1 何時まで利用したいですか。

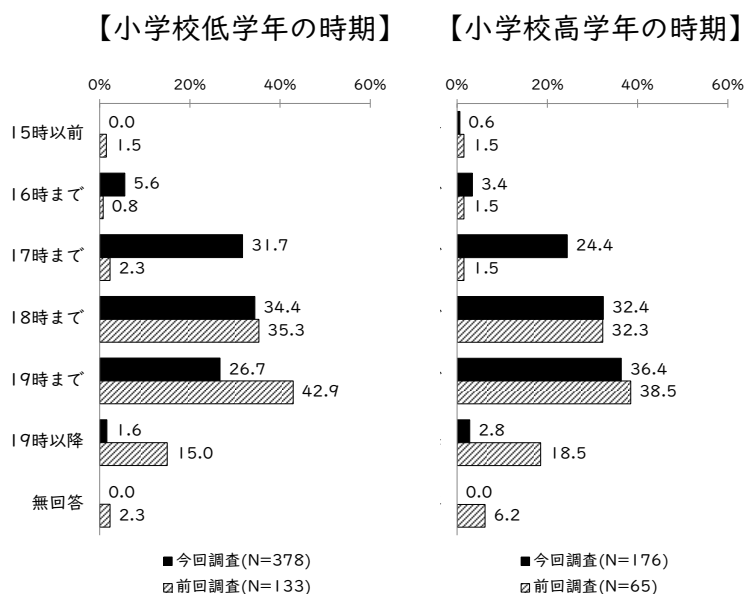
■問 20-2(高学年の時期の希望)で「5. 学童保育」を選択

問 20-2-1 何時まで利用したいですか。

【学童保育の希望利用終了時刻】

小学校低学年の時期では、「18時まで」(34.4%)、「17時まで」(31.7%)、「19時まで」(26.7%)となっています。

小学校高学年の時期では、「19時まで」(36.4%)、「18時まで」(32.4%)、「17時まで」(24.4%)となっています。

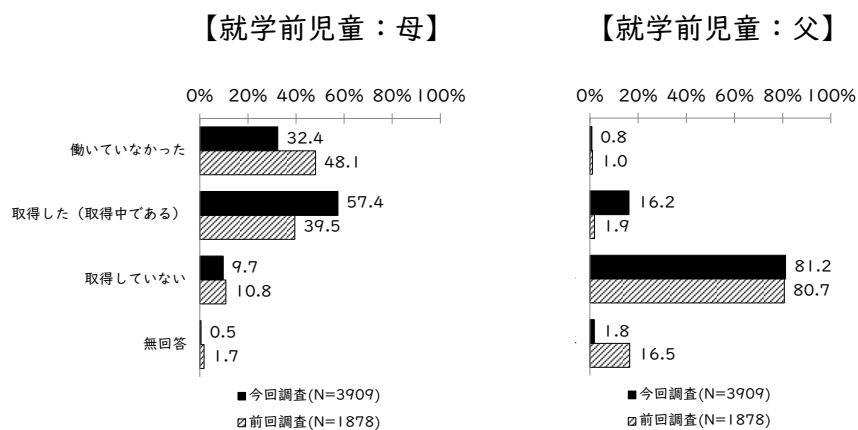


(7) 育児休業について

問 21(母) (父) 宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。

就学前児童の母親では、「取得した（取得中である）」（57.4%）、「働いていなかった」（32.4%）、「取得していない」（9.7%）となっています。

就学前児童の父親では、「取得していない」（81.2%）、「取得した（取得中である）」（16.2%）、「働いていなかった」（0.8%）となっています。

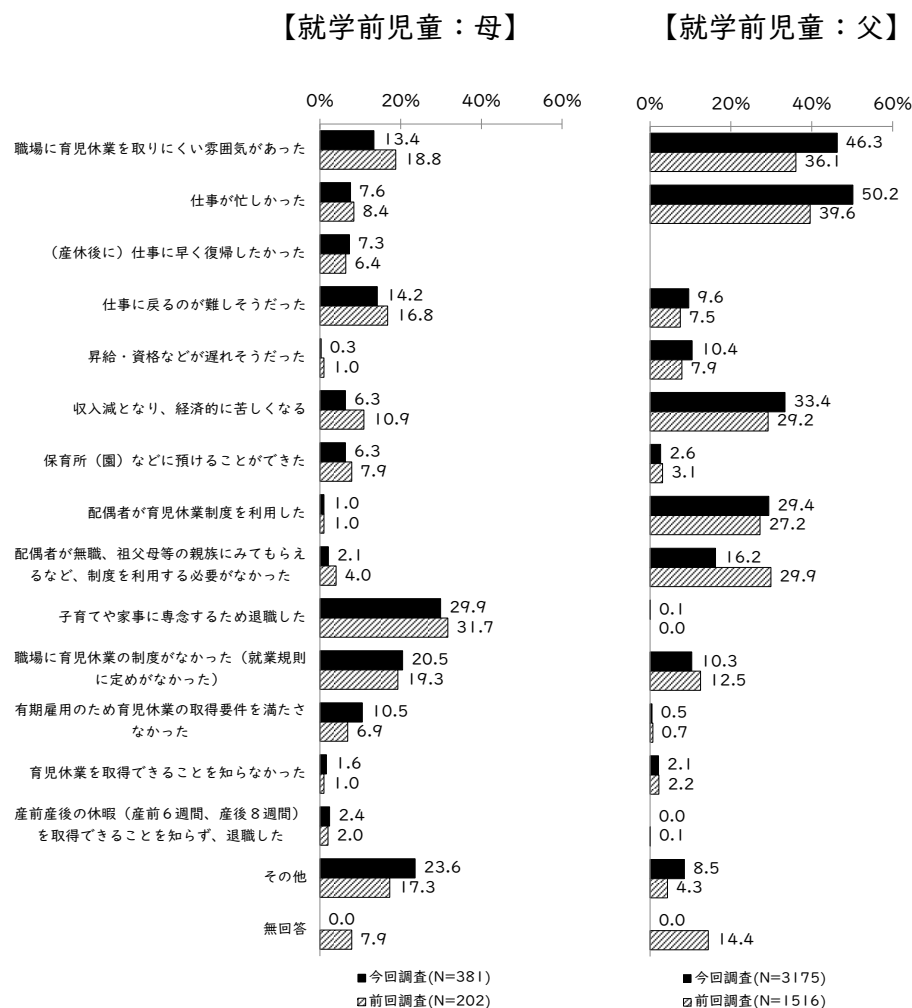


■問 21 (母) (父) で「3.取得していない」と回答

問 21-1 (母) (父) 育児休業を取得しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

就学前児童の母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」(29.9%)、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(20.5%)、「仕事に戻るのが難しそうだった」(14.2%)となっています。

就学前児童の父親では、「仕事が忙しかった」(50.2%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(46.3%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(33.4%)となっています。

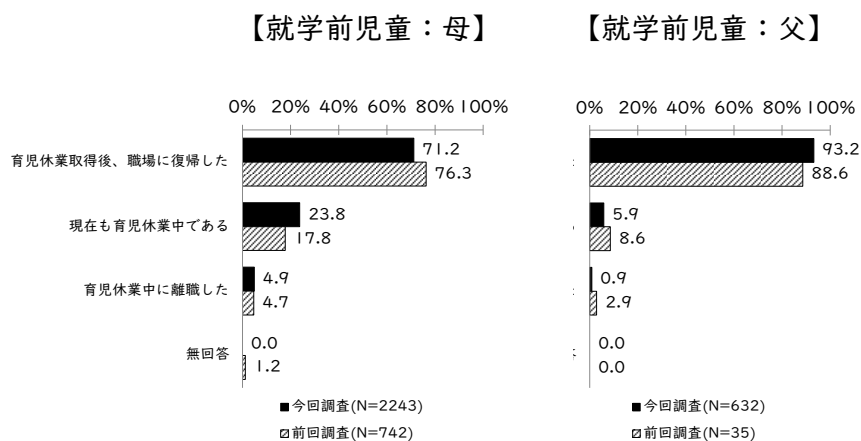


■問 21（母）（父）で「2.取得した（取得中である）」と回答

問 21-2（母）（父）育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

就学前児童の母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」（71.2%）、「現在も育児休業中である」（23.8%）、「育児休業中に離職した」（4.9%）となっています。

就学前児童の父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」（93.2%）、「現在も育児休業中である」（5.9%）、「育児休業中に離職した」（0.9%）となっています。



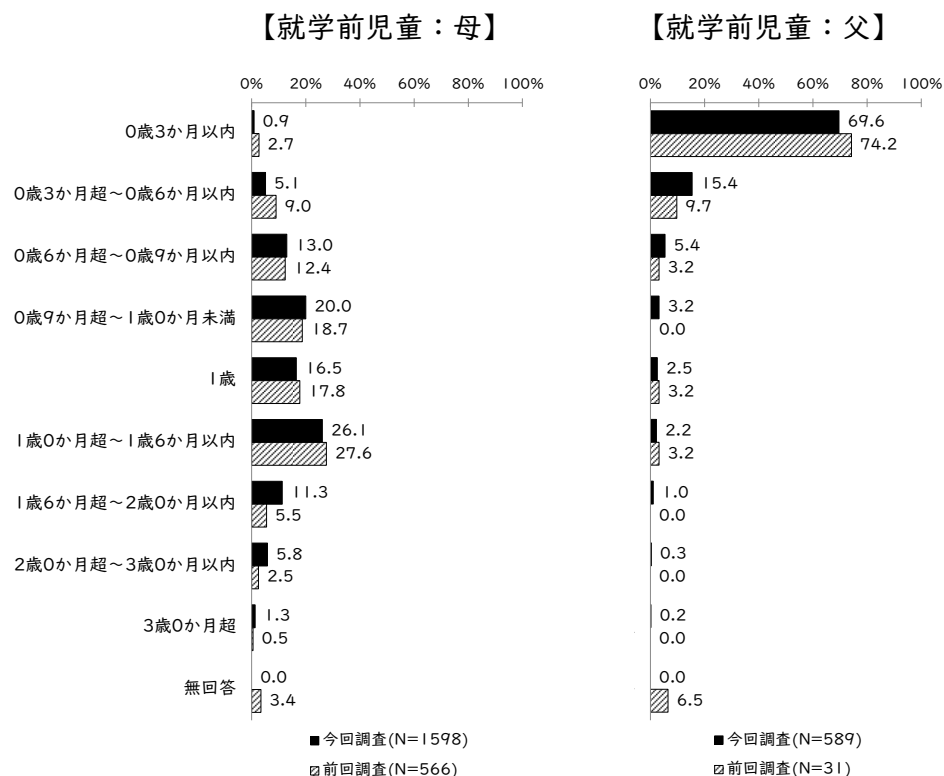
■問 21-2 (母) (父) で「1. (育児取得後職場に復帰した)」と回答

問 21-3 (母) (父) 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳のときに職場復帰しましたか。

【実際の復帰時期】

就学前児童の母親では、「1歳0ヶ月超から1歳6ヶ月以内」(26.1%)、「0歳9ヶ月超から1歳0ヶ月未満」(20.0%)、「1歳」(16.5%)となっています。

就学前児童の父親では、「0歳3ヶ月以内」(69.6%)、「0歳3ヶ月超から0歳6ヶ月以内」(15.4%)となっています。



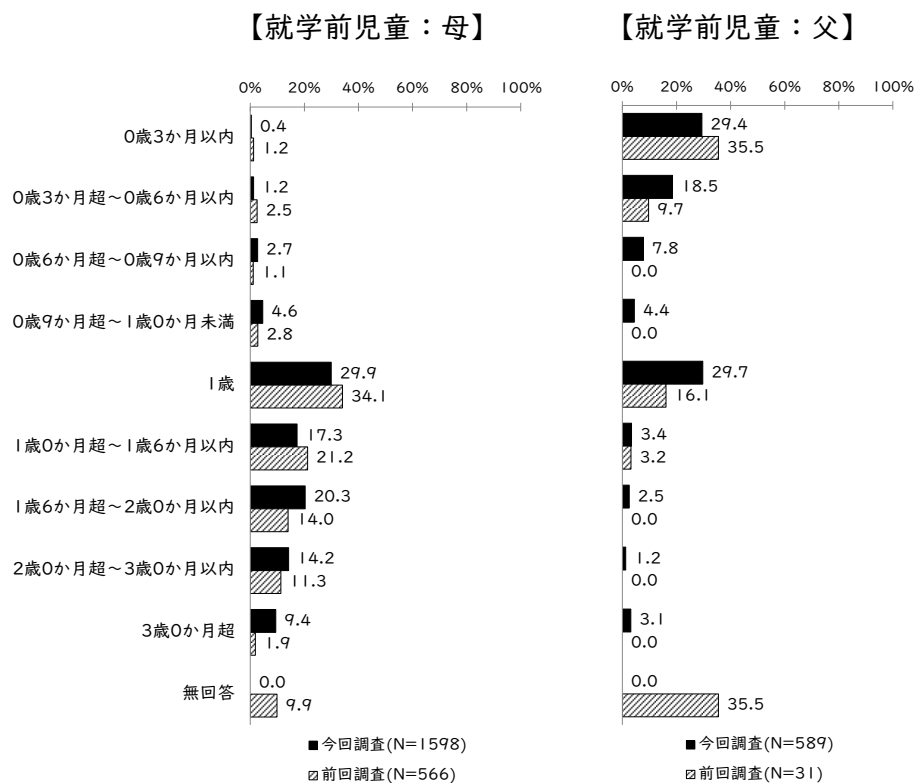
■問 21-2 (母) (父) で「1. (育児取得後職場に復帰した)」と回答

問 21-4 (母) (父) お勤め先の育児休業の制度の期間内で、希望の復帰時期をお答えください。

【希望の復帰時期】

就学前児童の母親では、「1歳」(29.9%)、「1歳6ヶ月超から2歳0ヶ月以内」(20.3%)、「1歳0ヶ月超から1歳6ヶ月以内」(17.3%)となっています。

就学前児童の父親では、「1歳」(29.7%)、「0歳3ヶ月以内」(29.4%)、「0歳3ヶ月超から0歳6ヶ月以内」(18.5%)となっています。



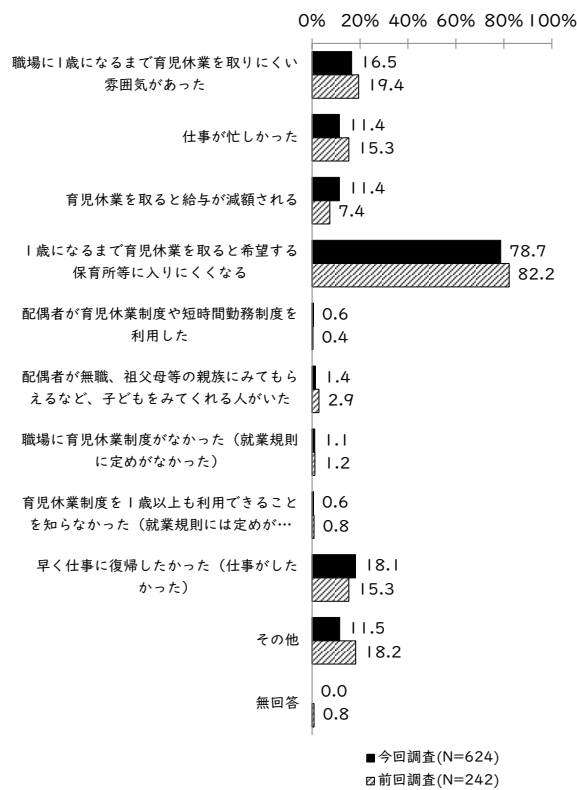
■問 21-3 (母) (父) で「1～4」(実際の復帰時期が0歳から1歳0ヶ月未満)と回答

問 21-5 (母)(父) 育児休業を1歳まで取得しなかった(できなかった)理由は何ですか。(複数回答可)

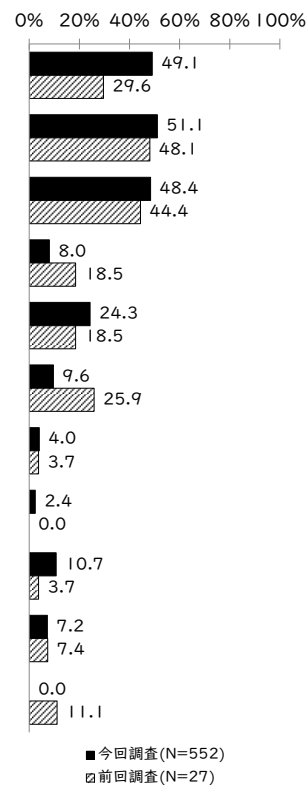
就学前児童の母親では、「1歳になるまで育児休業を取ると希望する保育所等に入りにくくなる」(78.7%)、「早く仕事に復帰したかった(仕事をしたかった)」(18.1%)、「職場に1歳になるまで育児休業を取りにくい雰囲気があった」(16.5%)となっています。

就学前児童の父親では、「仕事が忙しかった」(51.1%)、「職場に1歳になるまで育児休業を取りにくい雰囲気があった」(49.1%)、「育児休業を取ると給与が減額される」(48.4%)となっています。

【就学前児童：母】



【就学前児童：父】

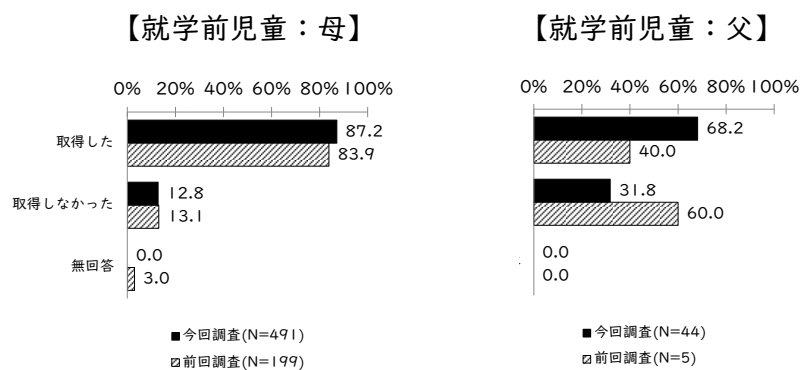


■問 21-5 (母)(父)で「4」を選択された方にうかがいます。

問 21-6 (母)(父) 宛名のお子さんが1歳以上(1歳6か月、2歳等)になってからでも必ず希望する保育所等に入れたとしたら、それまで育児休業を取得しましたか。

就学前児童の母親では、「取得した」(87.2%)、「取得しなかった」(12.8%)となっています。

就学前児童の父親では、「取得した」(68.2%)、「取得しなかった」(31.8%)となっています。



Ⅱ 調査結果

3 小学生

3 小学生

(1) 平日の放課後の過ごしている場所

問 10 学校のある平日の放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。

当てはまる番号すべてにチェックを入れ、それぞれ1週当たりの日数をご記入ください。

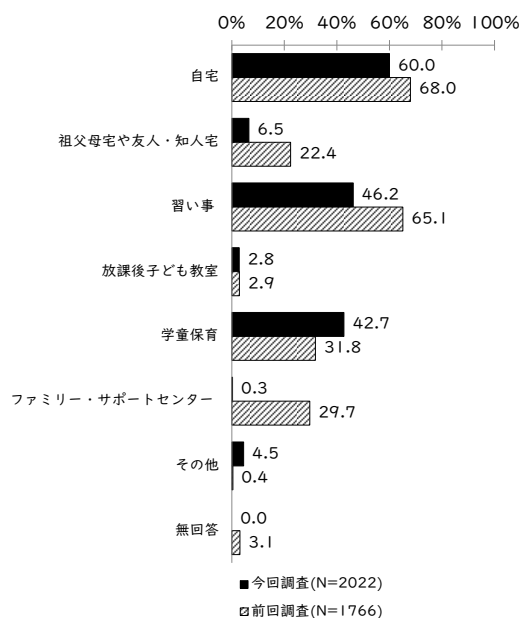
(複数回答可)

【放課後の過ごし方】

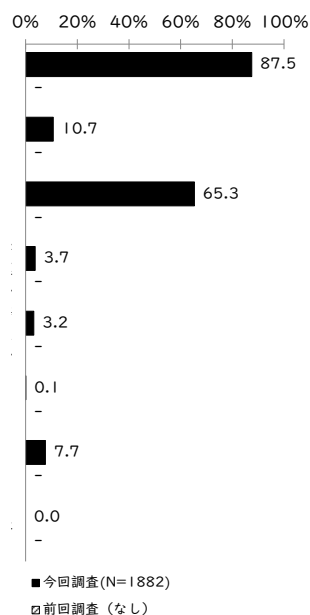
小学生（低学年）では、「自宅」（60.0%）、「習い事」（46.2%）、「学童保育」（42.7%）となっています。

小学生（高学年）では、「自宅」（87.5%）、「習い事」（65.3%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（10.7%）となっています。

【小学生（低学年）】



【小学生（高学年）】



《居住区域別》

【小学生（低学年）】

【小学生（高学年）】

今回調査

単位：％

	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	放課後子ども教室	学童保育	ファミリー・サポートセンター	その他	無回答
1 区域(N=327)	59.0	7.3	45.6	2.8	43.7	0.3	4.6	0.0
2 区域(N=653)	57.4	6.0	52.2	3.2	44.1	0.0	3.5	0.0
3 区域(N=360)	62.2	6.1	45.0	3.3	40.6	0.6	6.1	0.0
4 区域(N=548)	61.5	6.6	39.8	2.4	42.7	0.4	4.4	0.2
5 区域(N=87)	66.7	9.2	49.4	1.1	40.2	1.1	4.6	0.0
6 区域(N=47)	55.3	6.4	44.7	0.0	38.3	0.0	6.4	0.0

	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	放課後子ども教室	学童保育	ファミリー・サポートセンター	その他	無回答
1 区域(N=330)	87.6	10.9	66.4	6.1	2.7	0.0	7.0	0.0
2 区域(N=604)	86.9	11.8	71.4	4.0	3.3	0.0	4.8	0.0
3 区域(N=325)	88.3	7.7	68.9	4.0	3.4	0.3	10.2	0.0
4 区域(N=497)	87.3	12.1	59.0	2.2	4.0	0.0	9.3	0.0
5 区域(N=72)	90.3	9.7	55.6	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
6 区域(N=54)	85.2	5.6	40.7	3.7	1.9	0.0	14.8	0.0

前回調査

1 区域(N=271)	70.8	69.7	72.0	66.1	39.9	35.8	7.7	1.5
2 区域(N=453)	70.0	70.0	72.4	60.5	31.8	28.9	4.9	2.9
3 区域(N=384)	73.2	70.6	68.8	60.4	40.4	38.3	10.7	3.4
4 区域(N=517)	72.9	70.6	72.0	62.1	35.4	33.3	7.7	3.7
5 区域(N=81)	75.3	71.6	64.2	55.6	35.8	33.3	11.1	4.9
6 区域(N=30)	76.7	73.3	58.3	45.0	26.7	21.7	3.3	3.3

1 区域(なし)	-	-	-	-	-	-	-	-
2 区域(なし)	-	-	-	-	-	-	-	-
3 区域(なし)	-	-	-	-	-	-	-	-
4 区域(なし)	-	-	-	-	-	-	-	-
5 区域(なし)	-	-	-	-	-	-	-	-
6 区域(なし)	-	-	-	-	-	-	-	-

【平日の放課後の過ごし方と利用日数（1週間あたり）】

《場所別》

【小学生（低学年）】

【小学生（高学年）】

今回調査

単位：％

	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	無 回 答
自宅(N=1213)	14.8	19.0	21.4	13.1	31.7	0.0
祖父母宅や友人・知人宅 (N=132)	50.0	20.5	13.6	1.5	14.4	0.0
習い事(N=934)	30.5	34.6	21.6	9.3	4.0	0.0
放課後子ども教室 (N=56)	66.1	12.5	3.6	3.6	14.3	0.0
学童保育(N=864)	2.1	4.4	12.8	21.4	59.3	0.0
ファミリー・サポート・ センター(N=6)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他(N=91)	28.6	35.2	19.8	6.6	9.9	0.0

	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	無 回 答
自宅(N=1646)	12.7	20.2	19.0	13.0	35.1	0.0
祖父母宅や友人・知人宅 (N=202)	51.0	23.3	10.4	4.5	10.9	0.0
習い事(N=1229)	21.8	30.0	26.9	15.5	5.9	0.0
放課後子ども教室 (N=70)	68.6	12.9	8.6	4.3	5.7	0.0
学童保育(N=61)	13.1	11.5	8.2	16.4	50.8	0.0
ファミリー・サポート・ センター(N=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他(N=145)	23.4	32.4	19.3	9.7	14.5	0.7

前回調査

自宅(N=1274)	14.8	16.9	13.6	9.8	39.2	5.7
祖父母宅や友人・知人宅 (N=1244)	18.6	6.5	2.8	1.4	2.4	68.2
習い事(N=1246)	24.5	27.8	25.2	10.9	3.9	7.7
放課後子ども教室 (N=1078)	4.4	0.4	0.0	0.0	0.1	95.2
学童保育(N=635)	0.9	3.0	10.9	17.6	56.1	11.5
ファミリー・サポート・ センター(N=587)	1.5	2.4	9.0	17.4	59.1	10.6
その他(N=135)	1.5	1.5	1.5	0.0	0.7	94.8

自宅(なし)	-	-	-	-	-	-
祖父母宅や友人・知人宅 (なし)	-	-	-	-	-	-
習い事(なし)	-	-	-	-	-	-
放課後子ども教室(なし)	-	-	-	-	-	-
学童保育(なし)	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・ センター(なし)	-	-	-	-	-	-
その他(なし)	-	-	-	-	-	-

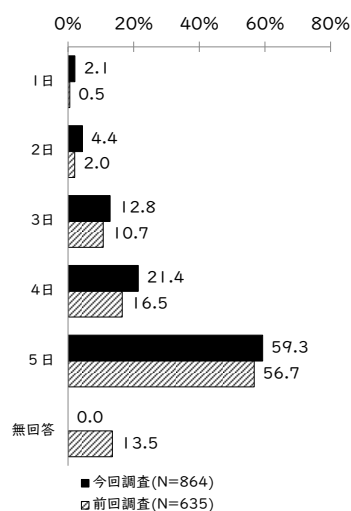
(2) 平日の学童保育の利用状況について

■問 10 で「5.学童保育を選択（学童保育を利用）」の平日の学童保育の利用日数（1 週間あたり）
（現在）

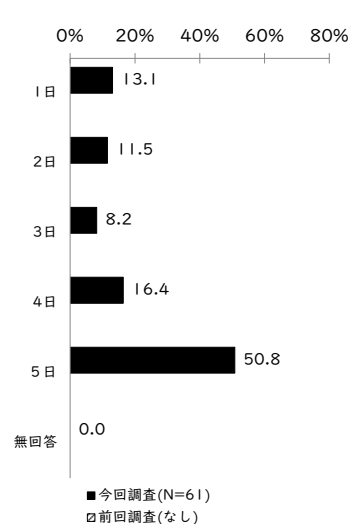
（現在）

いずれも、「5 日」の割合が最も高く、小学生（低学年）（59.3%）、小学生（高学年）（50.8%）
となっています。

【小学生（低学年）】



【小学生（高学年）】



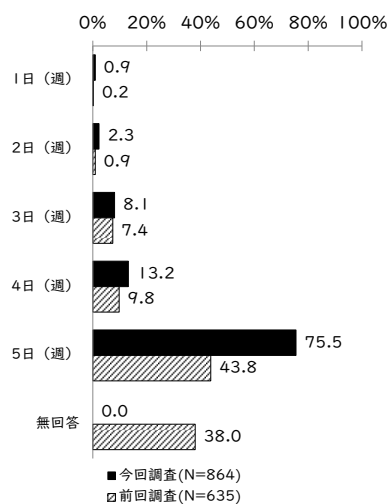
■問 10 で「5.学童保育」を選択（学童保育を利用）

問 10-2-1 （学童保育は）平日に 1 週あたり何日利用したいですか。（希望）

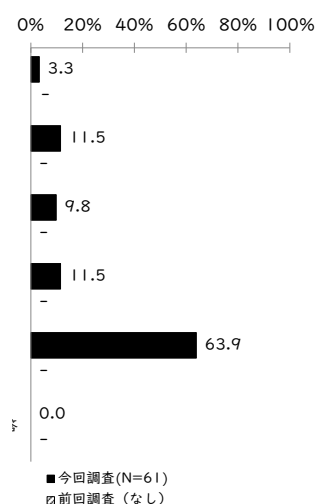
（希望）

いずれも、「5 日」の割合が最も高く、小学生（低学年）（75.5%）、小学生（高学年）（63.9%）
となっています。

【小学生（低学年）】



【小学生（高学年）】



【居住区域別の学童保育の希望利用日数（1週間あたり）】

今回調査

単位：％

	1日 (週)	2日 (週)	3日 (週)	4日 (週)	5日 (週)	無回答
1区域(N=143)	0.0	2.1	6.3	9.1	82.5	0.0
2区域(N=288)	1.0	2.8	6.6	18.1	71.5	0.0
3区域(N=146)	0.0	2.7	8.9	11.0	77.4	0.0
4区域(N=234)	1.7	1.3	10.7	12.0	74.4	0.0
5区域(N=35)	2.9	5.7	8.6	8.6	74.3	0.0
6区域(N=18)	0.0	0.0	5.6	11.1	83.3	0.0

	1日 (週)	2日 (週)	3日 (週)	4日 (週)	5日 (週)	無回答
1区域(N=9)	0.0	11.1	11.1	11.1	66.7	0.0
2区域(N=20)	5.0	15.0	15.0	5.0	60.0	0.0
3区域(N=11)	9.1	9.1	9.1	18.2	54.5	0.0
4区域(N=20)	0.0	10.0	5.0	15.0	70.0	0.0
5区域(N=0)	-	-	-	-	-	-
6区域(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

前回調査

1区域(N=108)	0.0	0.0	10.2	17.6	57.4	14.8
2区域(N=144)	1.4	2.8	8.3	14.6	68.8	4.2
3区域(N=155)	0.0	2.6	12.9	14.8	52.9	16.8
4区域(N=183)	2.2	4.9	11.5	20.2	49.7	11.5
5区域(N=29)	0.0	3.4	10.3	24.1	48.3	13.8
6区域(N=16)	0.0	6.3	12.5	31.3	50.0	0.0

1区域(なし)	-	-	-	-	-	-
2区域(なし)	-	-	-	-	-	-
3区域(なし)	-	-	-	-	-	-
4区域(なし)	-	-	-	-	-	-
5区域(なし)	-	-	-	-	-	-
6区域(なし)	-	-	-	-	-	-

■問 10 で「5.学童保育」を選択（学童保育を利用）

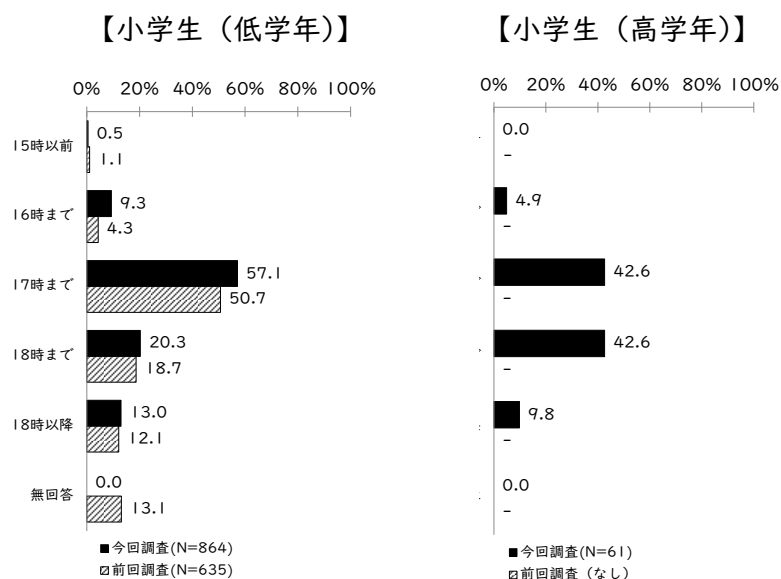
問 10-1-1 平日は何時まで利用していますか。（現在）

問 10-2-2 平日に何時まで利用したいですか。（希望）

【平日の学童保育の利用終了時刻】

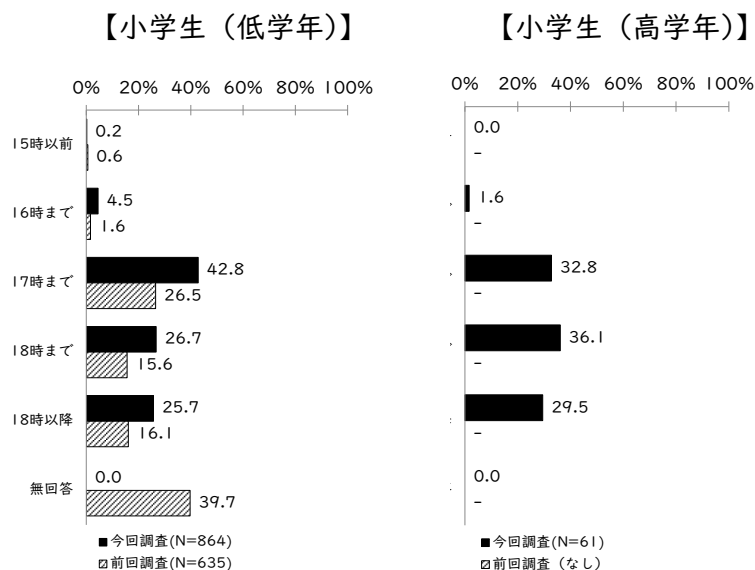
（現在）

小学生（低学年）では、「17時まで」の割合が最も高く（57.1%）、小学生（高学年）では「17時まで」と「18時まで」が（42.6%）となっています。



（希望）

小学生（低学年）では、「17時まで」の割合が最も高く（42.8%）、小学生（高学年）では「18時まで」の割合が最も高く（36.1%）となっています。

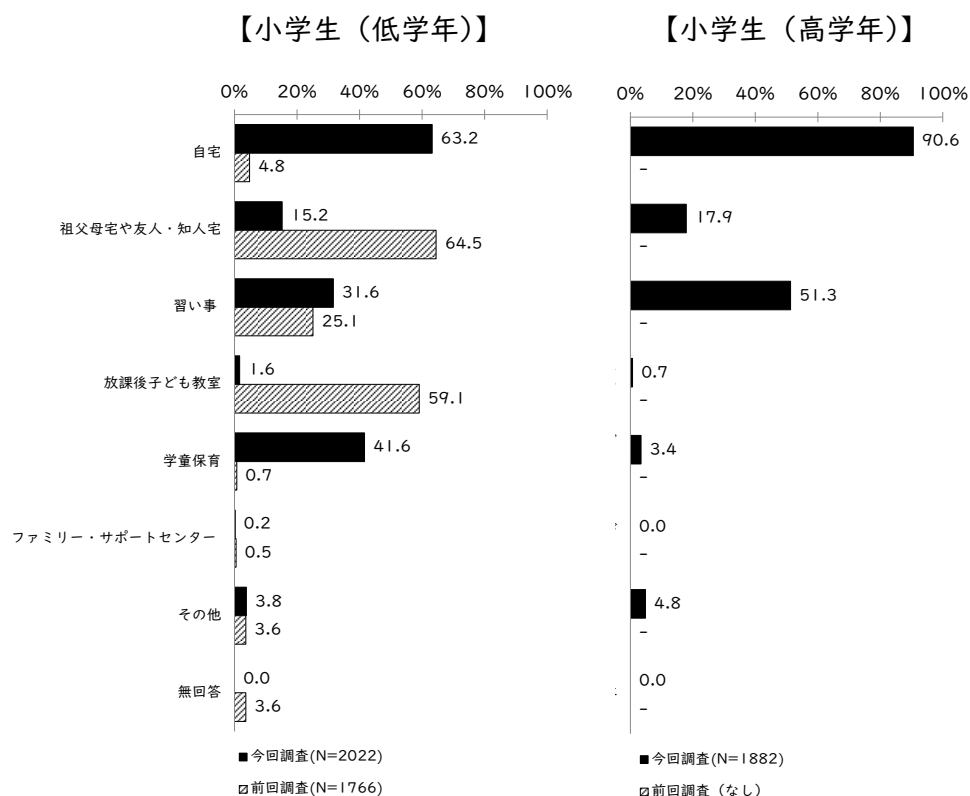


(3) 夏休み・冬休み等の長期休暇期間中の放課後の過ごしている場所

問 10-1 夏休み・冬休み等の長期休暇期間中の平日をどのような場所で過ごしていますか。
それぞれ1週当たりの日数をご記入ください。(複数回答可)

【長期休暇期間中の放課後の過ごし方】

小学生(低学年)では、「自宅」の割合が最も高く(63.2%)、次いで「学童保育」の割合が(41.6%)となっています。小学生(高学年)では「自宅」の割合が最も高く(90.6%)、次いで「習い事」の割合が(51.3%)となっています。



【長期休暇期間中の放課後の過ごし方と利用日数（1週間あたり）】

【小学生（低学年）】

【小学生（高学年）】

今回調査

単位：％

	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	無 回 答
自宅(N=1277)	14.3	17.2	18.2	12.3	37.9	0.1
祖父母宅や友人・知人宅 (N=307)	47.9	23.1	11.1	4.9	13.0	0.0
習い事(N=638)	29.8	34.3	21.8	8.6	5.3	0.2
放課後子ども教室 (N=32)	37.5	28.1	15.6	3.1	15.6	0.0
学童保育(N=842)	1.8	3.2	10.5	16.3	68.3	0.0
ファミリー・サポート・ センター(N=4)	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
その他(N=77)	29.9	36.4	14.3	9.1	10.4	0.0

	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	無 回 答
自宅(N=1706)	10.0	15.7	16.7	11.5	46.1	0.0
祖父母宅や友人・知人宅 (N=337)	42.7	25.8	13.6	5.0	12.8	0.0
習い事(N=966)	21.2	29.0	27.0	14.7	8.1	0.0
放課後子ども教室 (N=13)	38.5	23.1	23.1	15.4	0.0	0.0
学童保育(N=64)	1.6	4.7	9.4	15.6	68.8	0.0
ファミリー・サポート・ センター(N=0)	-	-	-	-	-	-
その他(N=91)	27.5	30.8	24.2	4.4	13.2	0.0

前回調査

自宅(N=1274)	1.5	2.4	1.0	0.5	1.1	93.4
祖父母宅や友人・知人宅 (N=1244)	11.0	14.7	13.6	9.2	43.0	8.4
習い事(N=1246)	16.6	8.4	4.6	1.6	4.3	64.4
放課後子ども教室 (N=1078)	25.2	29.7	26.6	10.4	4.9	3.2
学童保育(N=635)	1.9	0.2	0.0	0.0	0.0	98.0
ファミリー・サポート・ センター(N=587)	0.5	0.5	0.2	0.2	0.0	98.6
その他(N=135)	8.9	20.0	9.6	2.2	6.7	52.6

自宅(なし)	-	-	-	-	-	-
祖父母宅や友人・知人宅 (なし)	-	-	-	-	-	-
習い事(なし)	-	-	-	-	-	-
放課後子ども教室(なし)	-	-	-	-	-	-
学童保育(なし)	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・ センター(なし)	-	-	-	-	-	-
その他(なし)	-	-	-	-	-	-

（４）土曜日の学童保育の利用状況について

■問 10 で「5.学童保育」を選択（学童保育を利用）

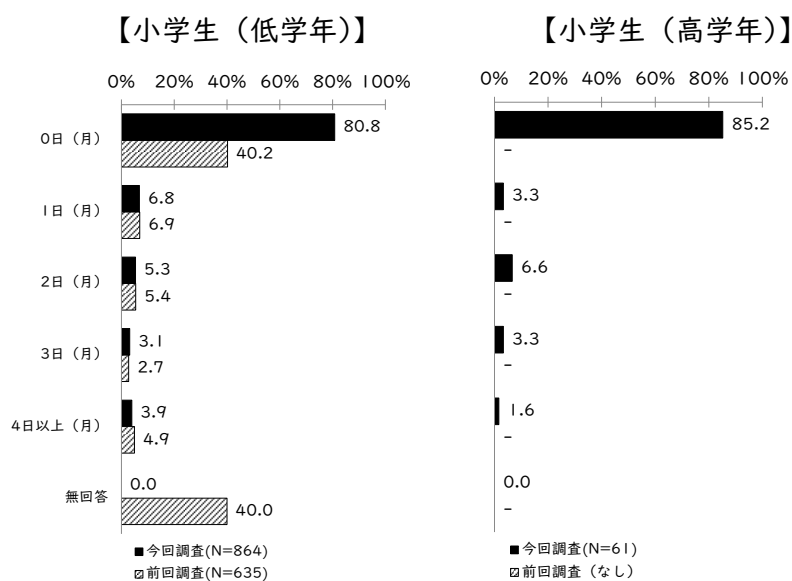
問 10-1-2 土曜日の１ヶ月あたりの利用日数をお答えください。

問 10-2-3 土曜日に１ヶ月あたり何日利用したいですか。

【土曜日の学童保育の利用日数（１ヶ月あたり）】

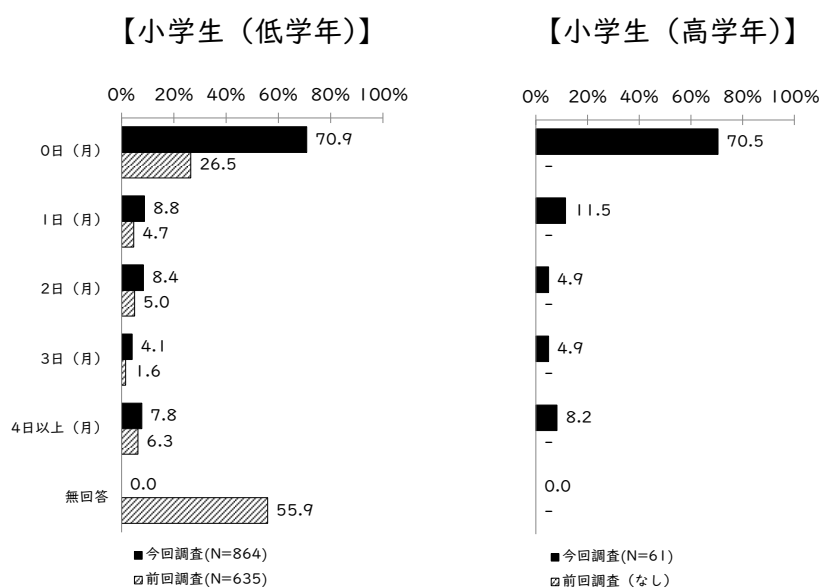
（現在）

いずれも、「0 日」の割合が最も高く、小学生（低学年）（80.8%）、小学生（高学年）（85.2%）となっています。



（希望）

いずれも、「0 日」の割合が最も高く、小学生（低学年）（70.9%）、小学生（高学年）（70.5%）となっています。



【土曜日の学童保育の希望利用日数（1ヶ月あたり） 居住区域別】

（希望）

【小学生（低学年）】

【小学生（高学年）】

【今回調査】

単位：％

	0日 (月)	1日 (月)	2日 (月)	3日 (月)	4日以上 (月)	無回答
1区域(N=143)	67.8	11.2	11.2	3.5	6.3	0.0
2区域(N=288)	74.7	6.9	7.3	4.9	6.3	0.0
3区域(N=146)	75.3	8.2	8.9	2.1	5.5	0.0
4区域(N=234)	68.4	9.4	8.5	4.3	9.4	0.0
5区域(N=35)	62.9	8.6	8.6	2.9	17.1	0.0
6区域(N=18)	50.0	16.7	0.0	11.1	22.2	0.0

	0日 (月)	1日 (月)	2日 (月)	3日 (月)	4日以上 (月)	無回答
1区域(N=9)	77.8	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0
2区域(N=20)	75.0	10.0	5.0	5.0	5.0	0.0
3区域(N=11)	54.5	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0
4区域(N=20)	70.0	10.0	5.0	5.0	10.0	0.0
5区域(N=0)	-	-	-	-	-	-
6区域(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【前回調査】

1区域(N=108)	24.1	6.5	2.8	0.0	4.6	62.0
2区域(N=144)	20.8	6.9	4.9	1.4	7.6	58.3
3区域(N=155)	30.3	3.2	5.8	1.9	6.4	52.3
4区域(N=183)	26.8	4.4	5.5	2.2	6.0	55.2
5区域(N=29)	37.9	0.0	10.3	0.0	6.8	44.8
6区域(N=16)	31.3	0.0	0.0	6.3	6.3	56.3

1区域(なし)	-	-	-	-	-	-
2区域(なし)	-	-	-	-	-	-
3区域(なし)	-	-	-	-	-	-
4区域(なし)	-	-	-	-	-	-
5区域(なし)	-	-	-	-	-	-
6区域(なし)	-	-	-	-	-	-

■問 10-1-2 で「0 日以外」を選択（土曜日の学童保育を利用希望）

問 10-1-3 土曜日は何時から利用していますか。

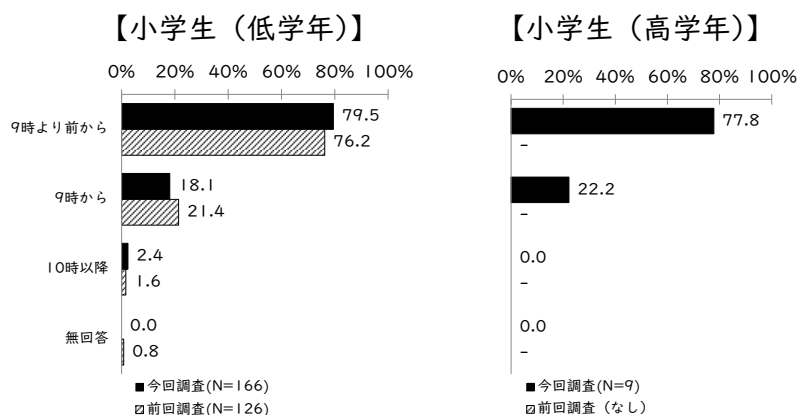
■問 10-2-3 で「0 日以外」を選択（土曜日の学童保育の利用希望あり）

問 10-2-4 土曜日に何時から利用したいですか。

【土曜日の学童保育の利用開始時刻】

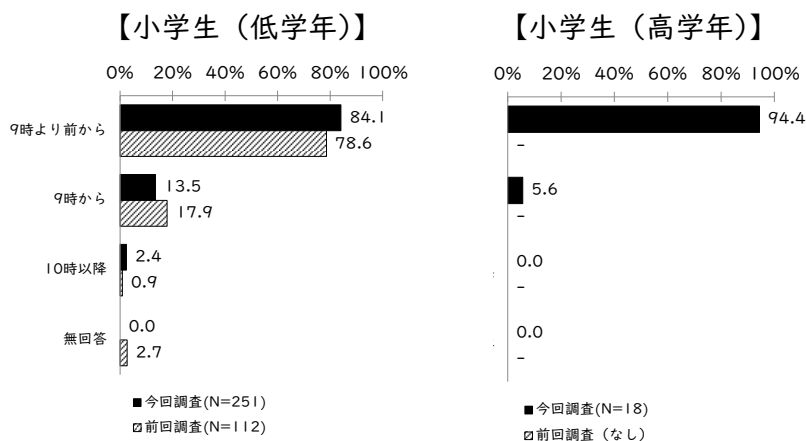
（現在）

いずれも、「9 時より前から」の割合が最も高く、小学生（低学年）（79.5%）、小学生（高学年）（77.8%）となっています。



（希望）

いずれも、「9 時より前から」の割合が最も高く、小学生（低学年）（84.1%）、小学生（高学年）（94.4%）となっています。



■問 10-1-2で「0日以外」を選択（土曜日の学童保育を利用希望）

問 10-1-4 土曜日は何時まで利用していますか。

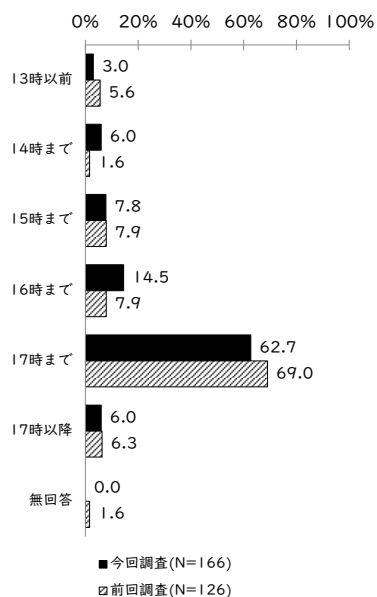
■問 10-2-3で「0日以外」を選択（土曜日の学童保育の利用希望あり）

問 10-2-5 土曜日に何時まで利用したいですか。

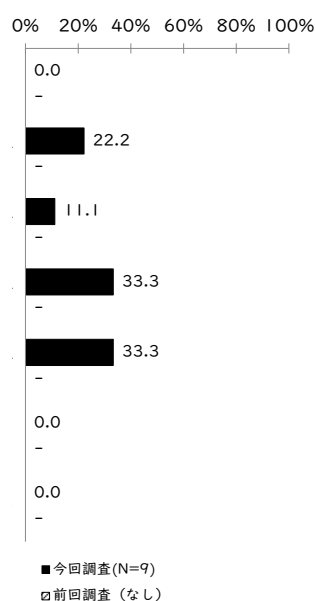
【土曜日の学童保育の利用終了時刻】

（現在）

【小学生（低学年）】

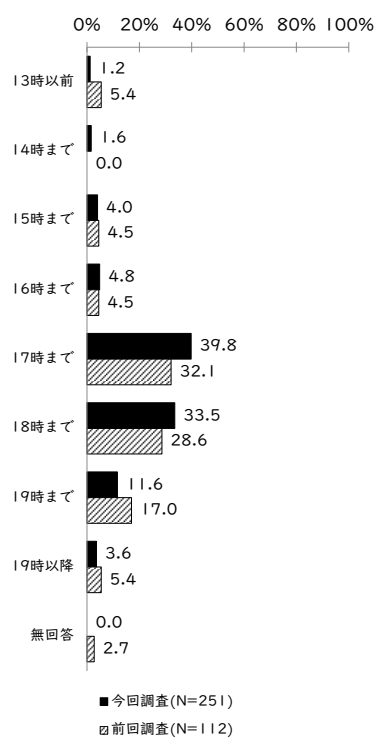


【小学生（高学年）】

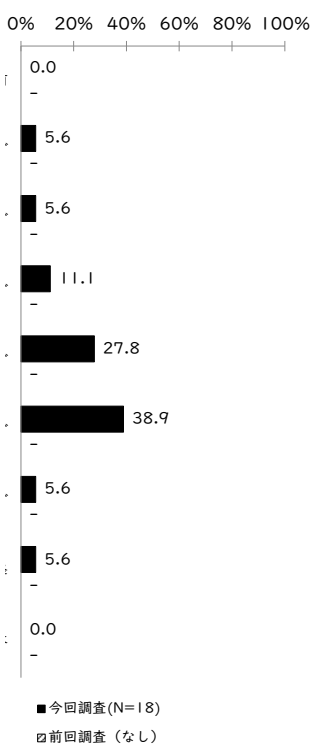


（希望）

【小学生（低学年）】



【小学生（高学年）】



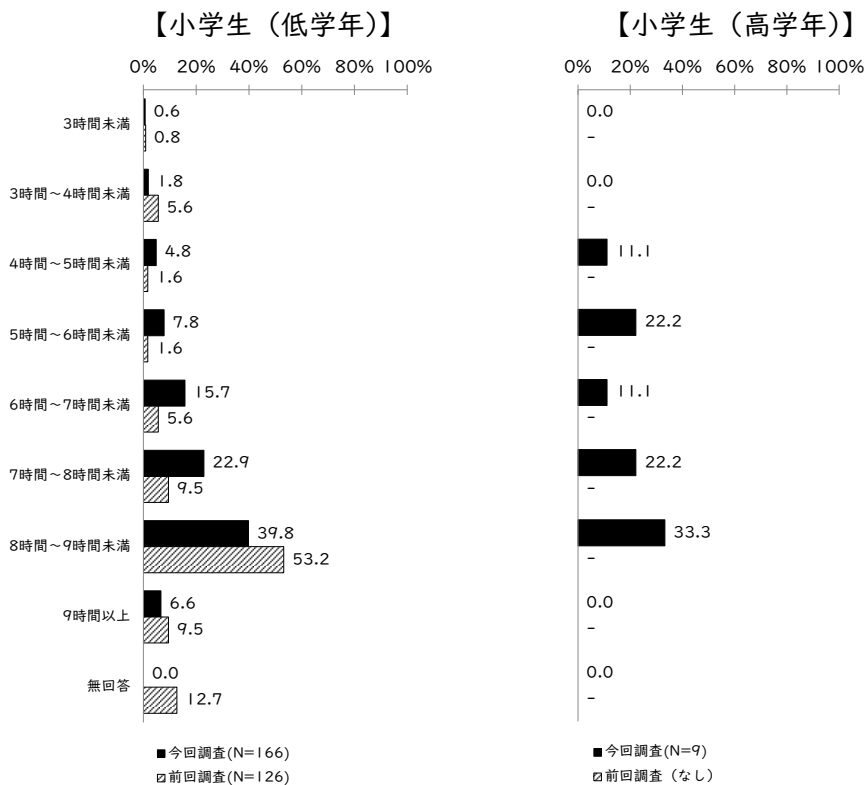
■問 10-1-2で「0日以外」を選択（土曜日の学童保育を利用希望）

問 10-1-5 土曜日の1日あたりの利用時間をお答えください。

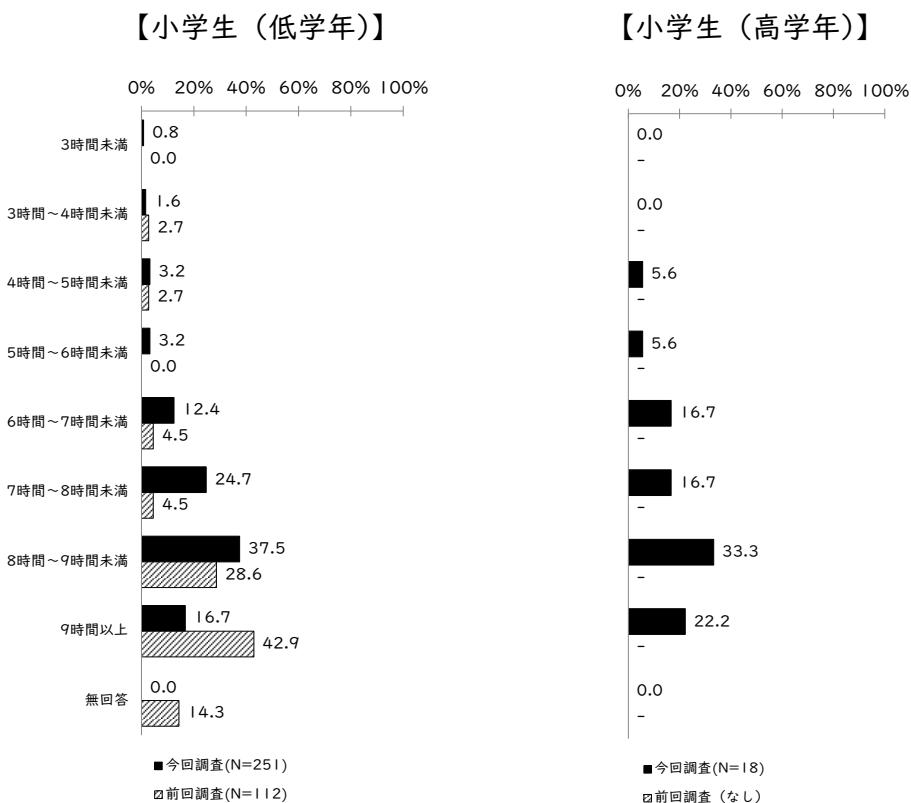
問 10-2-6 土曜日の希望する利用時間をお答えください。

【土曜日の学童保育の利用時間】

（現在）



（希望）



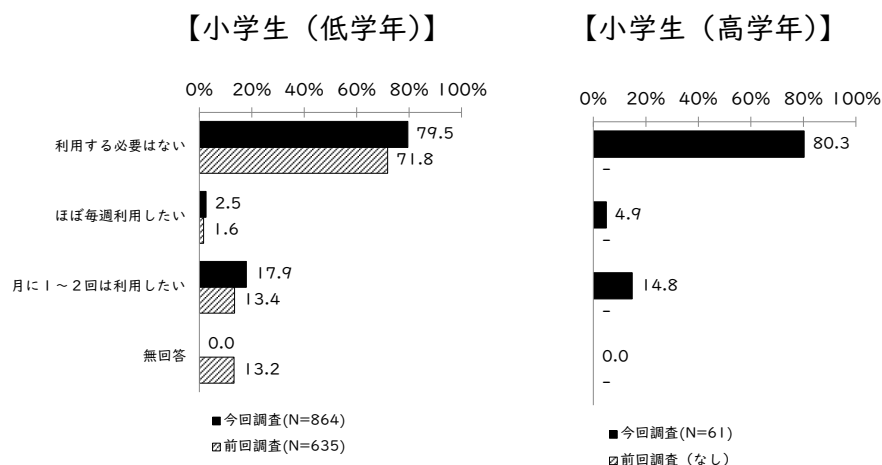
（５）日曜日・祝日の学童保育の利用状況について

■問 10 で「5.学童保育」を選択

問 10-3 日曜日・祝日に、仕事や介護などによる定期的な学童保育の利用希望はありますか。

【日曜日・祝日の学童保育の利用希望】

いずれも、「利用する必要はない」の割合が最も高く小学生（低学年）では（79.5%）、小学生（高学年）では（80.3%）となっています。

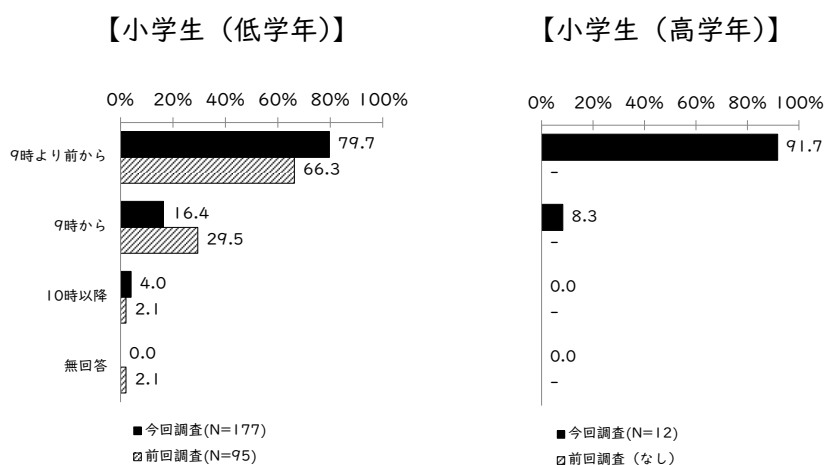


■問 10-3 で「2・3（日曜日・祝日の利用希望あり）」を選択

問 10-3-1 日曜日・祝日に何時から利用したいですか。

【日曜日・祝日の学童保育の希望利用開始時刻】

いずれも、「9時より前から」の割合が最も高く小学生（低学年）では（79.7%）、小学生（高学年）では（91.7%）となっています。



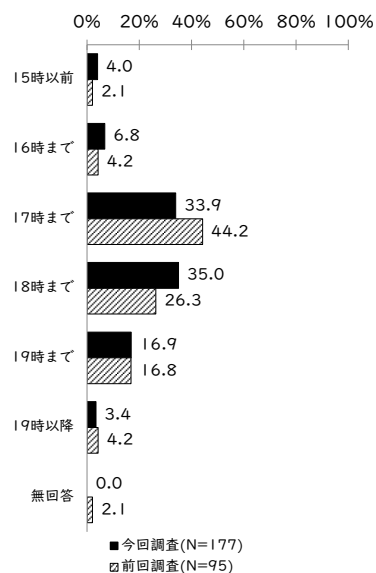
■問 10-3 で「2・3（日曜日・祝日の利用希望あり）」を選択

問 10-3-2 日曜日・祝日に何時まで利用したいですか。

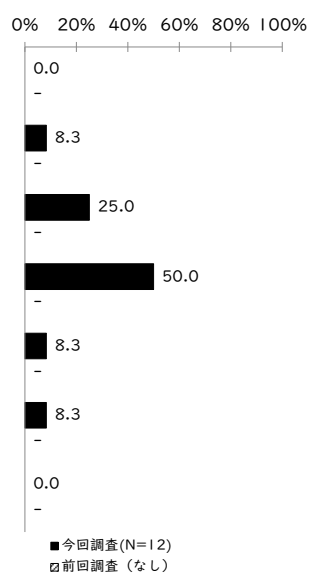
【日曜日・祝日の学童保育の希望利用終了時刻】

いずれも、「18 時まで」の割合が最も高く小学生（低学年）では（35.0%）、小学生（高学年）では（50.0%）となっています。

【小学生（低学年）】



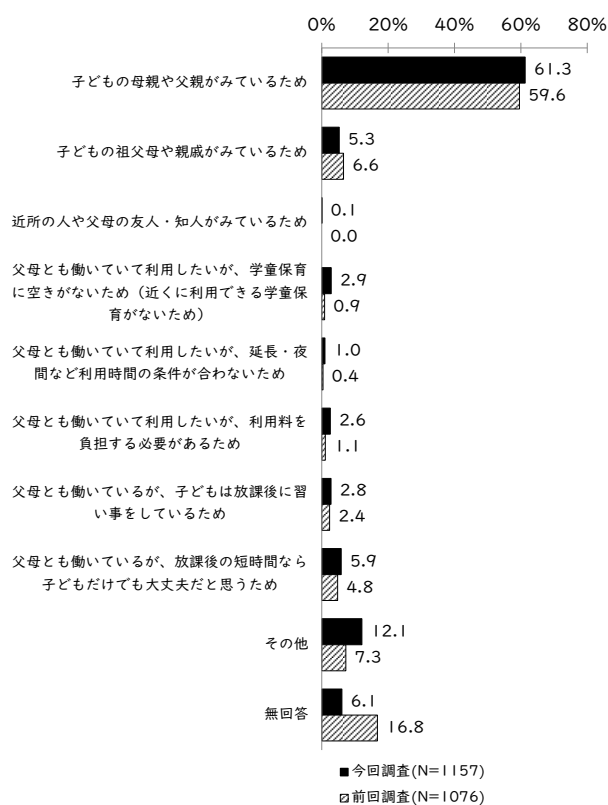
【小学生（高学年）】



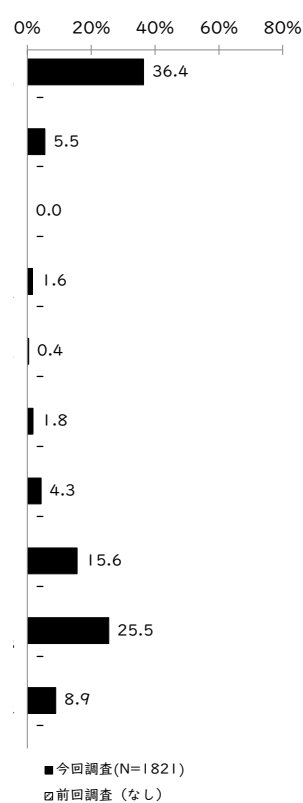
■問 10 で「5.学童保育」を未選択

問 10-4 学童保育を利用していない理由は何ですか。

【小学生（低学年）】



【小学生（高学年）】



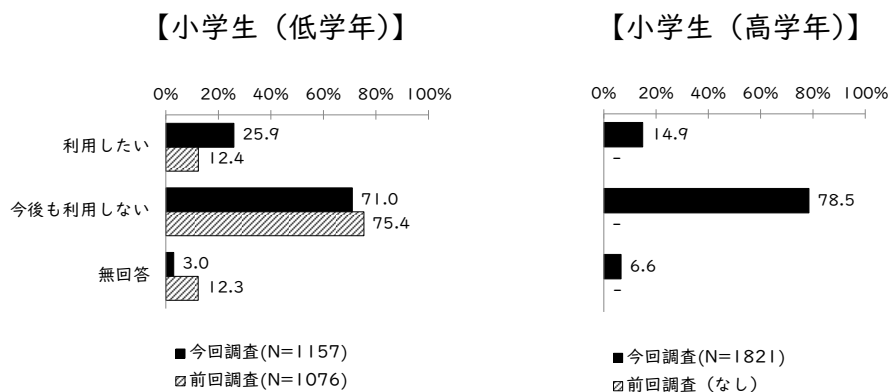
■問 10 で「5.学童保育」を未選択

問 10-5 今後、父母とも働く予定や就労条件の変更などの理由で、学童保育を利用したいとお考えですか。

【学童保育の利用希望】

小学生（低学年）では、「利用したい」（25.9%）、「今後も利用しない」（71.0%）となっています。前回調査と比較して、大きな変化はみられません。

小学生（高学年）では、「利用したい」（14.9%）、「今後も利用しない」（78.5%）となっています。

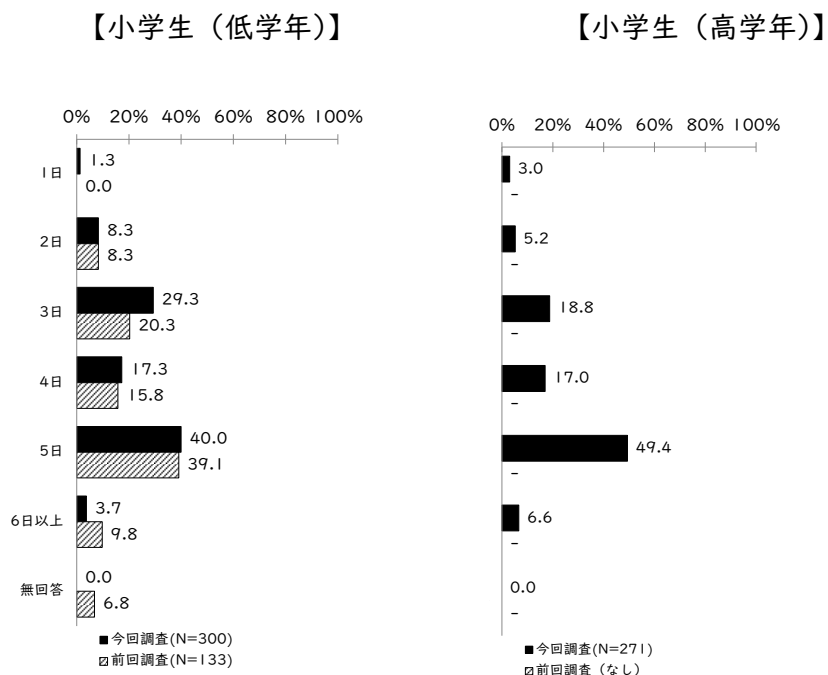


■問 10-5 で「1（利用したい）」を選択

問 10-5-1 週あたりの利用したい日数をお答えください。

【学童保育の希望利用日数（1週間当たり）】

いずれも、「5日」の割合が最も高く小学生（低学年）では（40.0%）、小学生（高学年）では（49.4%）となっています。



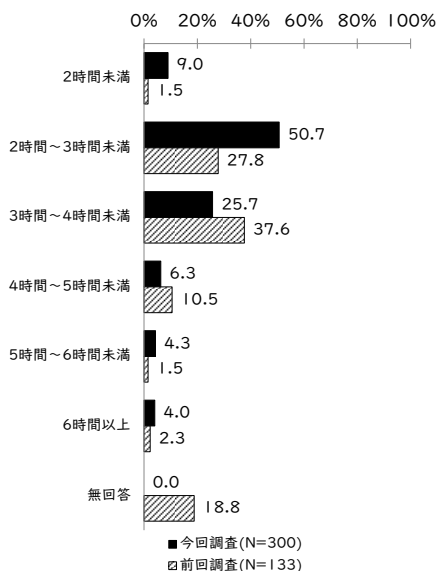
■問 10-5 で「1（利用したい）」を選択

問 10-5-2 1日あたりの利用したい時間をお答えください。

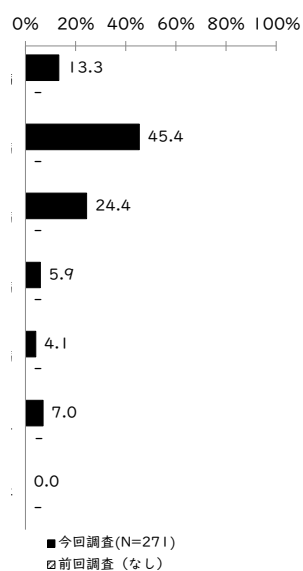
【学童保育の希望利用時間】

いずれも、「2時間～3時間未満」の割合が最も高く小学生（低学年）では（50.7%）、小学生（高学年）では（45.4%）となっています。

【小学生（低学年）】



【小学生（高学年）】



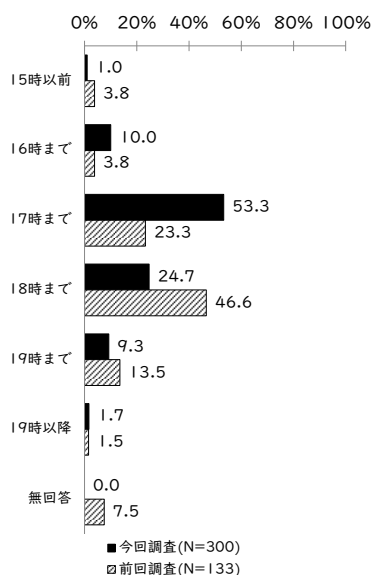
■問 10-5 で「1（利用したい）」を選択

問 10-5-3 何時まで利用したいですか。

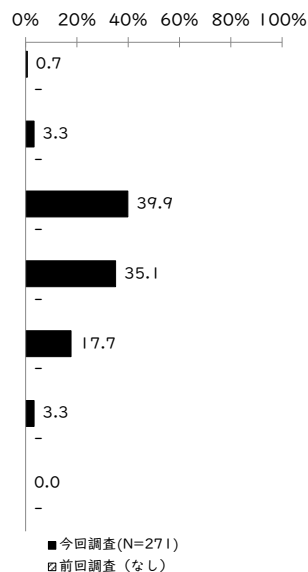
【学童保育の希望利用終了時間】

いずれも、「17時まで」の割合が最も高く小学生（低学年）では（53.3%）、小学生（高学年）では（39.9%）となっています。

【小学生（低学年）】



【小学生（高学年）】



■問 10-5 で「1（利用したい）」を選択

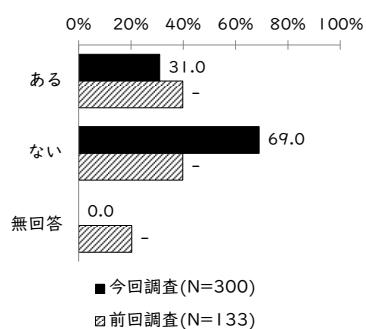
問 10-5-4 土曜日の利用希望はありますか。

【土曜日の学童保育の利用希望】

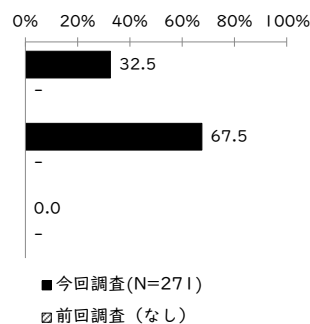
小学生（低学年）では、「ある」（31.0%）、「ない」（69.0%）となっています。

小学生（高学年）では、「ある」（32.5%）、「ない」（67.5%）となっています。

【小学生（低学年）】



【小学生（高学年）】



■問 10-5 で「1（利用したい）」を選択

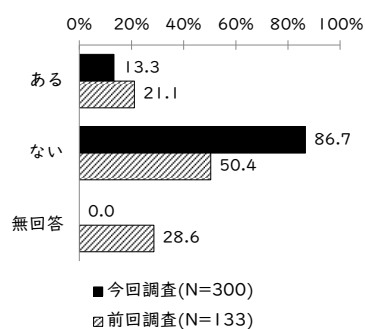
問 10-5-5 日曜日・祝日の利用希望はありますか。

【日曜日・祝日の学童保育の利用希望】

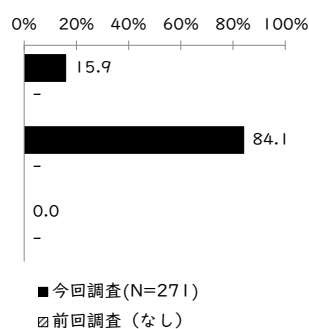
小学生（低学年）では、「ある」（13.3%）、「ない」（86.7%）となっています。

小学生（高学年）では、「ある」（15.9%）、「ない」（84.1%）となっています。

【小学生（低学年）】



【小学生（高学年）】



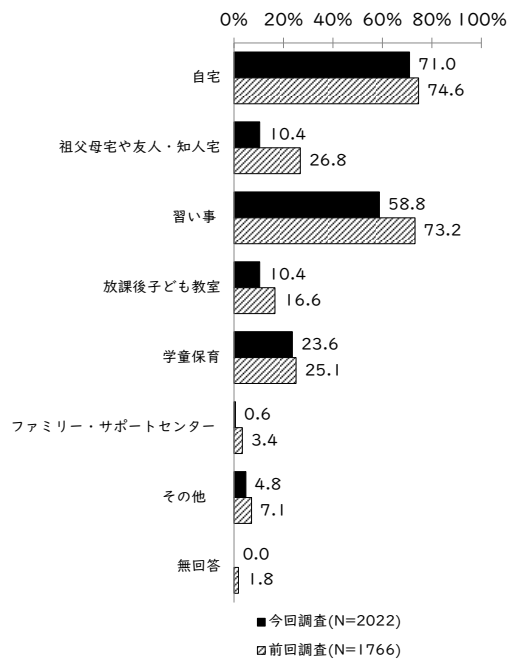
■小学校低学年（１年生～３年生）対象

問 11 お子さんが小学校高学年になったら、平日の放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。

【小学校高学年になった時の放課後の過ごし方】（小学校低学年（１年生～３年生）対象）

「自宅」（71.0%）、「習い事」（58.8%）、「学童保育」（23.6%）となっています。

【小学生（低学年）】



【小学校高学年になった時の放課後の過ごし方 居住地区別】（小学校低学年（１年生～３年生）対象）

今回調査

単位：％

	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	放課後子ども教室	学童保育	ファミリー・サポートセンター	その他	無回答
合計(N=222)	71.0	10.4	58.8	10.4	23.6	0.6	4.8	0.0
1 区域(N=327)	73.1	10.4	64.5	9.5	23.2	0.6	3.7	0.0
2 区域(N=653)	66.5	9.6	60.9	11.0	27.3	0.5	4.3	0.0
3 区域(N=360)	73.3	11.1	58.1	11.4	20.3	1.1	5.8	0.0
4 区域(N=548)	73.7	10.0	53.8	10.0	21.7	0.7	5.7	0.0
5 区域(N=87)	71.3	14.9	57.5	9.2	27.6	0.0	4.6	0.0
6 区域(N=47)	70.2	10.6	55.3	8.5	17.0	0.0	2.1	0.0

前回調査

合計(N=1766)	74.6	26.8	73.2	16.6	25.1	3.4	7.1	1.8
1 区域(N=271)	74.9	21.8	76.4	18.1	27.3	3.7	7.0	1.8
2 区域(N=453)	71.7	26.7	74.0	14.1	24.5	0.7	3.5	1.3
3 区域(N=384)	75.3	32.0	75.0	19.0	27.9	7.3	10.7	2.3
4 区域(N=517)	75.2	26.7	71.4	16.6	23.4	3.3	7.7	2.1
5 区域(N=81)	76.5	21.0	69.1	14.8	25.9	1.2	8.6	1.2
6 区域(N=60)	81.7	26.7	61.7	15.0	16.7	1.7	3.3	0.0

【小学校高学年になった時の放課後の過ごし方と希望日数（1週間あたり）】

今回調査

単位：％

	1日 (週)	2日 (週)	3日 (週)	4日 (週)	5日 (週)	無回答	平均日数 (週)
自宅(N=1436)	11.4	24.3	25.6	9.9	28.7	0.1	3.2
祖父母宅や友人・知人宅 (N=210)	42.4	29.0	12.9	1.9	12.4	1.4	2.1
習い事(N=1189)	22.6	39.4	26.3	6.9	4.6	0.2	2.3
放課後子ども教室 (N=211)	35.1	26.1	13.7	3.8	16.1	5.2	2.4
学童保育(N=478)	2.7	11.7	23.0	11.5	49.2	1.9	3.9
ファミリー・サポート・ センター(N=13)	15.4	7.7	15.4	0.0	30.8	30.8	3.3
その他(N=97)	17.5	37.1	17.5	5.2	15.5	7.2	2.6

前回調査

自宅(N=1317)	16.6	23.2	18.2	8.1	31.8	2.1	3.2
祖父母宅や友人・知人宅 (N=474)	51.3	23.4	8.2	2.1	7.0	8.0	1.8
習い事(N=1292)	19.3	32.7	31.4	11.3	4.1	1.2	2.5
放課後子ども教室 (N=293)	52.9	15.0	5.8	2.4	8.5	15.4	1.8
学童保育(N=444)	2.7	12.4	16.9	13.1	47.3	7.7	4.0
ファミリー・サポート・ センター(N=60)	10.0	3.3	1.7	0.0	3.3	81.7	2.1
その他(N=125)	12.8	22.4	15.2	6.4	12.8	30.4	2.8

【小学校高学年になった時の放課後の過ごし方 居住区域別の学童保育の希望日数（１週間あたり）】

今回調査

単位：％

	1 日 (週)	2 日 (週)	3 日 (週)	4 日 (週)	5 日 (週)	無 回 答	平 均 日 数 (週)
合計(N=478)	2.7	11.7	23.0	11.5	49.2	1.9	3.9
1 区域(N=76)	1.3	15.8	30.3	10.5	40.8	1.3	3.7
2 区域(N=178)	3.9	9.6	18.5	12.9	52.8	2.2	4.0
3 区域(N=73)	2.7	17.8	21.9	8.2	45.2	4.1	3.8
4 区域(N=119)	2.5	9.2	27.7	11.8	48.7	0.0	3.9
5 区域(N=24)	0.0	12.5	20.8	12.5	50.0	4.2	4.0
6 区域(N=8)	0.0	0.0	0.0	12.5	87.5	0.0	4.9

前回調査

合計(N=74)	2.7	12.4	16.9	13.1	47.3	7.7	4.1
1 区域(N=74)	2.7	9.5	17.6	10.8	51.4	8.1	3.9
2 区域(N=111)	3.6	13.5	22.5	10.8	49.5	0.0	3.9
3 区域(N=107)	0.9	12.1	18.7	10.3	39.3	18.7	4.0
4 区域(N=121)	3.3	12.4	10.7	19.0	47.9	6.6	4.0
5 区域(N=21)	4.8	19.0	9.5	4.8	61.9	0.0	4.0
6 区域(N=10)	0.0	10.0	20.0	30.0	40.0	0.0	4.0

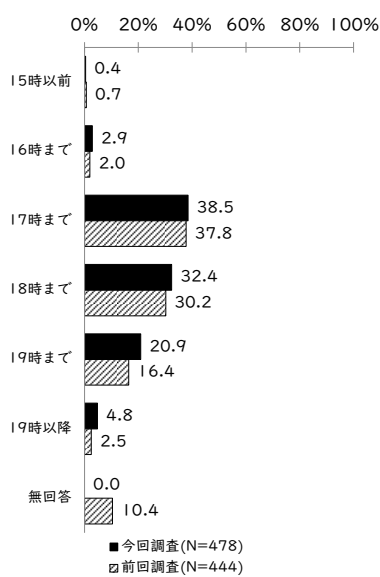
■問 11 で「5. 学童保育」を選択

問 11-1 何時まで利用したいですか。

【小学校高学年の学童保育の希望終了時間】

希望終了時間では、「17 時まで」(38.5%)、「18 時まで」(32.4%)、「19 時まで」(20.9%)となっています。

【小学生（低学年）】



Ⅲ 自由意見

就学前児童の調査では 1,405 名から 1,872 件、小学生の調査では 1,165 名から 1,676 件の意見が寄せられました。項目ごとに整理すると以下のとおりです。

Ⅰ 就学前児童

意見のカテゴリーと主な意見	件数
Ⅰ. 幼稚園・保育園・認定こども園について	641
○3年保育・受け入れの充実について	
保育士・幼稚園教諭等について	61
・保育士の人数を増やしてほしい	
・高槻市独自の保育士加算	
・スマホアプリを活用した業務効率化で先生の負担を減らす	
・保育士の離職防止のため処遇改善	
保育園等の延長保育	14
・延長保育の無償化	
・預かり時間をもっと長くしてほしい	
幼稚園の預かり保育の充実	11
・幼稚園の預かり保育をもっと充実させてほしい	
・保育園に入所できない場合の幼稚園の預かり保育の費用を市が負担するなど考えてほしい	
・有料でもいいので預かり保育をしてほしい	
幼稚園の充実、3年保育の実施	8
・公立幼稚園も3年保育があればと思う	
・水曜日でも全日保育してほしい	

○施設整備について	
待機児童の解消、保育所・幼稚園・認定こども園の増設	272
・保育所が少なく就労したかったが入れなかった	
・待機児童をなくしてほしい	
・一年待ったが、空きが出なかった	
・年度の途中から入れない	
・小規模保育園の提携先がなく、次に進めない	
・小規模保育園ではなく、就学まで通える保育園を増やしてほしい	
・極力、地域の方は地元の保育園に入れるように配慮してほしい	
・0歳から通える保育園や認定こども園が、子どもが多く住む地域に増えてほしい	
・保育所が少ないエリアでの増設	
・質の高い認定こども園を増やしてほしい	

早朝・夜間・休日の受け入れ	26
・市の認定こども園は、開園時間が朝 7 時半と遅いため、もう少し早く開けてほしい	
・土日祝、夜間の利用や病児保育、病後児保育も通い慣れた保育園でしてほしい	
・母が夜型勤務のため、もう少し遅い時間まで空いている保育所があればいいと思う	
・24 時間 365 日、子どもを預けたいときにいつでも利用できるサービスがほしい	
・仕事がシフト制なので、日祝に低学年の子どもを預けられる場所がほしい	

○保育料金・条件について	
保育料金について	106
・保育料を 3 歳からではなく無償もしくは、減額してほしい	
・保育園の延長保育(18 時から 19 時)の料金を無料にするか、援助してほしい	
・パートタイムのため保育園の短時間利用しかできず、仕事の日には 16 時から延長料金が必要	
・他市では、3 人目は無料なのに、高槻市は 3 人同時に保育園に入っていないと無料ではない	
・所得制限なく、保育料の負担の軽減もしくは無償化してほしい	
・こども園にかかる延長料金が高い	
・歳の差があるからと、第二子なのに保育料が満額必要になる事に納得いかない	
・保育園を通った日分のみの月額計算にしてほしい	
入園条件について	106
・兄弟同時通園が難しい状況を改善してほしい	
・妻が育休を取ったら保育園が時短になるのは止めてほしい	
・双子加点をもっと増やしてほしい	
・0 歳児クラスから預けないと希望の園には入れない現状がある	
・収入が多くても正社員にて共働きしている家庭の子が必ず入ることができる環境に	
・自営業の協力者の点数が一律に低くなっていることに納得がいけない	
・早生まれの子どもの場合、希望する保育施設に入るのが難しい	
・不妊治療で休職中でも、保育園の継続利用ができるようにしてほしい	
・2 次選考の結果が出るのがもう少し早いとありがたい	
・給与の多い少ないで保育園の入園優先順位をつけないでほしい	
・こども食堂を開催していて無償労働で就労証明がないため、保育所に預けられない	
・2 ヶ月以内に就職が決まらなければ入園許可取り下げというのも緩和してほしい	
・預かってもらえる場所がないと働けない。保育側は働き先を見つけてからと言われる矛盾	
・介護と子育ての両立のため、保育園など優遇措置をしていただきたい。	

幼稚園・保育園・認定こども園の設備・取組等	21
・公立幼稚園で給食を提供してほしい	
・保育所の駐輪場に屋根をつけてほしい。雨の日、自転車に乗せる時も視界が悪く危ない	
・保育園の駐車場が狭いので、交通整理の警備員の動員などを希望	
・保育園のおむつ持ち帰りを止めてほしい。保育園でおむつを処分してほしい。	
・保育園で毎週お布団持ち帰りの廃止をしてほしい	
行政の指導	16
・私立公立認可不認可関係なく、高槻市の子育ての研修を受けてほしい	
・市は定期的な監査で、安全が保てているのか確認、指導してほしい。	
・教育、保育環境が充実できるように、保護者の声をもっと聞いてほしい	
・私立の保育園の自由度が高すぎる。市が介入できるところは幅を広げて見ていただきたい	

意見のカテゴリーと主な意見	件数
2. 小学校就学後の生活について	308
○小学校について	
登下校時の安全確保	31
・通学路の安全性について検討してほしい	
・校区の学校が遠いので、近い学校を選択できるようにしてほしい	
・ボランティアの方が通学路に立っていただけると安心	
・小学校、中学校までが遠く、特に中学校への自転車登校を検討してほしい	
・運転手に対する、啓発をしてほしい	
教育内容の充実と見直し	28
・1クラスで人数も少ない小学校の合併や、小中学一貫や、小学校選択制などを期待	
・タブレットの有効活用、プログラミング教育の実施、小学校の水泳授業	
・大人の目の行き届いた環境で教育活動をしてほしい	
・好きなこと得意なことをみつけて主体的に生き生きと子どもが育つ教育を希望	
・授業が分からない子にはフォローする仕組み作り等で、格差を減らしてほしい	
・各小学校の先生と話す機会や、学校の授業を見る機会を増やしてほしい	
・英語教育を充実してほしい	
・不登校児童の増加に伴い、学校の変革が必要	
・防犯、身の守り方、SNSの使い方、性や薬の知識などを学べる時間や場を設けてほしい	
P T A活動について	10
・PTA活動や旗幟番等、現代の子育てに似合っていないと感じる面がある	
・PTA、教育委員会などの透明化を行政の責任として市が指導してほしい	
・働いている家庭が多い中、小学校の役員など集まりが多過ぎる	
教員体制の充実	11
・小学校の支援員の教員、スクールカウンセラーを配置してほしい	
・十分な人員配置と確実な35人(以下)学級	
・セクハラ、体罰等により評判が悪い教師への処遇を考えるべき	
・副担任制度で、先生の負担を減らせば親も子も安心できる	
老朽校舎の改修	12
・トイレの洋式化、トイレが汚すぎるので改善してほしい	
・小学校が古すぎて、建て替えてほしい	
その他 学校関係	19
・ルールを守れない保護者に対する対応に納得できない	
・小学校の門に電子錠とインターホンを付けて遠隔操作できるように対応してほしい	
・市立小学生の標準服の導入	
・ランドセルに代わり、通学用バックパックのような物があるといい	
・給食におけるアレルギー対策	
・給食オーガニックなど給食の質に目を向けてほしい	

○学童保育について	
利用条件について	74
・ 公立の学童が３年生までというのが不安	
・ 小学校の学童サービスが需要に追い付いていない	
・ 希望のところに入れないかもという不安がある	
・ せめて３年生までは、希望者が確実に入れるようになってほしい	
・ 産休中、育休中に小学生を学童に預けたい	
・ 学童の選択肢が少なすぎる	
・ 学童保育の審査を緩くしてほしい	
・ 学童はほぼ無償化みたいなシステムは導入できないのか	
休日・長期休暇の受け入れ	33
・ 長期休みの時だけでも３年生以上の子どもも利用出来るようにしてほしい	
・ 幼稚園に入園してから働きたいが子どもの長期休暇のときにどうすればいいかわからない	
学童保育の増設・定員増	53
・ 学童が不足しているので、民間も含めて受け皿を増やしてほしい	
・ 民間学童利用料の補助	
・ 学童保育の定員を増やしてほしい	
学童保育の運営時間について	12
・ 小学校や長期休み中の学童の開室開始時間が遅い	
・ 小学校に上がってからの土曜日学童を１９時までにしてほしい	
・ 小学校の８時前、１８時以降に預けられる制度があればよい	
学童保育への要望	19
・ 長期休みは給食がでるなどをしていただけたら助かる	
・ 学級閉鎖時や病気の時など、学童利用ができると助かる	
・ 長期休暇中のお弁当が購入できるという	
・ おやつについて駄菓子などが多いため、パンやおにぎりなどが良い	
・ 定員以上のため、環境を改善してほしい	
・ 習い事や送迎付き、食事の提供があるといった民間学童は人気ですぐに定員いっぱいになる	
学童保育に代わる役割	6
・ 放課後にそのまま小学校等でスポーツができる環境を整えてほしい	
・ 小学生でも放課後や休みの日に利用できる児童館があればいい	
・ 小学生が放課後思いっきり遊べる場所などを作ってほしい	
・ 小学校のグラウンドで遊んでいるところを見してくれる放課後クラブみたいなのが高槻にもほしい	

意見のカテゴリーと主な意見	件数
3. 子育て支援全般について	301
○地域子育て支援センター、つどいの広場について	
地域子育て支援拠点事業の充実	28
・子育て支援センターを各所で作って、小さい赤ちゃんを持つ母親が足を運べるように	
・開設時間がセンターによってバラバラなので、統一してほしい	
・カンガルーの森は月齢が上がるに連れて利用しづらい。年齢層別に部屋を分けてほしい	
・休日にも子育て支援センターの利用ができるようになるとありがたい	
・上牧地区に支援センターがないので、もっと増やしてほしい	
イベントについて	28
・パパママ教室に参加したくて応募したのに、抽選で外れた	
・未就学児が利用する子育て広場のイベントは、土日の午後にも開催してほしい	
・子連れイベントは、楽しみながら繋がりが作れるようなものがあるといいと思う	
・3歳から6歳向けのイベントも増やしてほしい	
・子どもの主体性を育むような子ども参加型企画	
・みのマママルシェのようなイベントを高槻市が後援して頻繁に開催してほしい	
・子どもたちが自分たちの未来をよりよくするためのSDGsを意識した活動など	
・車を所持しない家庭を前提とした運営をしてほしい	
・親子料理教室は、また参加したいが、開催頻度が少ない	
・イベントも全て高槻駅付近で集中しており、小さい子どもを連れてとなるとハードルが高い	
・公民館などで高齢者だけでなく幼児から出来る講座があれば嬉しい	
・子ども向けの理科学の実験やITなどのイベントもあればぜひ利用したい	

○その他の子育て支援サービスについて	
手当の充実、各種サービスの見直し等	29
・所得制限により、子ども手当を減額や支給停止をしないでほしい	
・物価高が続いて苦しいので、子育て世帯向けに手当をいただけるとありがたい	
・母子家庭への支援を充実させてほしい	
・子育て家庭への支援をもっと充実させてほしい(給付金など)	
・かるがもパスを子どもを自転車に乗せられる月齢くらいまで、延長してほしい	
・産後ケアサービスが使いにくい	
・児童手当は産まれる時に一度貰えと助かる	
・親の急な体調不良の際、ファミリーサポートをもっと利用しやすいように	
・高槻市内で使える格安商品券をもっと増やしてほしい	
・ベビーシッターをもっと利用しやすい制度を作してほしい	
・3歳から児童手当を減らさないでほしい	
・ひとり親だが、両親と同居しているためひとり親手当がもらえない	

病児・病後児保育事業の充実	38
・病児保育の利用法がわかりづらい。予約もなかなか取れない	
・病児保育は、受け入れ人数を増やしてほしい	
・利用するには小児科で手続きをふまないといけないなど、使い勝手が非常に悪い	
・一ヶ所で完結するよう、病院内の病児保育を充実させるべき	
・訪問型病児保育がほしい	
・発熱等の連絡で、すぐに親が迎えに行けない場合、預かってもらえる病院等がほしい	
・病児保育は空き予約状況だけでもネットで見られないものか	
一時預かり事業の充実	48
・枠も少なく近所にないので、もう少し利用しやすくなってほしい	
・緊急事態に 24 時間預かってもらえる施設がほしい	
・自分の体調不良(入院等)時の子どもの預け先が高齢の祖父母しかなく、不安が大きかった	
・私用で理由を問わず預けられる場所がほしい。こども園でも理由を問われず預けたい	
・一時預かりができる保育所を増やしてほしい	
・予約不要もしくは数日前でも預けられる環境をたくさん増やしてほしい	
・1 年に 1 度だけ無料で利用出来るチケットなどあれば凄く嬉しい	
・一時預かりの利用料をもっと下げてほしい	
障がい児への支援充実	43
・グレーゾーンの子ども達へ対策、教育を広げて行ってほしい	
・障がい児向けの児童発達支援事業所の負担上限額について所得による利用料の差をなくしてほしい	
・障がい(肢体)の子を育てているが、多目的トイレにベッドが備え付けられている所がほとんどない	
・療育先を探す際に困ったので、コーディネーターに相談にのってほしい	
・療育施設が満員で困っている	
・障がい児がのびのびと遊べる屋内施設があれば保護者の息抜きや交流の場にもなる	
・自閉症スペクトラムで療育手帳も取得しているが、加配の先生がついていない	
・発達が遅めの子が貸し切りで安心して遊べる日をカンガルーの森に設定してほしい	
・就学後は放課後等デイサービスの利用を希望しているが、空きがなかなかない状況で不安	
・特別支援児童の保護者向けに、講演会やイベントがあれば精神的に救われる	
・障がいの疑いのある子を育てる親の就労がしやすくなる環境が整うと嬉しい	
・放課後等デイサービスは数だけ多く質が低いところが多いので、有資格者を増やしてほしい	
・小学校の支援学級は手厚いが、中学校の支援学級はあまり何もやってくれないと聞く	
・身体、精神にハンデの子どもに対応したプログラムがほしい。	
多胎児支援について	5
・多胎児への支援を拡充してほしい。特に移動が困難	
・多子(双子、みつご等)家庭のつどいの支援など再開してほしい	

○子育てに関する情報について	
子育てに関する相談先の充実	38
・ 市役所の保育園の窓口の対応がもっと分かりやすくなってほしい	
・ 入園するための点数について、個人情報をもとに理由を教えず施設の選択が難しかった	
・ 希望保育園に入れない前提での提案をされたことに憤りを感じた	
・ 子育てでオンライン相談を充実してほしい	
・ 各部署、各保育園、企業型保育園の情報をまとめて相談出来る場所があればと思う	
・ 子育てや発達について相談したい時に、どこに相談したらいいかわかりにくい	
・ もう少し気軽に相談出来る場所やサービスがあれば良いと思う	
・ 子どもの気質（HSC など）を専門に相談できる環境が充実してくれるとありがたい	
・ 教育センターでの教育相談制度をさらに周知していくべきだ	
子育て支援に関する情報の充実	44
・ 保育施設の利用に関する書類が複雑で理解するのが難しかった	
・ 高槻市の LINE がとても見やすく、イベントに参加でき、とても喜んでいる	
・ 市役所からの情報発信（保育関連）がわかりづらい。必要な情報にアクセスするのが困難	
・ 公立の幼稚園・小学校の取り組みを知りたい（教育内容、遠足場所、地域での取り組み等）	
・ 障がい児を持つ親に頻繁に行政から何らかのアプローチがあれば助かる。情報検索する心の余裕がない	
・ 母子手帳は、オンライン面談、郵送受け取りがいい。産後ケア事業の利用申請もオンラインに	
・ 料金表の様式などが園によって異なり比較するのが難しい。統一したものを使用してほしい	

意見のカテゴリーと主な意見	件数
4. 子育て環境について	346
○子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について	
公園・遊び場	160
・公園なども少ない。小さすぎて子どもが集まらない公園は無駄だと思う	
・公園の遊具の点検、雑草や砂場の整備	
・乳幼児が室内で遊べる広いキッズスペースが増えると良い。	
・ボールを使って遊べる公園を増やしてほしい。公園にバスケットゴールを設置してほしい	
・大きな公園や、子どもが遊べる室内スペース、子連れが行きやすい場所を増やしてほしい	
・安満遺跡公園に遊具コーナーを設けてほしい	
・市全体に公園がたくさんあり、子どもが遊べる環境が整っている点はとてもありがたい	
・安満遺跡公園に、ゼビウスケボーパークを作してほしい。集客がかなり見込めると思う	
・夏でも熱中症の危険がない環境で子ども達が体を動かして遊べる環境の整備を	
・雨の日に遊べる屋内環境や施設の整備	
・大きな公園のトイレは、ベビーカーが入らない、暗い、オムツ台がない	
・無料で親子が水遊びできる公園などがあれば貧困家庭も助かると思う	
・公園や道路の犬猫の糞の放置も目立つ。公園への防犯カメラの設置や野良猫の保護を	
・放課後、だれでもいつでも、自宅に帰らずに（基本外の）校庭で遊ぶことができるように	
・安満遺跡公園内のボーンレンドの利用が2歳までせっかく無料なのに、知らない方が多い	
・スポーツ選手になりたいと頑張っている子ども達のために安全にスポーツの練習が出来る場所を	
・自閉症等障がい児が、うの花療育園のような安全が配慮されいつでも遊べる場所が増えればと思う	
・亀岡にあるキリノコのような場所があれば素敵だと思う	
道路・移動手段等	52
・道路、自転車、歩道は交通量の多さからも安全面で充実していると思えない	
・コウノトリパスの期間延長	
・バスの通路や降り口が、ベビーカーだと狭く感じる	
・バスの本数が少なく、いつ乗っても満員で赤ちゃんやベビーカーを抱えて乗るのは大変	
・高校生に自転車のマナー講習を行なってほしい	
・JR 高槻駅近隣の駐輪場、チャイルドシートを載せた自転車の定期利用の枠が足りていない	
・バス料金はせめて1歳まで無料にしてほしい、できれば2～3歳までのかるがもパスも	
・安満遺跡公園の駐車料金が高すぎる。せめて公園内の施設利用で割引などはしてほしい	
・施設利用の際には、EVがどこにあるのか探す手間があるので、案内サインの拡充を	
・子どもに対して自転車教室（安全な乗り方、交通ルール）	
・かるがもパスがあっても便利だったが、ベビーカーでバスに乗る事の難易度の高さを感じた	
・保育園、小中学校近くの横断歩道には信号設置、警官が立つ、スクールゾーン看板を目立たせる	
・安満遺跡へのバスの経路を増やしてほしい。JRや阪急を経由しないといけないのは不便	

公共施設（図書館など）	24
・水族館や動物園、科学館などの施設がほしい	
・公民館図書室も行ってみたが、種類も少なく利用しにくかった	
・中央図書館の充実を希望。施設自体が古く、狭く、座れる椅子や机があまりにも少ない	
・プラネタリウムなどの宇宙に関する施設を希望 文化劇場の活用をもっと考えてほしい	
・移動図書の導入、健康ステーション（ウォーキングマシンや健康講座など低額、無償でできる）	
・高槻市図書館は、色んな絵本にふれる機会ができて、とても助かっている	
・主要な子育て施設が高槻市駅、高槻駅に集まっているので分散してほしい	
防犯・不審者・街灯	21
・公園などに防犯カメラを設けてほしい	
・子どものための防犯や防災にもっと力を入れてほしい	
・性教育、金融リテラシー、IT リテラシー、誹謗中傷や闇バイトなど子どもが犯罪に巻き込まれない教育	
・不審者対策、子ども相手の犯罪対策強化をお願いしたい	

○母子の保健について	
医療費補助、医療体制の充実	50
・こどもの医療費負担の減額、無償化	
・小児科の病院に関しては、ものすごく予約がとりにくい	
・日曜日、祝日、深夜帯も受診できる小児科を助成し増やしてほしい	
・妊婦健診の全額無償化	
・出産の際に陣痛タクシーがほしい	
健診の充実	11
・こどもの健診は保健センターではなく駅近のクロスパル高槻などで実施してほしい	
・市の定期健診での保健師や助産師の定期的な研修をしっかりとやってほしい	
・妊婦健診の診察料無償化、出産費用の完全無償化	
・子どもの健診の回数がもう少し増えるといい	
・一歳半健診の際、歯のフッ素をぬってもらいたかった	
・産後ケアをもっと気軽に受けられるようにしてほしい	
・母子健康手帳の交付や子の健康診断等で安満遺跡まで行くのは負担が大きすぎる	

○地域のつながり、協力等について	
地域のつながり、協力等について	28
・地元が地方のママさんとの繋がりがほしい（共感やアドバイスを受けたい）	
・初めての出産前にはミルクの作り方からなど事前に練習できる場がほしい	
・産前から"相談できる人"との関係構築があると良かった	
・ママサポを利用したが、来てくれる支援員の質にムラがあり、利用しづらい	

意見のカテゴリーと主な意見	件数
5. 子育て中の保護者の状況について	178
経済的支援	54
・子育てクーポンやオムツ、筆記用具などの無料配布などの支援がほしい	
・高槻市より出産祝い金	
・子育て世帯に助成を増やしてほしい(住宅購入に関わる補助など)	
・ランドセルの高額化がすすんでいるので、学用バックパックのような物があるといい	
・若い世代の経済負担(奨学金の負担軽減や就労支援など)が少子化対策に重要	
・図書館や公園などの子どもに必要な公共施設などの駐車場代の無料化を強く望む	
・子ども手当、扶養手当ともに少なすぎるので、市独自の給付金を出してほしい	
・指定体操服、中学校の制服購入に補助などしていただきたい	
・習い事は大阪市のように補助を検討いただきたい	
・貧困に対する支援を充実させてほしい	
・私立小学校、中学校の無償化を実現してほしい	
・多産した人に年収制限なしに支援してほしい	
子育てと仕事の両立について	
職場への啓発を求める内容	24
・子どもの病気などで仕事が休んだときの給料の何割かを出してほしい	
・企業に対して小さい子どもがいる従業員とその管理者向けの啓発を促してほしい	
・企業に労働時間の遵守や子育て支援に対して政策として働きかけてほしい	
・不妊治療中は、理解のある職場が増えてほしい	
父親に対する教室など	6
・育休前の父親同士が情報交換できる場があれば良い	
・世の男性にもっと育児に参加しないといけないという意識をもってもらいたい	
保護者のリフレッシュ、子育て不安等について	20
・父母が休みの日もリフレッシュできるように月に数回は預かって貰えるようにしてほしい	
・母親もリフレッシュ出来るような時間がほしい	
・仕事をしていなくても、子どもを無料又は安い料金で預かる制度があれば気が休まる	
・育児疲れなどで子を泊まりで預かってくれる"信頼できる"サービスがほしい	
・二人とも倒れた時に頼れる人が近くにいないので心配	
その他	74
・暴風警報で保育所などが休校になるのは理解が出来るが大雨警報で休校になるのは疑問	
・大雨洪水警報時の休園・休校措置について、地域を絞るなど緩和してほしい	
・不登校支援やフリースクールへの助成をしてほしい	
・虐待通報あった家庭への定期的な訪問、精神疾患のある親がいる家庭への定期的な訪問	
・兄弟のイベントが重なる点を考慮してほしい(就学児健診と3歳半健診が同日だった等)	
・物価の高騰が日に日に上がっていて生活がほんとに苦しい	
・高槻市外の私立小学校等に通う場合、支援やサービスを受けられない	

意見のカテゴリーと主な意見	件数
6. その他	98
アンケートについて	18
・ アンケートが長過ぎる	
・ アンケートをとるだけではなく、実際にできるようにしていただきたい	
・ 入力後送信できず消えることがあったので改善してほしい	
市政について	26
・ 市役所の窓口の職員の質を上げてほしい	
・ 明石市のように子育て家庭の経済的支援が一番少子化対策→住民増加→地域活性化につながる	
・ 子育てや支援に関する環境や施設が、市街地中心に集中しているため、郊外へも配置してほしい	
・ 子育て支援と少子化対策の違いを明確にしながら対応を	
・ 英語幼稚園や私立小学校をもっと誘致して、教育都市として打ち出していくのはどうか	
・ 将来を担う子ども達が、明るく楽しくイキイキと成長できるように、優先的に予算を配分してほしい	
その他	54
・ 国の施策として取りたい人は3歳まで育休をとれる環境にあればと思う	
・ 保育園の利用状況の調査をしてほしい。本当に保育が必要な人が認可の保育園に通えるべき	
・ 今あるサービスが本当に健全に機能しているのかを見直してほしい	
・ 気付かれない場所で辛い思いをしている子ども達のため子ども食堂を作ってほしい	
・ 子ども食堂に関して開催場所の斡旋、メンバー集めの協力など始めるまでのハードルを下げてほしい	
・ 治安も良く、広い公園もあり、子育て支援センターも綺麗で子育てしやすい	
・ 素敵な先生方に巡り会え感謝しかない。自然が多く、子どもがのびのびと過ごせる公園が多いのが魅力	
・ 高槻市の医療費補助のお陰で金銭的な心配が少なくて済み、とても心強かった	
総計	1872

2 小学生

意見のカテゴリーと主な意見	件数
1. 幼稚園・保育園・認定こども園について	83
○3年保育・受け入れの充実について	
保育士・幼稚園教諭等について	10
・保育士さんや教員さんの働く環境を良くして、給与を上げてほしい。	
・保育園の先生1人あたりの子どもの数を減らす。今の基準だと先生1人に対して子どもの数が多すぎる	
・保育園は発達支援などの理解が低い。待遇改善、発達支援や保育のアップデート研修など、保育士のレベルを上げてもらいたい	

○施設整備について	
待機児童の解消、保育所・幼稚園・認定こども園の増設	19
・2号認定の空きが無く子どもをこども園に入れるのにとっても苦労した。転園の際の待遇を良くしてほしい	
・保育園、学童の待機児童をなくしてほしい	
・隠れ待機児童はたくさんいる。仕事時間に制限が出てしまい希望の職に就けない状況である。保育申込要件等の改善を求めたい	
・希望する保育園に全然入れず遠い保育園に仕方なく通っているが、送迎の負担が大きい	
・1歳児の認可保育園の空きが少ない	
・保育施設を増やしてほしい	
・小規模保育園ばかり増やすと、3歳児からの保育先をまた見つけなければならず、とても苦労した。こども園等がほしい	

○保育料金・条件について	
保育料金について	17
・保育料が高い	
・保育料が2人目から半額なのに、上の子が小学校に入ったら1人目になって満額に戻るのをやめてほしい	
・幼稚園の毎月の支払いが数万にのぼることもあり、負担が大きい	
入園条件について	17
・保育園は兄弟必ず同じ園に入れるように	
・現在の就労状況に関わらず全ての希望する家庭の子どもを保育園に入れられるようにしてほしい	
・専業主婦が社会復帰したいのに、保育園では優先度を下げられ利用できず、結局専業主婦を続けるしかない	
・小規模保育園近くの連携施設に全員が入れるような制度を整えてほしい	

その他	20
・ 保育施設に屋根付き駐輪場を。保育施設預け場所まで土足可能に	
・ 公立保育所の散歩や外遊びの減少。安全を気にして室内遊びばかり	
・ 保育所が19時までは早い	
・ こども園に通っているが、延長預かり保育の枠が少なく利用できない事が多く、働けない	
・ 職業柄、祝日勤務があるため、祝日も学童保育、保育園預けられる環境にしてほしい	
・ 公立の幼稚園も4歳からだったのももう少し早い時期からの受け入れがあると助かる	

意見のカテゴリーと主な意見	件数
2. 小学校就学後の生活について	842
○小学校について	
学校運営・方針	111
・ イベントや運動会の内容をコロナ前と同等に戻してほしい	
・ 保護者が参観する学校の活動(運動会や音楽会)が、平日に実施され、見に行きたいが休みが取れないことや休みの調整に苦勞することが多い	
・ 市から配られるプリントやチラシを減らす。アプリを導入したから、市からの連絡は全てアプリで。先生の負担低減にもなる	
・ 小学校の各校にスクールカウンセラーを常駐してほしい	
・ 通える範囲に公立中高一貫校が少ない。教育的に少し不利な部分も他の市町村と比べてある気がする	
・ 小中ともに校区の見直し。低学年が体力的に無理なく安全に通学できる距離を基本とした校区編成にしてもらいたい	
・ 成績表はコメント欄も廃止され、子どもの学習をどんな方向にどう努力させたらいいのか、具体的には何も浮かばない。	
・ 一人一人を丁寧に指導できる25人学級を実現して頂きたい。課題に立ち向かう思考力を養わなくてはならない	
教育内容の充実と見直し	65
・ 子どもそれぞれが主体性や個を大切に、楽しんで通える学校づくりを願う	
・ 授業で分からない所をフォローして貰えると助かる	
・ 教育水準の向上	
・ 塾へ行っている子どもと行っていない子の学習力の差が大きい。格差が生まれたり、勉強に對してやる気がなくなる可能性がある	
・ 小・中学校で1人一台のタブレットPCを提供してもらっているのも、もっと積極的に活用出来たら良いと思う	
教員体制の充実	53
・ 保育所、小学校も、クラス規模を小さく、子どもの人数に対する大人の数も多くし、教職員の給与を上げられると、業務にも余裕が出る	
・ 教育活動(教師の数を増やす、教育施設の充実)にお金をかけてほしい	
・ 学校の先生達の仕事量が多いので、先生の本来の仕事をちゃんと出来るように、人員増員してほしい	
老朽校舎の改修	24
・ 公立小学校の建物が古すぎる。	
・ 小学校の校庭の遊具が少なすぎる。遊具があつて楽しかった思い出があり、増やすべき	
・ どのトイレも男女問わず全個室の洋式トイレが望ましい	
給食について	16
・ 学校給食の安全性を可能なかぎり重視していただきたい	
・ 給食費の無償化はありがたいが、量が少ない。有償で構わないので、給食を充実してほしい	
・ 小中学校給食でのアレルギー対応 (卵、小麦、乳除去食)	

登下校時の安全確保	23
・安全に通えるように、登下校ルートの整備をやってほしい	
・路地や細い道が多い住宅街などでカーブミラーの設置や角度点検を増やしてほしい	
・下校時に灯りが少なく安全面に不安	
放課後の過ごし方	99
・学童ではなく安全利用できる放課後のオープンスクールがあれば嬉しい	
・誰でも利用できる長期休みの勉強や遊び場がほしい。長い期間子どもだけは不安	
・公民館でも良いので放課後子ども達の為に開放されている場所があればいいと思う	
・学校のグラウンドを開放し、ボール遊びが出来る場を提供してほしい	
障がい児への支援充実	10
・小学校の交流クラス・支援学級の支援員の増員	
・子ども１人１人に寄り添った支援教育を希望。教員不足の事情もあるが個別に深いところまで支援しているとはいえない	
PTA 活動について	44
・PTA も可能な限り負担を減らし、任意での加入をもっと推し進めてほしい	
・PTA 活動が夜に集まっているのはおかしい。そこまでしてやらなくてはいけないのか	
・PTA は解体してボランティアや希望制にするなどにしてほしい	
その他	7
・登校拒否児に対する支援として、相談窓口や、専門家に繋がれるようにする	
・保護者同士がコミュニケーションを取れる場(日時を問わないオンラインサロンや情報共有だけでも)	

○学童保育について	
利用条件について	191
・学童保育が３年生までなのでフルタイムからパートに変えないと家で子ども１人では不安	
・小学６年生まで預けられる学童などの施設を充実させてほしい。	
・働き方の多様化により、４年生以降の学童保育と土日祝日の学童保育を切に希望する	
・学童は１４時まで働くという条件を満たしていないため、利用できない。少しでも利用してもっと働きたい	
・定期で通える学童だけではなく、幅広い年齢で単発でも預けやすいような施設が沢山あればいいと思う	
学童保育の増設・定員確保	34
・学童の定員を拡大し、３年生になっても安心して利用できる環境整備をお願いしたい	
・学童に２年生から待機になっている現状がある。低学年の間は学童やそれに代わるサポートが必ず受けられるようにしてほしい	

休日・長期休暇の受け入れ	99
・学童保育は土曜日でも延長 19 時までにしてもらえると助かる	
・夏休み期間、学童保育は有り難いが、朝が 8 時半からだ、仕事に間に合わない	
・学童保育で夏休みなどはお昼ごはんを提供していただけると助かる。弁当作りの負担が大きいし、食中毒も心配	
・長期休暇時だけでも小 6 まで学童利用可能となるようにしてほしい	
民間学童保育について	32
・4 年生から民間学童保育しかなく、しかも定員がいっぱいになり中々入れない	
・新設された民間学童を利用していたが、外遊びが出来ない、保育スペースが狭く怪我が多い事から利用を中断した	
・時間を気にせず利用できる時間利用の民間学童をもっと増やしてほしい	
学童保育への要望	34
・学童は無料にしてほしい（給食代、おやつ代など実費に）	
・学童保育は、安心安全に保育することを基本に多様なプログラムの導入を期待	
・学童施設の設備の改善（人数に対して狭い、備品が少ない、おもちゃや文房具、本、その他建て付けの備品など、おやつに補助金導入）	
・学童保育所の支援員の待遇改善（給与面、拘束時間など）	

意見のカテゴリーと主な意見	件数
3. 子育て支援全般について	205
○子育て支援全般	
手当の充実と、各種サービスについて	99
・母親の負担が大きすぎて余裕がない。働く母親の支えになって貰いたい	
・低所得家庭やひとり親家庭の子どもへの進学サポートや学習機会の充実をはかってほしい	
・3人目以降は更に手厚い教育支援対策をしていただけると助かる	
・急に子が発熱した際に両親のどちらかが休むのは難しい場合もあるので、預かってもらえる場所が近くにあれば助かる	
・就労していなくても母がリフレッシュできるよう一時預かりの補助が出たらいいと思う	
・ファミリーサポート事業について、予定があったりしてサポートを受けられないことがたびたびある。複数のサポーターと組めるとお願いしやすい	
障がい児への支援充実	42
・障がいのある子が利用する放課後デイの充実。原則送迎可能にしてもらいたい。送迎対応がないと保護者の負担が大きく利用できなくなる	
・発達に課題のある子どもへのアプローチを学べる場を市で用意してもらえると嬉しい。	
・スクールカウンセラーや児童精神科などの相談機関をさらに充実させてほしい	
不登校児・フリースクールの充実	29
・不登校の児童に対し、フリースクールの拡充、質の向上、費用負担の軽減、居場所の確保、親に対する心理的・経済的サポートの推進	
・不登校や支援が必要な子どもに対して対応出来る先生が少ない。人数を増やしてほしい	
・不登校特例校や学校内フリースクールを早急に作ってほしい	
病児・病後児保育の充実	11
・病児保育のハードルが高すぎる。翌朝出勤前に病院を受診し病児保育には連れて行けない	

○子育てに関する情報について	
子育てに関する相談先の充実	20
・子どもを育てる中での不安や悩みを相談できる専門機関をもっと増やしてほしい	
・助産師訪問制度を利用して対応していただけたので安心することができた。新生児を連れていけると気軽に連れ出せないため、相談できる場は大切	
・子育て相談、平日は利用するのは難しい。土日に連絡できれば助かる。またはメール等でのやり取りで相談できたらありがたい	
・子の発達に関する相談や、療育等のサポートは非常に充実している	
子育て支援に関する情報の充実	4
・ホームページをもっと見やすくするなど気軽な調べやすさがあればいいと思う	
・共働きをしている世帯、通勤時間別などの経験談を冊子にして、乗り越え方などを教えてほしい(妊娠したときに貰える様な感じで)	
・習い事をしたいが、地域(小学校など)で開催している安価でできる習い事の情報が少ない	

意見のカテゴリーと主な意見	件数
4. 子育て環境について	276
○子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について	
公園・遊び場	121
・住宅地の公園ではボール遊びや遊び声などがうるさいと苦情がでる。子どもが思い切り遊べない公園が多すぎる	
・公園の遊具が少ない。子どもが遊べる公園を作してほしい	
・公園の草 木等の剪定を定期的にしてほしい	
・公園のトイレを安全、清潔に使いたい	
・雨の日でも、体を動かせる、子ども達だけで遊べるような施設があれば嬉しい	
道路・移動手段等	24
・駅前などはどこも道幅が狭すぎる、高齢者も多く、子どもが高齢者をよけて歩かないといけない、このような町では子育てがしづらい	
・2階以上ある学校の施設には、エレベーターをつけてほしい。車椅子、一時的な怪我や急病の際に大変不便である	
・車が止められる子育て支援施設がなく困った	
・同伴の子どもの高槻市バス代金は人数制限無しで無料化してほしい	
・習い事をさせたいが、親が就労のため送り迎えできない。代行サービスや、子ども専用のバスなどの充実などあれば利用したい	
公共施設（図書館など）	39
・スポーツが活発に出来る場所が必要だと思う	
・夏休みに水泳指導がなくなったり公園も暑くて子どもたちが行ける場所がない。長期休みに子どもたちが集まれる場所の提供をお願いしたい	
・図書館がない地域がある。せめて自転車で15分ぐらいの距離にある程度充実した図書スペース、自習室などがほしい	
・文化的施設が少ない。科学センターや動物園など体験できる施設があればよいと思う	
・休日などに子ども達が自習学習できる場が無料であればいいと思う。図書館では勉強できないのでそういう場があれば助かる	
・科学館（プラネタリウム）、先端技術に触れ合える施設が身近にあるといいと思う	
イベントについて	12
・市が主催の習い事を充実してほしい。スポーツ系だけでなく、文化系もあると有難い	
・夏休みなどに、親が付き添い、連れていかなくてもよいイベントがあると助かる。開催場所への送迎ができないので結局参加できない	
・小さい子の遊び場を併設しているようなカフェやレストランがあると家族で行きやすく息抜きになる	
・親子で無料もしくは低価格で学べる習い事があればとても嬉しい	
防犯・不審者・街灯	19
・通学路の防犯カメラを増やしてほしい	
・家の周りの街灯が少なく夜間の移動が心配。防犯面からも設置等対策を	
・小学校の防犯面が不安。守衛に声をかければ簡単に誰でも校内に入れる。セキュリティをもっと強化する必要がある	

その他	5
・上の子が6歳を超えて下が未就学児の場合、カンガルーの森を利用しづらい。上の子が留守番できない	

○母子の保健について	
医療費補助・医療体制の充実	13
・医療費負担をもう少し軽減してほしい	
・小児科が少なくて予約を取るのが大変。もっと増えると助かる	

○地域のつながり、協力等について	
地域のつながり、協力等について	27
・見守りを強化してほしい。働く親の代わりに見守る存在を公園に設けるなどし、子どもだけでも楽しくあそべる町にしたい	
・子どもや大人も安心安全で暮らせる、気軽に地域でいろんなことが協力できるなら、助け合いに協力したい。	
・地域住民との交流の機会（地域で育児をする意識の向上）	
その他	16
・駅周辺は施設やサービスも充実しているが、住んでいる地域では不便。校区も広く登校に時間がかかり、安全面でも不安	
・子どもの健診が西部保健センターから子ども保健センターに変わり、とても不便。小さい子を連れて電車+バス移動が大変	
・居住エリアにもカンガルーの森のような気軽に行ける遊び場・支援の場があれば嬉しい	

意見のカテゴリーと主な意見	件数
5. 子育て中の保護者の状況について	148
経済的支援	77
・大学までの教育の無償化を実現していただきたい	
・子ども服や子ども用品をあげたり、もらえる場を作ってほしい	
・今は子どもが少子化のために児童手当などのお金をもう少し上げてほしい。	
・妊婦健診・保育料の負担が大きく、貯蓄に回せない。所得制限なく助成があると助かる	
・地域振興券や、お米券、子どもが育ち盛りの今経済的に助けて頂けていることがとても力になる	
・習い事にも積極的に補助をしてほしい	
・習い事や塾などの教育にかかる費用がかなり負担。家庭の経済格差が教育格差に繋がらないように公平な教育環境を整備してほしい	
子育てと仕事との両立について	11
・学童に入れず、仕事を時間で選べないといけない	
・子どもが増えれば増えるほど経済的負担が増え、仕事の継続も難しい	
・子どもを見るのが自分しかいない状況となり、働きたくても働けない	
職場環境について	14
・職場環境や、子どもたちを安心して預けられる環境、休んでも大丈夫と思わせてくれる環境の提供の充実を望む	
・子どもが小学生の間は時短勤務ができる等、何か制度があればいいのと思う	
その他	46
・父親向けの育児イベントを増やしてほしい	
・大雨警報（土砂災害）での休校は多くの方から理解が得られないのでやめてほしい	
・大雨警報によるお迎えは臨機応変に対応してほしい。仕事を急に休むことは負担が大きい	
・低所得者だけでなく、税金を納めている家庭にも支援が行き届いてほしい。	
・父子家庭に対するサポート制度がなく、非常に苦しい。お金や補助ではなく、学校、家庭以外の場所を環境があればとても助かる	

意見のカテゴリーと主な意見	件数
6. その他	122
アンケートについて	12
・このアンケートで不登校や発達障害の児童を育てている家庭は無視されていると感じた	
・就労の仕方が当直など色々な勤務形態がある中でとても答えにくい	
市政について	23
・教育や福祉にしっかりお金をかけてほしい	
・各家庭の経済状況により左右されない、誰もが平等に教育を受けられる環境を期待したい	
・一時的な給付金では問題は解決しないと思うので、継続的な対策を望む	
その他	87
・安全なスマホの使い方を子どもだけでなく保護者にもおこなう	
・高槻は自然環境が良いので、自然大好きな息子にはぴったりで子育てしやすい	
・給食費が無料なのありがたい。今後も続いてほしい	
・医療費の助成は大変助かる。費用負担が大きいと身体的・時間的負担も大きく躊躇するが、軽いと連れて行きやすい	
総計	1676

IV 調査票

○調査票様式（就学前児童・小学生）

※調査票様式は、下記2次元コード（QRコード）からご確認いただけます。

【就学前児童】



【小学生】



※QRコードは（株）デンソーウェーブの商標登録です。

高槻市子育て支援に関するアンケート
調査結果報告書

令和6年3月発行

発 行：高槻市 子ども未来部 保育幼稚園事業課